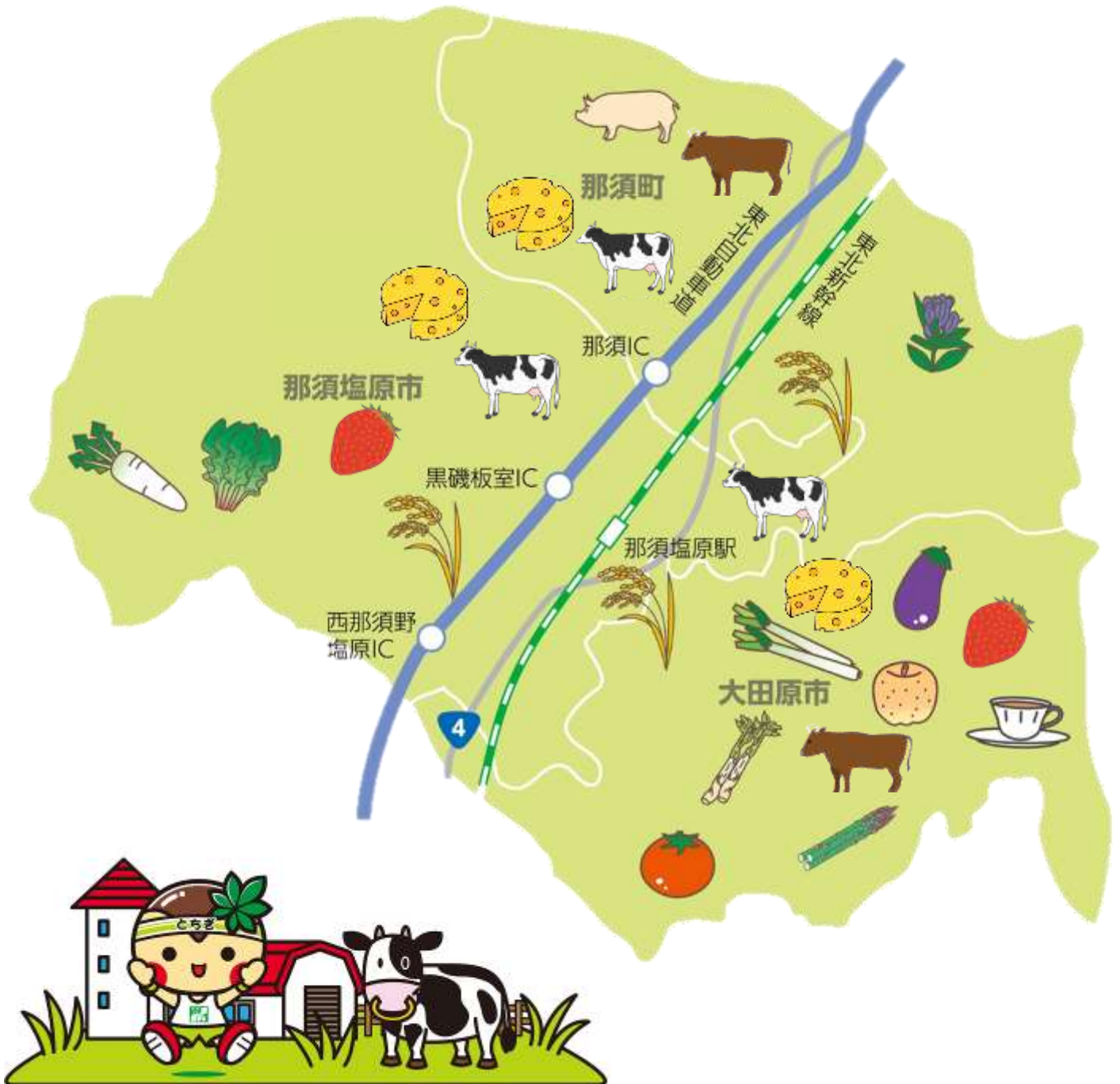


那須地方の農業



令和8（2026）年4月

栃木県那須農業振興事務所

はじめに

那須地方の農業・農村の振興につきましては、日頃から御理解と御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

今日の農業・農村を取り巻く環境は、高齢化や担い手の減少、不安定な国際情勢に伴う燃油や飼料、生産資材の価格高騰などに直面しているほか、デジタル化の進展や気候変動、都市住民の田園回帰やインバウンドの増加など、大きなターニングポイントを迎えています。

このような中、県では、本県農業を成長産業として持続的に発展させるため、令和7年度を最終年度とする農業振興計画『とちぎ農業未来創生プラン』に基づき、地域農業を持続的に支えるための「とちぎ広域営農システム」の構築や、土地利用型園芸の導入などによる収益性の高い水田農業の確立、スマート技術の活用や耕畜連携の推進による畜産力の強化、都市農村の交流促進などに取り組んできました。

那須地域では、豊かな水と広大な農地を活かした農業生産に加え、素晴らしい農村景観、有数の観光地などの地域の特性を十分に活用しながら、「時代を超えて持続的発展を目指す那須の農業」をテーマに、

- ①那須野ヶ原水田農業の確立
- ②那須地域における持続可能な畜産経営への取組「畜産力の強化」
- ③地域資源を生かした農村地域の活性化

の3つの地域戦略に基づき、水田のフル活用や、園芸・畜産の産地発展、地域活性化の取組を中心とした農業・農村の振興に取り組んできました。

家畜防疫については、全国の養豚・養鶏場における豚熱・高病原性鳥インフルエンザの発生が続いており、予断を許さない状況です。管内においても関係機関・団体と連携しながら、野生イノシシに対する経口ワクチン散布や養鶏場周囲のため池における野鳥飛来防止対策などの発生防止の取組を進めて参りました。引き続き、危機管理体制を維持・強化して参りますので、皆様方の御理解と御協力をお願いいたします。

このたび、令和7(2025)年度の各種事業の実績と管内の農業・農村の動きをとりまとめました。業務の参考にしていただければ幸いです。

令和8(2026)年4月

栃木県農政部参事兼那須農業振興事務所長 大谷 義夫

目

次

トピックス	1
第1 那須地方の概要	16
第2 那須地域農業振興計画 2021～2025	
1 地域農業・農村の現状と課題	17
2 計画の推進方向	17
3 地域戦略	18
4 令和7年度取組結果	20
(1) 地域戦略指標の達成状況	20
(2) 地域戦略の取組に係る課題と対応策	22
5 那須農業振興事務所地域戦略の推進体制(令和7年度)	26
第3 那須地方の普及活動のまとめ	
1 令和7年度課題体系図	27
2 活動経過及び成果	
課題1 地域農業を支える多様な担い手の確保・育成	28
課題2 収益性が高い水田農業の確立	31
課題3 土地利用型園芸導入による園芸産地の拡大・強化	32
課題4 那須地域の特徴を生かした園芸の振興	33
課題5 生産技術改善及び規模拡大による畜産力の強化	34
課題6 水田等を活用した自給飼料の生産と利用の拡大推進	35
課題7 安全・安心な那須の農畜産物生産の推進	36
3 管内認定農業者の動き	37
4 那須地方農業者組織の概要	38
第4 深山・板室ダムの管理状況	39
第5 農産物モニタリング検査状況	40

第6 那須地方の農業の動き

1 農業

(1) 市町村別農業産出額	41
(2) 市町別主要農産物の面積、収穫量	42
(3) 農漁業災害の状況（農作物、施設、畜産暑熱被害等）	42
(4) 農家戸数の動き	44
(5) 専兼業別農家戸数の動き	45
(6) 経営耕地面積規模別経営体数の動き	46
(7) 農産物販売金額別経営体数（農業経営体）	47

2 農業労働力

(1) 年齢階層別の経営体数の動き	48
(2) 基幹的農業従事者の推移	49

3 農地

(1) 年次別耕地面積の推移	50
(2) 市町別耕地面積の状況（令和7年）	51
(3) 市町別農業振興地域の現況地目別面積（令和7年）	51
(4) 市町別農用地利用集積及び利用権設定の状況	52
(5) 農地移転・転用の動き	53

4 市町別5年以内の後継者の確保状況	54
--------------------	----

5 ほ場整備実施状況（令和7年5月現在）	55
----------------------	----

6 農業協同組合等の概要	55
--------------	----

7 とちぎの地産地消推進店（那須地域）	56
---------------------	----

8 農業の6次産業化総合化事業計画認定一覧	58
-----------------------	----

9 那須地方の主要園芸作物（令和7年度）	59
----------------------	----

10 那須地方の直売所等

(1) 農産物直売所	60
------------	----

(2) 農村レストラン	61
-------------	----

(3) 農産物加工所	61
------------	----

11 カントリーエレベーター・ライスセンター設置状況	62
----------------------------	----

12 令和7年度経営所得安定対策等交付金の対象作物の地域別作付面積	64
-----------------------------------	----

13 令和7年度多面的機能支払交付金実施状況	65
------------------------	----

14 令和7年度農業制度金融承認実績（令和7年12月末現在）	65
--------------------------------	----

15 令和7年度主要事業実施状況	66
------------------	----

16 市町村の地域指定等について	70
------------------	----

17 地域計画策定状況	71
-------------	----

18 令和7年度主な農業関係表彰受賞者一覧	74
-----------------------	----

19 栃木県農業士等名簿（那須地方）

(1) 栃木県農業士	75
------------	----

(2) 栃木県女性農業士	75
--------------	----

20 那須地方の土地改良区名簿	76
-----------------	----

21 関係機関一覧	77
-----------	----

【トピックス】

1 地域一丸となった新規就農者の確保

那須地域の農業を持続的に発展させていくためには、意欲ある担い手の確保及び育成が重要です。

地域を包括する「那須地域新規就農支援協議会（事務局：JAなすの）」が令和5年2月に組織され、一期生を3名、二期生を1名の研修生を受け入れました。資材高騰等により、農業経営開始時の投資額が高止まりしていることから、生産部会等と連携した遊休資源の活用を推進しています。

今後も研修生の受入れを継続し、新規就農者の確保及び育成を進めます。



現地見学会



園地継承の先進事例視察

2 持続的な地域営農体制の確立

地域計画の重点支援地域である大田原市北滝片田地域において、機構集積協力金を活用し、7戸の担い手への農地集積（約 55ha・事業対象地区内農地の約 56%）を図りました。また、集落営農組織の再編、法人化を図るため、「那須地域水田農業ジャンプアップ研修会」を開催し、農業者・関係機関団体など 37 名が参加しました。

今後も、地域の農地の受け皿となる担い手（法人や集落営農組織を含む）への農地の集積集約、経営基盤強化を支援していきます。



機構集積協力金の打ち合わせ



那須地域水田農業ジャンプアップ研修会

3 中学生向け講座の開催

若年層に農業の魅力を伝え、職業選択の一つとして認識してもらうため、那須塩原市内の2校で農業講話を実施しました。

青年農業者が、スマート農業の活用や農業の魅力、やりがいについて講話しました。講話後には「農業に関心を持てるようになった」という声が多く寄せられました。

今後も講話を継続し、若年層が農業に関心を持つきっかけづくりに取り組んでいきます。



農業講話の様子①



農業講話の様子②

4 JA なすの梨部会における新規担い手受入れ体制整備の推進

生産者の高齢化と園地縮小が進む中、梨園の継承および新規担い手の受入れ体制整備を推進しました。全戸を対象に意向調査を実施し、将来の貸与可能園地を把握してリスト化しました。

また、新規参入希望者2名へ園地情報を提供し、就農意向や技術習得の希望時期について確認しました。

今後は、地域の実態に応じた受入れ体制を構築するための策定書を整備し、梨園の流動化および継承支援の一層の推進を図っていきます。



園地継承関係打ち合わせ



継承予定園地

5 園芸品目の暑熱対策技術の確立

園芸生産においては、近年の気候変動に適応した生産技術を確立し、持続可能な生産体制を構築することが喫緊の課題となっています。

アスパラガスでは、暑熱対策について講習会及び現地での実証展示を行いました。塩原高原のほうれんそう産地においては、耐暑性品種の選定や遮光資材の効果的な活用法を検討し、成果を普及しました。

今後も、園芸生産の維持・拡大に向けて、気候変動適応対策技術の普及推進に取り組んでいきます。



耐暑性品種の選定



外気導入装置の検証

6 排水対策・スマート農業セミナーを開催！

気候変動による集中豪雨の増加を踏まえ、ほ場条件や作付品目に応じた排水対策と、大規模化に対応したスマート農業技術を紹介するセミナーを開催し、生産者や関係機関など 84 名が参加しました。

セミナーでは、各メーカーが排水対策機器や技術の説明・実演を行い、希望者によるラジコン草刈機の操作体験も実施しました。

今後も生産性の向上に向けて、栽培方式やスマート農業技術の導入推進と情報提供を進めていきます。



座学の様子



ラジコン草刈機実演の様子

7 水田をモ～っと活かす！飼料生産拡大セミナー開催で生産拡大をけん引

那須地域における水田を活用した飼料生産の拡大を目的にセミナーを開催しました。

宇都宮大学の小川助教から「水田における飼料作物生産の今後の展望について」、西郷村の(農)鶴生ライスグロウイングの高木代表理事から「耕種農家による飼料生産への挑戦！」と題し講演をいただきました。

耕種及び畜産農家が那須地域における水田の活用を改めて考える機会となりました。今後も、那須地域の飼料生産拡大を目指し、取組を推進していきます。



小川助教の講演



高木代表理事の事例紹介

8 栃木県肉用牛総合共進会で那須町の繁殖牛が農林水産大臣賞を受賞

栃木県の和牛改良の推進と優良雌牛の生産技術向上を目的に第42回栃木県肉用牛総合共進会（種牛の部）が、矢板家畜市場で開催されました。

那須地域では、目揃え会等の勉強会を実施し、出品された多くの牛が入賞しました。中でも那須町の高久淳平氏のあけみ号は名誉賞（農林水産大臣賞）を受賞し、那須地域が優良子牛の産地であることを広く示すことができました。

引き続き那須地域の畜産振興のための支援をしていきます。



目揃え会の様子



高久淳平氏とあけみ号

9 那珂川あゆ街道 ますます活躍中

令和6年度に活動を再開した那珂川あゆ街道推進協議会では、会員の連携のもと、主催1事業と協賛5事業を実施しました。

今年度は、会員主催イベントへの出展のほか、地域のサイクリングイベント「ツール・ド・大那」にて会員商品を提供したり、馬頭高等学校と連携した料理教室を開催し、鮎や地元農産物の魅力をPRしました。

今後も会員との連携を深め、新規層に向けた取り組みも進めながら、地域資源のPRと誘客促進を支援していきます。



ツール・ド・大那



鮎料理教室

10 道の駅東山道伊王野 栃木県農業大賞受賞

開設 25 年の「道の駅東山道伊王野」（那須町）を運営する（株）道の駅東山道伊王野は、「そばの里づくり」に取り組み続け、「そば」の名物化と「新鮮な農産物」の充実、イベント等の開催などにより、継続的に利用者を伸ばし、雇用を創出してきました。

その取組が評価され、令和 7 年度栃木県農業大賞を受賞しました。

これからも地域の農産物等を「伊王野ブランド」として供給しつつ、人材を育成し地域ににぎわいを作っていきたいと考えています。



授賞式時知事と記念撮影



2月寒晒しそばのイベント時

11 那須高原友愛の森におけるポップ作成講習会の開催

地域活性化を進めるうえで、道の駅が地域の交流拠点として果たす役割がますます重要になっていることから、PR力を高めて誘客数を増やす取組みを支援しました。

PR力の強化のため、那須高原マルシェとなすとらんの合同で売り場のポップ作成講習会を開催しました。

講師から効果的なデザインや表現のコツを学び、参加者自身も試作しながらアドバイスを受けました。

作成したポップを活用し、来店者の購買意欲を高める魅力的な売り場づくりにつなげていきます。



ポップ作成講習会



試作したポップ

12 権利者会議の開催

大田原市の土地改良区において、平成 29(2017)年度に事業着手した荒井町島地区と、平成 30(2018)年度に事業着手した下深田地区の県営農地整備事業が完了しました。

両地区とも令和 7(2025)年度に権利者会議を開催し換地計画が可決されました。

今後は、大区画化された農地で担い手による効率的な営農が展開されることが期待されます。



下深田地区権利者会議



荒井町島地区権利者会議

13 ため池防災対策について

那須管内では、那須塩原市の熊久保望田水利組合ため池、湯宮ため池、柳町ため池、那須町の矢の目ダム、千振ダム、江戸川温泉ため池、左内溜、飛倉溜、の8か所を「防災重点ため池」と位置づけ、対策を講じてきました。

今年度は「熊久保望田水利組合ため池」、「左内溜」の豪雨対策工事及び「柳町ため池」のハザードマップ作成を行い、防災力の向上と地域住民の啓発を図りました。

引き続き、市町と連携して、防災・減災の取組を支援して行きます。



豪雨対策のために洪水吐を設置



作成したハザードマップ

14 深山ダム新管理事務所での運用を開始

旧管理事務所は完成から半世紀以上経過、老朽化の進行に加え耐震性が不十分であったため、令和4年度から令和6年度に建替工事を行いました。

新管理事務所は、湖面状況やゲート開閉の操作状況の把握等が容易になった他、ダム制御装置の機能強化も併せて実施、安定的なダム運用や迅速かつ的確な対応が可能になりました。今後も、水資源の確保や洪水調節機能の維持に努めていきます。



開所式でのテープカット



新管理事務所
(那須広域ダム管理事務所)

15 研修会によりグリーン農業を推進

生産者や関係機関・団体におけるグリーン農業及び有機農業に対する理解促進を図るため、研修会を2回開催しました。

7月の研修会においては、みどり認定を取得した生産者による取組事例の紹介を実施した。また、1月の研修会においては、大田原市と共同で開催し、天鷹オーガニックファームによる講演に加え、有機農業の実践者による事例紹介を行いました。

研修会により、みどり認定や環境保全型農業への理解を深まり、取り組みが広がることが期待されます。



グリーン農業研修会（7月）



有機農業推進セミナー（1月）

第1 那須地方の概要

1 位置

那須地方は県の最北部に位置し、大田原市・那須塩原市・那須町の2市1町からなり、東経139度44分から140度16分、北緯36度43分から37度09分に至り、東部は茨城県に、北部は福島県に接している。



2 地勢

那須地方の面積は、1,319km²で、県全体面積6,408km²の約21%にあたる。

このうち、耕地面積は257km²で県全体の耕地面積の約21%を占めている。

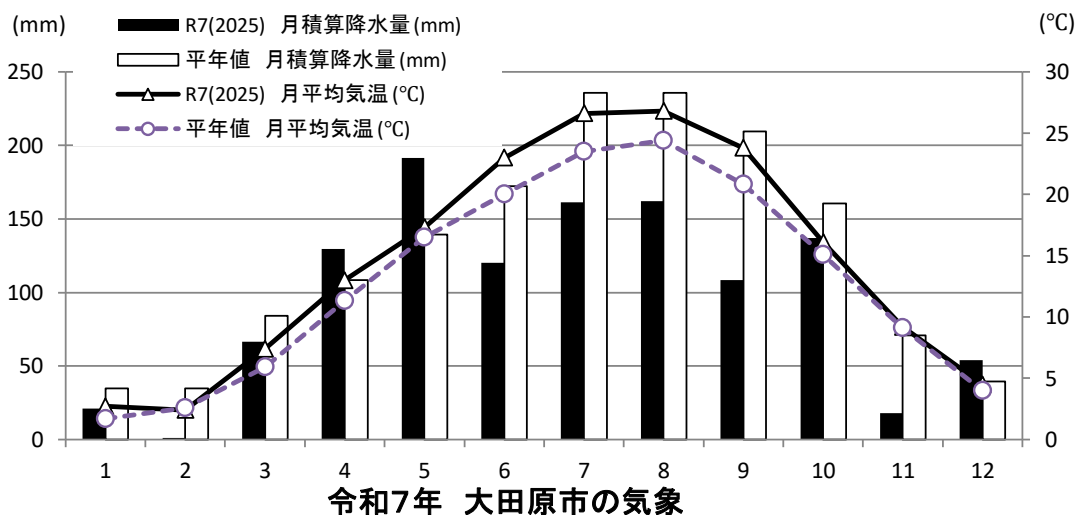
東北西三面は山岳地帯で自然美に恵まれ、中央以南は那須野ヶ原扇状地が開けている。河川はおおむね源を北西部の県境に発し、那珂川が余笹川、箒川等を合流して東折し、茨城県的那珂湊に注いでいる。

3 気象

6月初旬ごろには日本海を通過する寒冷前線の影響により、雷雨・降雹をみることがある。冬は太平洋側の特徴を示し、乾燥した好天気にもまれ気温は低い。

大田原市の平年値は平均気温が12.9℃、降水量1,526mm、日照時間1,954時間、平均風速1.6m/sである。

令和7年の月別平均気温は、いずれの月も平年並か平年より高くなり、年平均気温が平年差+1.5℃と高くなった。降水量は、2月が平年比3%と少なく、5月と12月が平年比137%であったが、年間積算降水量は平年比76.7%と少なくなった。



気象庁気象統計データより

4 人口

那須地方の人口は211,253人で県全体の約11%を占める。

年次別総人口及び農業人口の推移

(単位:戸・人・%)

	総人口		農家人口		農家世帯率
	世帯数	人口	農家数	人口	
平成7年	61,608	208,938	11,761	60,087	19.1%
平成12年	69,783	216,851	11,058	54,898	15.8%
平成17年	75,534	220,740	10,361	48,646	13.7%
平成22年	81,325	222,167	9,648	36,289	11.9%
平成27年	82,925	217,522	8,773	29,789	10.6%
令和2年	86,356	211,253	7,697	22,834	8.9%
令和2年/平成27年	104%	97%	88%	77%	

*平成12年から農家数は販売農家数と自給的農家数の合計、令和2年から農家人口は農業経営体の世帯員数

(資料)総人口は国勢調査・農家人口は農林業センサス

第2 那須地域農業振興計画 2021～2025

1 地域農業・農村の現状と課題

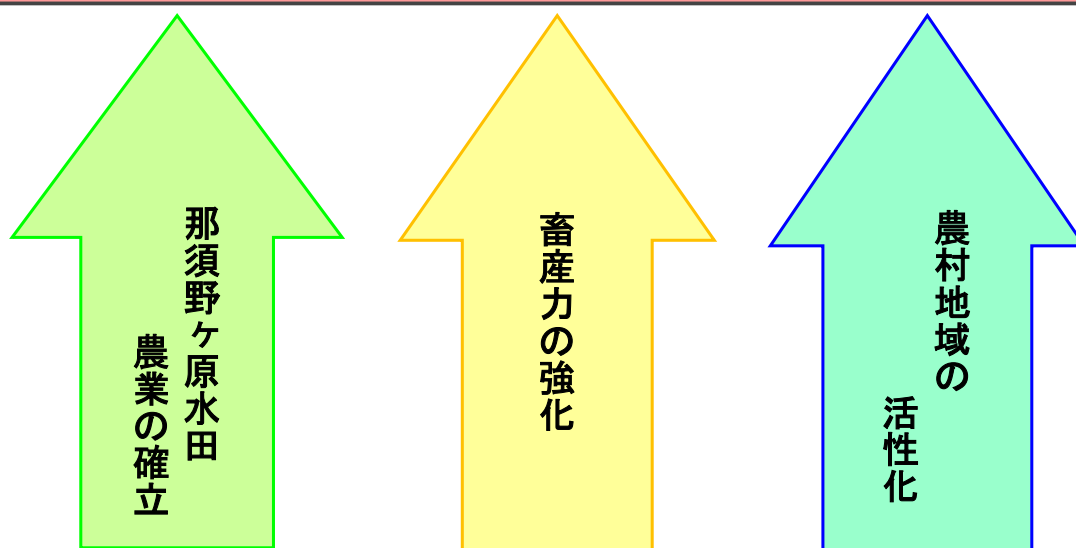
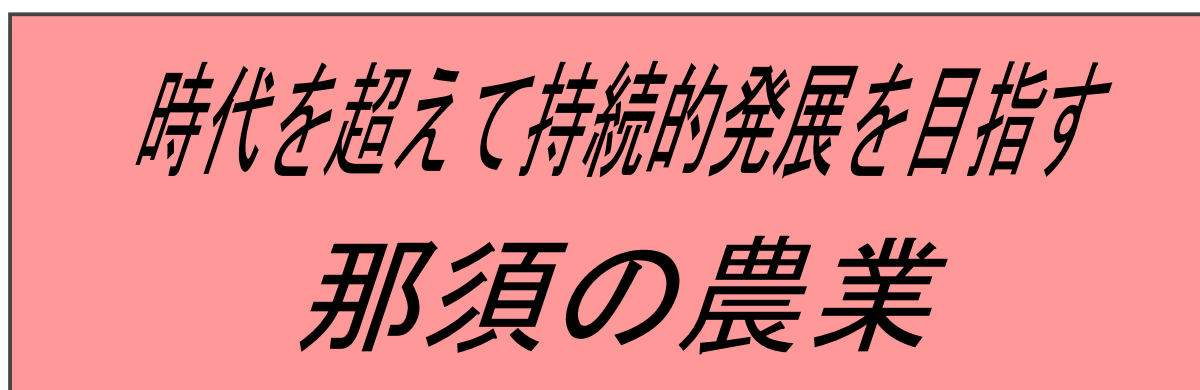
那須地域は、那須連山等の裾野域を中心に、酪農をはじめとする本州一の畜産基地が形成され、中南部の扇状地では、那須野ヶ原を代表とする広大な水田が広がり、米麦を中心とした大規模な土地利用型農業が盛んに営まれているほか、「那須の白美人ねぎ」や「那須の春香うど」などのブランド野菜など、地域に適した園芸生産が行われています。

一方で、水田農業においては、10ha以上の経営体の増加など一定の規模拡大が進んでいるものの、生産者の高齢化や後継者の不在などにより、地域の担い手不足が懸念されています。

畜産においては、農家1戸あたりの飼養頭数の増加に伴い、国際情勢に左右される飼料価格の変動等により経営が大きく影響されることから、効率的な飼養管理や飼料作物の生産拡大が必要となっています。

また、豊かな観光資源に恵まれ、観光客をターゲットとした紅茶やチーズ等6次産業化商品の開発及び地域の食・文化と結びつけた都市農村交流の取組が進んでいますが、さらなる誘客促進を図るため、那須地域の特徴ある取組の磨き上げや情報発信力の強化を進める必要があります。

2 計画の推進方向



3 地域戦略

地域戦略 1 那須野ヶ原水田農業の確立

対応方向

水稲+ねぎなど那須地域にあった家族労力を中心とした安定複合経営の確立を支援するとともに、集落営農組織の連携や合併を推進し、経営強化を図ります。
また、土地利用型経営の所得向上を図るため、農地の大区画化や経営発展に合わせた先端技術の導入による作業の効率化及び良質・良食味米の産地である地域の特徴を生かした米のブランド化を推進します。

主な指標

項 目	現状(R2)	目標(R7)
○水田を活用した園芸生産者数	234名 ⇨	300名
○集落営農組織の合併（再編・連携・組織化）数	— ⇨	3地区
○新たな水稲品種「とちぎの星」の導入面積	206ha ⇨	400ha
○10ha以上の土地利用型経営体数	402経営体 ⇨	475経営体
○ほ場整備事業実施地区数	4地区 ⇨	8地区
○スマート農業技術導入経営体数	59経営体 ⇨	150経営体



広大な水田が広がる那須野ヶ原

取組方策

- 水稲+ねぎなど地域にあった水稲+園芸複合経営の確立
- 実需が求める良食味米生産技術の確立と省力・低コスト稲作技術の普及
- 人・農地プランでの話し合いによる担い手の確保・育成及び農地の集積・集約化

地域戦略 2 那須地域における持続可能な畜産経営への取組「畜産力の強化」

対応方向

水田における飼料作物の生産と利用を拡大して、耕畜連携による資源循環型農業を推進するとともに、飼養管理の省力化・効率化を図るためにスマート農業技術導入を推進するなど、畜産力の強化を図ります

主な指標

項 目	現状(R2)	目標(R7)
○スマート農業技術導入割合（経営体数）	9% (75経営体) ⇨	17% (111経営体)
○規模拡大及び新規就農（参入）農家数	5戸 ⇨	20戸
○水田における飼料作物（稲WCS等含む）等栽培面積	4,587ha ⇨	6,250ha



WCS 用稲の収穫

取組方策

- スマート農業技術導入による畜産力の強化・効率的な飼養管理技術の確立支援
- 規模拡大農家、新規就農者や新規参入者等担い手の確保・育成
- 生産基盤強化のため水田を活用した飼料作物の栽培利用の拡大

地域戦略 3 地域資源を生かした農村地域の活性化

対応方向

那須地域の多彩な地域資源を最大限に生かした農村地域の活性化を図るため、農村拠点施設の機能強化等を支援するとともに、食を中心とした「農・宿・湯・遊」をつなぐ仕組みづくりと地域組織等の育成を進めます。

主な指標

項目	現状(R2)	目標(R7)
○交流拠点施設利用者数	285万人	⇒ 380万人
○将来ビジョンを作成する拠点施設数	2施設	⇒ 7施設
○都市農村交流に取り組む地域組織数	6組織	⇒ 11組織



イベントでの菜の花プロジェクトPR

取組方針

- 拠点施設の機能の多様化と組織間連携等による農村拠点施設の機能強化
- 地域資源を生かした都市農村交流の促進に向けた組織の育成
- 新規就農者や農業後継者等による「仲間づくり拠点」の形成による魅力ある地域づくり活動の推進



4 令和7年度取組結果

(1) 地域戦略指標の達成状況

【概要】

令和7年度は、3つの地域戦略の12指標の中で、主食用米価格の高騰や地域内の合意形成に時間がかかっていること等の影響により、達成率が低い指標もあったが、7指標で目標値を達成した。特に、「新たな水稻品種の導入面積」、「スマート農業技術導入経営体数」は、目標値を上回り、気候変動、経営体の規模拡大等に合わせて効果的な取組が進められている。

今後は、新たに策定した農業振興計画に基づき、「地域の多様性を生かした水田農業の展開」、「人・家畜・環境に優しい畜産経営の確立」、「多彩な人材が集い活気あふれる那須の農村」の実現に向けて、各戦略課題の取組強化を図っていく。

地域戦略名	1 那須野ヶ原水田農業の確立
-------	----------------

➤ 指標値

(上段：計画値、下段：実績値)

項目	単位	(計画時)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)	R7目標値に対する達成状況
水田を活用した園芸生産者数	名	234 (R2)	248 (R3)	262 (R4)	276 (R5)	290 (R6)	300 (R7)	86% ○
			234	245	252	251	256	
新たな水稻品種「とちぎの星」の導入面積	ha	206 (R2)	240 (R3)	280 (R4)	320 (R5)	360 (R6)	400 (R7)	193% ◎
			325	138	196	363	771	
30ha以上の土地利用型経営体数	経営体	21 (R1)	23 (R3)	26 (R4)	29 (R5)	32 (R6)	36 (R7)	100% ○
			22	23	26	35	36	
ほ場整備事業実施地区数	地区	4 (R2)	4 (R3)	4 (R4)	5 (R5)	7 (R6)	8 (R7)	85% ○
			4	4	5	6	7	
集落営農組織の再編・連携・組織化	地区	— (R2)	0 (R3)	1 (R4)	1 (R5)	2 (R6)	3 (R7)	66% △
			1	1	1	2	2	
スマート農業技術導入経営体数	経営体	59 (R2)	76 (R3)	93 (R4)	111 (R5)	130 (R6)	175 (R7)	123% ◎
			113	117	136	161	218	

地域戦略名	2 那須地域における持続可能な畜産経営への取組「畜産力の強化」
-------	---------------------------------

➤ 指標値

(上段：計画値、下段：実績値)

項目	単位	(計画時)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)	R7目標値に対する達成状況
スマート農業技術導入割合 (経営体数)	%	9 (75戸) (R2)	10 (80戸) (R3)	11 (85戸) (R4)	12 (90戸) (R5)	16 (108戸) (R6)	17 (111戸) (R7)	104% ○
			10 (80戸)	11 (85戸)	15 (105戸)	16 (110戸)	21 (115戸)	
規模拡大及び新規就農(参入) 農家数	戸	5 (R2)	8 (R3)	11 (R4)	14 (R5)	17 (R6)	20 (R7)	100% ○
			8	9	14	17	20	
水田における飼料作物(稲WCS 等含む)等面積	ha	4,587 (R2)	4,620 (R3)	4,652 (R4)	4,679 (R5)	6,220 (R6)	6,250 (R7)	65% △
			5,182	6,135	6,080	5,458	4,040	

地域戦略名	3 地域資源を生かした農村地域の活性化
-------	---------------------

➤ 指標値

(上段：計画値、下段：実績値)

項目	単位	(計画時)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)	R7目標値に対する達成状況
将来ビジョンを作成する拠点施設数	施設	2 (R2)	3 (R3)	4 (R4)	5 (R5)	6 (R6)	7 (R7)	100% ○
			3	5	5	6	7	
交流拠点施設利用者数	万人	300 (推定) (R2)	320 (R3)	340 (R4)	360 (R4)	370 (R6)	380 (R7)	95% ○
		285	305	309	323	336 (推定)	-	
都市農村交流に取り組む地域組織数	組織	6 (R2)	7 (R3)	8 (R4)	9 (R5)	10 (R6)	11 (R7)	100% ○
			8	9	9	10	11	

R 7 目標値に対する達成状況集計表

記号	達成率	指標項目数	割合	備考
◎	115 %以上	2	16%	
○	85 %以上115 %未満	8	67%	
△	85 %未満	2	16%	
計		12	100%	

(2) 地域戦略の取組に係る課題と対応策

[概要]

- 那須地域農業振興計画の3地域戦略については、関係機関・団体との連携のもと、地域の特徴を活かした次の各種施策を展開し、着実に効果を上げている。
- 「水田農業の転換」については、土地利用型園芸を導入した安定複合経営を推進・支援するため、園芸作物導入研修会による新規栽培者の作付支援、露地ねぎ栽培講習会等の開催及びJAなすのねぎ選果施設運営委員会と連携したメガ産地育成の推進を行った。
- 「実需が求める良食味米の生産」については、良食味米生産に向けた技術対策の検討、那須地域良食味米コンクールの開催等により良食味米産地をPRした。
- 「次世代につなぐ農業の展開」では、生産性向上のための機械利用セミナーの開催によるスマート農業技術導入推進、地域計画重点推進地域における、座談会の開催支援、グリーン農業研修会開催等によるとちぎグリーン農業推進を図った。
- 「畜産力の強化・効率的な飼養管理技術の確立支援」では、スマート農業技術導入状況の調査を行うとともに、牛舎監視カメラの活用方法の周知や雑草防除におけるドローン活用の技術研修会を開催することによりスマート技術推進を図った。
- 「飼料作物の栽培利用の拡大」では、「那須地方耕畜連携推進会議」の開催やセミナー開催により、高品質な飼料作物生産に向けた支援や耕種農家における堆肥の活用、飼料生産の担い手確保等の推進を図った。
- 「農村拠点施設の機能強化」では、道の駅「那須高原友愛の森」（那須町）で規模拡大及び施設配置の最適化による誘客促進を目指す中、再整備された農村レストランの営業戦略作成及び運営の効率化、発信力の強化を中山間地農業ルネッサンス推進事業（国庫）を活用して支援をした。
- 「地域資源を生かした都市農村交流の促進」については、地域活性化に取り組んでいる実践者・団体等の意見交換会・先進地視察を開催し、課題解決に向けた具体的な取組をまとめた。
- 「魅力ある地域づくり活動の推進」では6次化アドバイザー派遣による新商品開発検討及び経営指導や、農村整備活動を実施する地域活性化組織とボランティアのマッチング支援を行った。



生産性向上セミナー



耕畜連携セミナー



塩原地区の農業・農村活性化
に向けた意見交換会

地域戦略名	1 那須野ヶ原水田農業の確立
-------	----------------

主な取組状況 (○) と課題 (●)	課題への対応策
○土地利用型園芸作物の導入推進による、新規栽培者の確保 (15名) ●高齢化による栽培規模縮小や離農者が増加傾向	◇さらなる新規栽培者確保に向けて、那須地域就農支援ネットワーク会議等で就農支援情報の収集・一元化を図るとともに、県内外の就農相談会への出典を積極的に誘導
○アスパラガス選別施設が通年で稼働開始	◇産パ事業を活用した産地拡大支援、長期出荷に向けた早期出荷作型の導入支援 ◇アスパラガスの気候変動に対応した安定生産技術の確立
○園芸メガ産地の育成支援によりメガ産地栽培面積が40haを達成 (R5年度実績から11ha拡大)	◇夏ねぎ作型の安定生産技術の確立、那須地方就農支援協議会等と連携した新規栽培者確保
○実需が求める良食味米生産に向け、特Aプロジェクトによる良食味生産技術の展示ほを8カ所設置 ●コシヒカリ：A評価、なすひかり：A評価	◇関係団体と連携した展示ほの設置・運営。特に気候変動(温暖化)や地理的条件を考慮した施肥設計の検討
○生産性向上のための機械利用セミナー (R7.11月)を開催しロボットトラクタや栽培管理支援システムを紹介した結果、スマート技術導入経営体数は19戸増加 (R7実績：148経営体)	◇農業支援サービス事業者等の育成支援とスマート農機の導入支援
○広域営農システムモデル地区で、集落営農組織再編・連携のための座談会の開催を支援した結果大田原市(北滝・片田地区)において法人設立(株)プロテクトファーム(R7.5月)	◇地域計画重点推進地域における広域営農システムの推進による地域農業の担い手の確保・育成
○市町の地域計画策定を支援し、R6年度末に全93区域で地域計画が策定・公告	◇関係機関と連携した地域計画の実行に向けた支援
○ほ場整備計画地区(1地区)とほ場整備実施地区(2地区)支援。下深田地区で地域集積協力を活用した農地バンク利用による集積率が向上 ● <u>地域農業の担い手確保及び水田農業の省力化・低コスト化の推進</u>	◇農地集積計画の策定やほ場整備計画作成に向けた支援 ◇次世代型生産基盤技術の導入や農地の区画拡大など、スマート農業に対応した条件整備の推進
○とちぎグリーン農業の推進を図り、みどり認定件	◇関係機関と連携したみどり認定の取得推進、オ

主な取組状況 (○) と課題 (●)	課題への対応策
数560件(R8.3月末)、有機農業取組面積142ha (R6実績140ha) に拡大	ーガニックビレッジ宣言に向けた取り組みを支援(R8.4月)

地域戦略名	2 那須地域における持続可能な畜産経営への取組「畜産力の強化」
-------	---------------------------------

主な取組状況 (○) と課題 (●)	課題への対応策
<p>○飼料用とうもろこし畑においてドローンを活用した省力的な除草剤散布方法の検討を実施(5～8月)</p> <p>○畜産公共事業活用農家4戸における草地造成・整備、施設整備等を推進</p> <p>○各種会議等における関係機関と連携した就農者情報の収集徹底</p> <p>○茎葉多収で牛の嗜好性が高いWCS用稲専用品種「つきことか」の栽培実証(現地検討会7月)</p> <p>○耕畜連携推進に関するセミナーを開催し、耕種・畜産農家に対する水田を活用した飼料作物生産に係る情報提供ならびに稲WCS専用品種の普及推進等を実施(12月)</p> <p>○「那須地方耕畜連携推進会議」を開催し、耕種農家における堆肥の活用や飼料生産の担い手確保等について関係機関で協議(6月、3月)</p> <p>●<u>飼料生産の作業担い手(コントラクター等)の規模拡大及び新規担い手確保の推進</u></p>	<p>◇自給飼料増産に向けたドローン等のスマート技術の導入推進</p> <p>◇有効性検討により農家へ情報提供を行う</p> <p>◇畜産公共事業、畜産クラスター事業等を活用した基盤強化の支援</p> <p>◇新規就農者への就農計画等の立案の就農支援</p> <p>◇熟期が遅い極晩成である「つきことか」の継続した那須地域における栽培実証</p> <p>◇新たに稲WCS専用品種の栽培や給与を行う農家に対しての技術指導</p> <p>◇堆肥利用組織や飼料生産の担い手に対して、機械導入による規模拡大を支援</p> <p>◇耕種・園芸農家への堆肥活用推進</p> <p>◇耕種農家による飼料用トウモロコシ生産を推進</p> <p>◇飼料生産の担い手に対して、作付品種・品質管理、拡大計画等の指導を実施</p>

地域戦略名	3 地域資源を生かした農村地域の活性化
-------	---------------------

主な取組状況 (○) と課題 (●)	課題への対応策
○「那須高原友愛の森」の農村レストランの営業戦略及び新メニュー開発支援、「明治の森黒磯」の	◇関係機関及び運営会社と情報共有し、中山間農業ルネッサンス事業等活用しながら運営改善や販路

主な取組状況 (○) と課題 (●)	課題への対応策
<p>乳製品開発支援</p> <p>○北那須産直会の活動支援により、管内直売所間の連携強化及び那須地域の農産物のPRや新規顧客の獲得を促進</p> <p>○地域活性化実践者・団体の横の連携強化を目的とした交流会を実施</p> <p>○6次化実践農家のステップアップ支援</p> <p>○大田原グリーンツーリズム推進協議会連携委員会における農家民宿の整備に係る取組支援</p> <p>○那珂川あゆ街道(R2～5年度活動休止)の活動再開を支援</p> <p>○牛乳の消費拡大を図るため、「那須の牛乳を飲もう！」キャンペーンを開催</p> <p>○多様な人材を呼び込み、受入・支援する体制整備</p>	<p>拡大を支援</p> <p>◇農産物直売所や農村レストランの新商品の開発や、よりよい店づくりの取組に対し、直売所運営改善リニューアル事業等により加工機器等の導入支援や新品种導入のための先進地視察を実施した。また、北那須産直連絡会でフェアやイベントを開催しPRを実施</p> <p>◇6次産業化に係るアドバイザーを派遣し、新商品開発について検討</p> <p>◇引き続き個人向け農泊の受入体制強化のための農泊施設整備及び体験コンテンツのPRを支援</p> <p>◇地域資源である鮎を活用した誘客促進イベントの開催や他団体イベントへの参加・PRなどの協議会の活動を継続的に支援</p> <p>◇インスタグラムや市町メルマガ等活用し、地域住民への、キャンペーン等の情報発信を実施</p> <p>◇中山間地域いどばた会議推進事業等を活用し、多様な人材を呼び込み、受入のための検討及び試行を支援</p>



地域計画 重点支援地域における話し合い



土地利用型園芸の推進
(たまねぎ：直播栽培の展示ほ設置)



極短穂系 WCS 専用品種
「つきことか」現地検討会



鮎料理教室 (那珂川あゆ街道)



5月にリニューアルした
友愛の森農村レストラン



那須郡伊王野地区で開催した
そばづくり体験

5 那須農業振興事務所地域戦略の推進体制（令和7年度）

那須地域農業振興計画推進会議 [開催：5、9、2月]

【会長：所長 構成：部課長会議メンバー、各推進チーム】

地域戦略推進委員会 [開催：5、9、2月（必要に応じ開催）]

【委員長：企画振興部長 構成：各部総括補佐、各推進チームリーダー・サブリーダー】

各推進チーム会議 [適時開催]

重点戦略

総括窓口・所内調整（企画振興部総括補佐）

1 明日へつなぐ

「意欲的な若者をはじめとする多様な人材が活躍し、本県農業を力強く支え、明日へつながる農業を展開します。」

経営普及部

2 強みを伸ばす

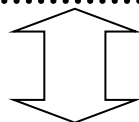
「大消費地に近く、広大な水田と高い生産技術などの本県の強みを最大限に生かし、成長産業としての農業のさらなる発展を図ります。」

経営普及部
企画振興部

3 呼び込み・拓く

「新しい人の流れの創出による農村地域の活性化と安全・安心で住みよい農村づくりを進めます」

企画振興部
農村整備部



地域戦略（推進組織：推進チーム）

地域戦略1

那須野ヶ原水田農業の確立

リーダー：経営普及部 農産課
サブリーダー：企画振興部
メンバー：11名

地域戦略2

那須地域における持続可能な畜産経営への取組「畜産力の強化」

リーダー：経営普及部 畜産課
サブリーダー：企画振興部
メンバー：8名

地域戦略3

地域資源を生かした農村地域の活性化

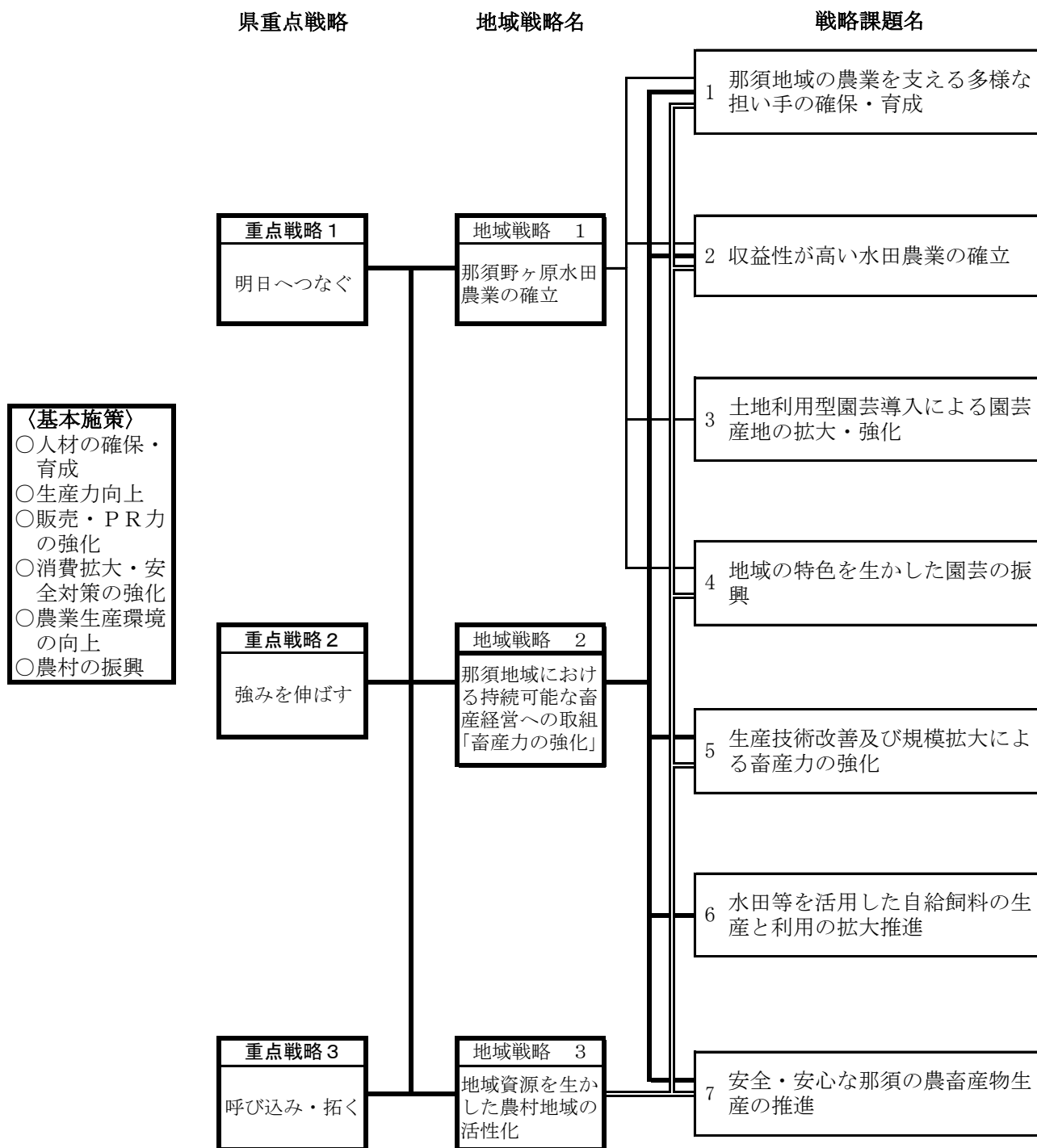
リーダー：企画振興部 企画振興課(振興T)
サブリーダー：企画振興部
メンバー：10名

所内調整（各部）

第3 那須地方の普及活動のまとめ

1 令和7年度課題体系図

≪ 基本目標：成長産業として持続的に発展する農業・栃木 ≫



2 活動経過及び成果

課題1 那須地域の農業を支える多様な担い手の確保・育成

【新規就農者の確保・育成】

1 取組の背景

那須地方の持続的な農業発展のためには、関係機関・団体が一体となって新規就農者等の確保・育成を図る必要がある。また、青年農業者で組織される青少年クラブは、クラブ員数の減少やそれに伴う活動停滞が課題となっている。

2 普及活動の経過と成果

(1) 就農支援体制及び研修体制の強化による青年新規就農者の確保

就農支援ネットワーク会議をとおして就農支援情報や施策の共有化を図り、就農希望者各々の要望や就農準備段階に応じた相談対応を関係機関・団体と連携して実施した。6月、8月、10月、2月には関係機関・団体と協力し、現地見学会・就農相談会等を開催し、9月、12月には先進事例視察を行った。また、那須地域新規就農支援協議会の運営支援を行い、令和6年度は3名、令和7年度は1名の研修生を確保した。

(2) 青少年クラブ組織活動支援及び専門部活動支援

青少年クラブ員や新規就農者及び新規就農者育成総合対策事業活用者等を対象に、新規就農コンサル事業を実施し、個別指導や各種セミナーの開催による経営、技術の資質向上を図った。運営にあつては、専門部（耕種・畜産・露地野菜・施設野菜・果樹・花き）毎に活動し、青年農業者の個別経営課題解決に向けたプロジェクト活動を支援し、実績意見発表会において4課題の発表が行われた。



那須地域就農相談会



先進事例調査の様子

【活動実績】

項目	R2※	R3	R4	R5	R6	R7	R 7 目標値
新規自営就農者のうち青年新規就農者数	164名	25名	30名	16名	21名	17名	175名 (35名/年)
プロジェクト発表数	13課題	3課題	4課題	2課題	3課題	4課題	15課題 (3課題/年)

※ H28～R2の累計 R3～R7は単年度

3 今後の展開方向と課題

(1) 就農支援ネットワーク会議及び就農支援組織等の機能発揮による新規就農者の確保

就農支援ネットワーク会議の機能強化を図るとともに、現地見学会の開催や地域内外での就農相談会への出展をとおして、多様な担い手の確保を図る。また、新規就農支援協議会を始めとする管内研修制度の運営を支援するとともに、就農希望者に対して技術習得に向けたサポートを実施する。

(2) 支援体制の強化による効果的な青年農業者の育成

新規就農者、青年農業者等を対象とした新規就農コンサル事業（個別支援・各種セミナー）を開催するとともに、新規就農者を中心に青少年クラブ組織活動への参加を促し、組織活動の活性化を支援することで、青年農業者の経営・技術改善と資質向上を図り、将来の地域農業を担う人材を育成する。

【女性農業者の育成】

1 取組の背景

「第5期とちぎの農業・農村男女共同参画ビジョン」に基づき、パートナーシップに基づく経営の推進、次世代女性農業経営者の育成を図ってきたが、活力ある農村形成のためには、これまで以上に女性農業者の活躍が重要となっている。農村女性が農業経営や農村社会において力を最大限に発揮し、魅力ある農業経営と農村生活を目指した活動に取り組めるよう、環境づくりや組織活動の支援を行っている。

2 普及活動の経過と成果

(1) 男女共同参画意識の高い農業者の育成

農村女性会議役員を対象に「女性農業委員の登用に向けて～チームあゆみの活動～」と題して、令和6年度農山漁村女性活躍表彰「女性地域社会参画部門（組織）農林水産大臣賞」を受賞した大田原市農業委員 女性農業委員チームあゆみ 代表 相馬和恵氏を講師に男女共同参画推進研修会を実施し、女性リーダーの資質向上を図った。

また、農村女性会議役員が農業委員の女性登用拡大に向け、管内3市町長、市町会議議長、農業委員会長に対し要請活動会を行った。

本年度の家族経営協定締結数16件のうち、女性を含む締結数は10件であった。

(2) 次世代を担う女性農業者の確保・育成

農業経営に参画して比較的経験の浅い女性農業者を対象とし、スタートアップ講座を開催した。今年度は、新規就農者へも参加を募り、グリーン農業研修会、複式簿記講座、パソコン簿記講座、有機農業推進セミナーなどに参加誘導し、環境負荷低減や経営発展に向けた意識の啓発を行った。

ロールモデルとなる農村女性の育成を目的として、農業経営に参画している女性農業者向けのアクティブ講座を実施した。今年度は、女性酪農家組織「COW BELLE（カウベル）」を対象に仔牛の哺育管理技術向上のため明治飼料株式会社 上田氏から、哺乳子牛の管理について説明を受け、哺育技術・経営について情報交換を行った。

また、地域の活性化に取り組む女性農業者が、東洋大学生と連携し、「ハチのクリスマス会」をhikari no cafe 蜂巢小店で開催した。女性農業者のほか若手農業者や高校生などが参加し、それぞれの生産物を販売するなど、消費者及び参加者と交流した。



男女共同参画推進研修会



アクティブ講座(酪農)



ハチのクリスマス会

【活動実績】 () 内は目標値

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7
男性受講者の割合	—	7% (3%)	11% (5%)	10% (10%)	33% (15%)	61% (20%)
女性を含む家族経営協定締結数	20件/年	10件/年 (30件/年)	13件/年 (30件/年)	13件/年 (30件/年)	11件/年 (30件/年)	10件/年 (30件/年)
新規女性農業者研修受講者数	—	12名 (5名/年)	21名 (5名/年)	5名 (5名/年)	10名 (5名/年)	23名 (5名/年)

3 今後の展開方向と課題

(1) 男性の男女共同参画意識向上に向け、男性農業者の理解促進を図る。

(2) 次代の地域農業を担う幅広い人材の確保・育成に向け、若手女性農業者が農業経営に円滑に参画できる環境整備・支援を行う。

【効率的かつ安定的な経営体の確保・育成】

1 取組の背景

地域農業及び農地の維持に向けて、認定農業者、集落営農組織等の担い手の育成・確保を推進してきたが、高齢化と後継者不在のため、個別・組織ともに担い手数が減少している。そのため、広域で営農を担う経営体を確保・育成するとともに、多様な担い手が参画し地域営農を支えていく「広域営農システム」づくりを推進する必要がある。

2 普及活動の経過と成果

(1) 効率的で持続性の高い経営体の確保・育成

経営改善計画作成に係る助言、経営改善情報誌「Fight!」の発行による情報提供、経営高度化個別相談会の開催による経営継承等の経営相談対応、複式簿記基礎講座・パソコン簿記講座の開催により担い手の経営管理能力の向上を図った。また、リストアップした 20ha 以上の経営体に対して各種研修会への参加誘導や補助事業等の各種情報提供を行い、更なる経営規模拡大を推進した。



経営相談会

(2) 経営体・集落営農組織の法人化推進

法人化志向経営体の個別相談（随時）や、経営相談会での農業経営指導スペシャリストによる助言、専門家派遣事業の実施による体系的な支援を行った結果、6 経営体が法人となった。



那須地域水田農業ジャンプアップ研修会

(3) 集落営農組織の再編推進

「那須地域水田農業ジャンプアップ研修会」を開催し、基調講演やパネルディスカッションを通じて集落営農組織発展のヒントを提示した。また、那須町芦ノ又集落における集落営農組織化の意向に対して各種情報提供を行った。

(4) 広域営農システムの推進

地域計画重点支援地域（大田原市北滝片田地域、那須塩原市二区町、那須町那須村 8 地域）における担い手確保育成及び担い手への農地の集積・集約を支援した。北滝片田地域では新たな法人が設立されるとともに、法人を含む 7 戸の担い手に北滝自治会内の 54.4ha（56.1%）の農地が集積された。那須町では若手水稻農家の意見交換会を開催し、地域課題の抽出や課題解決の提案、行動計画の作成を行った。



那須町水田農業の未来を語る会

【活動実績】

項目	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
30ha以上 ^{※1} の経営体数	—	22	23	26	35	36
法人経営体数（注）	125(4) ^{※2}	128(5)	131(5)	139(5)	141(5)	147(5)
意向確認組織数	20	20	20	20	20	20
広域営農システムモデル地域選定	0	3	3	3	3	3
新規集落営農組織 ^{※3} の育成	0	0	0	0	0	2

※1：那須地域の土地利用型経営（耕種）の育成すべき経営体モデルを 30 ha 以上（農業所得 1,500 万円・労働力 2.5 人）とした

※2：（ ）内は集落営農法人数

※3：広域営農システムモデル地区等において、地域の農地の受け皿となる組織が設立された数

3 今後の展開方向と課題

- (1) 法人化を志向する経営体や規模拡大志向経営体をリストアップし、法人化の推進や円滑な経営継承支援、雇用環境の改善等による経営発展を促すとともに、スマート農業技術や直播等の省力技術の導入、耕畜連携等による経営規模拡大を支援する。
- (2) 経営相談会の開催や専門家派遣事業の活用により農業経営指導スペシャリストと連携し、法人化や経営継承等の支援を行う。
- (3) 地域計画重点支援地域等における担い手の農地集積・集約、法人等地域の中心的な担い手の経営基盤強化、担い手間の連携による地域農業を持続的発展を支援する。

課題2 収益性が高い水田農業の確立

1 取組の背景

(一財)日本穀物検定協会の食味ランキングにおいて、「県北コシヒカリ」が特A評価を獲得することは良食味米の産地として、那須地域の役割は大きいものがある。

また、近年の気候変動による高温の影響から、主力品種コシヒカリの品質・等級が低下しており、これらの課題を解決するため、食味向上要因の解析と技術普及、産地PRのための良食味米コンクールの開催、高温登熟耐性の強い「とちぎの星」への作付転換が急務である。

一方で、土地利用型経営の安定化には、国産需要の高い麦・大豆の作付拡大が求められており、気候変動に対応した収量・品質確保に向けた栽培様式の改善が求められている。

同時に、農業者の高齢化や後継者不足の影響による土地利用型農業の担い手不足を補うために、スマート農業技術や省力・低コスト栽培技術を導入した大規模経営体の育成が急務である。

2 普及活動の経過と成果

(1) 高品質な良食味生産技術の導入

良食味米生産のため展示ほを管内に7か所設置し、特A評価の獲得に向け、関係機関・団体と連携した栽培技術指導を行ったが、R7年産では「県北コシヒカリ」、「県北なすひかり」がともにA評価となった。

(2) 売れる米づくりの推進と産地PR

第12回那須地域良食味米コンクールに2部門合計62点の応募があった。一般消費者、那須拓陽高校の生徒、前年度最優秀賞者等の方々による食味審査を行い、二次審査に残った4点から最優秀賞1点を選出した。また、展示ほ等を活用して「とちぎの星」の作付けを推進した結果、作付面積は前年比212%の771haまで拡大した。

(3) 麦・大豆の高品質化

近年の気候変動に対応し、二条大麦では播種適期を検討するための定点調査ほを設置し、その調査結果に基づく安定生産に向けた指導を行った。その結果、R7年産の単収は386kg/10aとなった。大豆では、堆肥活用試験ほ場を設置し、現地検討会を開催するとともに、試験結果に基づく堆肥活用資料を作成、配布した。

(4) 省力・低コスト化稲作生産技術の普及

スマート農業の推進及び効果的な排水対策技術に関するセミナーを11月に開催し、84名が参加した。



変える作業、増える収益、生産性向上セミナー

【活動実績】

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値
食味ランキング評価（コシヒカリ、なすひかり）	A	特A※	A	特A※	特A※	A	特A
「とちぎの星」生産面積（ha）	206	325	138	196	363	771	400
二条大麦の単収（kg/10a）	351	386	332	368	393	386	383
大豆の単収（kg/10a）	181	164	170	139	115	193	199
スマート農業技術導入経営体（耕種農家：戸）	24	64	73	86	100	106	113

※：R3, R5, R6の特Aはコシヒカリのみ（なすひかりはA評価）

3 今後の展開方向と課題

(1) 「特Aプロジェクト」の充実強化を図り、「特A」奪還を目指す。また、那須地域良食味米コンクールの開催により県内外へ良食味米産地をPRする。

(2) 需要に応じた主食用米生産と併せて、気候変動や作期分散に対応した「とちぎの星」の作付拡大を推進する。

(3) 麦・大豆においては、定点調査ほ、展示ほ等を活用しながら技術支援を行い、収量・品質の向上を図り、作付面積の維持・拡大を目指す。

(4) 地域水田を担う大規模土地利用型経営体を育成するため、優良事例の紹介や各種補助事業を活用し、スマート農業技術を積極的に導入した省力・低コスト化を目指す。

課題3 土地利用型園芸導入による園芸産地の拡大・強化

1 取組の背景

那須地域は、県内有数の広大な水田が広がり、大規模な土地利用型農業が展開され、主食用米の他、転作作物として麦、大豆、飼料作物及び園芸の産地が形成されている。特に園芸では、米麦との複合で取り組む農家が多く、水田を活用した土地利用型園芸品目では、ねぎ、うど、なす等が産地化されている。近年、米の需要減少が続く中、県内有数の広大な水田の活用方策について、更なる工夫、取組が必要となっている。

2 普及活動の経過と成果

(1) 土地利用型園芸品目新規栽培者の確保

関係機関の共通認識のもと、土地利用型園芸品目を推進した結果、本年度は新たに6戸が、夏秋なす、ブロッコリー、ねぎ、とうがらし等の品目で栽培を開始した。

(2) 露地ねぎの安定生産技術向上と産地拡大

ねぎ選果施設を軸とした産地基盤強化に向け、ねぎ部会に対する夏ねぎの作付推進及び栽培技術指導を行った。ねぎ生産者は微減傾向にあるものの、栽培面積は110haを維持した。

(3) うどの高品質多収技術の確立

根株養成における排水対策、伏せ込み室の病害防除対策について重点指導を行った。

(4) モデル産地の規模拡大による生産安定

モデル産地（JAなすのたまねぎ部会、(合)マルホファーム、(株)那須ハートフルファーム）に対して、産地構想達成に向けた作付拡大・栽培技術支援及び商談会への参加誘導を行った。また、たまねぎの面積拡大を図るための省力化技術として、直まき栽培の適応性を検討した。



たまねぎ直まき栽培の検討



うど軟化技術の安定化

【活動実績】

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値
土地利用型園芸新規栽培者（戸）※	77	89	104	110	122	128	157
露地ねぎ栽培面積（ha）	83	90.5	100	114	115	110	130
山うど平均単収（kg/10a）	728	763	688	725	615	627	775
軟化うど平均単収（kg/10a）	1,306	1,137	1,132	1,251	1,202	1,270	1,350
JAなすのたまねぎ部会 栽培面積（ha）	4.6	5.6	4.4	4.6	4.5	3.6	10
新たなモデル産地の育成数※	3	4	5	5	5	5	6

※ 累計数

3 今後の展開方向と課題

- (1) 稼げる農業を実現するため、スマート農業の活用支援や専門家派遣等の経営改善支援により、個別経営体の規模拡大と法人化を進め、経営継承しやすい経営体を育成していく
- (2) 収益確保に向け園芸品目を導入した複合経営体については、儲かる経営のモデル化を図り、園芸産地の維持・拡大の取組を進める。
- (3) 露地ねぎ産地の拡大を図るため、選果施設を活用した経営規模の拡大推進並びに新規栽培者の確保を図る。また、安定的な周年出荷に向けた夏どり作型の導入支援を行い、周年出荷体制の強化並びにねぎ選果施設の安定稼働を図る。

課題4 那須地域の特徴を生かした園芸の振興

1 取組の背景

那須地方の施設園芸は、いちご、アスパラガス、トマト、にら等が上位販売額を占めている。近年は、環境モニタリング機器を導入し栽培管理に活用する農家が増えており、更なる導入促進と活用技術の普及が必要である。また、既存園芸産地の高齢化が進んでおり、新規栽培者の確保・育成のため、新規就農ネットワーク会議と連携し、新規園芸志向者の確保育成に努めた。なお、農家後継者、担い手確保とあわせて、産地維持拡大のための基盤強化が必要である。

2 普及活動の経過と成果

(1) 新規栽培者の確保・育成

関係機関、団体と連携し、就農相談や栽培技術等を支援した結果、8名の新規園芸栽培者を確保した。

(2) アスパラガスの産地拡大支援

選別施設の整備に伴う作付の拡大推進及び安定生産に向けた技術支援を行った。令和7年産の栽培面積は55.4ha、単収は1.3t/10aとなった。

(3) いちごの安定生産・収量向上支援

栽培講習会等を通じた「とちあいか」の品種特性周知・適正管理指導による普及推進に取り組んだ結果、令和8年産の栽培者数は90戸20.9haに増加した。また、環境モニタリング機器を活用した多収栽培技術の横展開や、実証展示ほの成果周知による芽数管理技術の普及等に取り組んだ結果、令和7年産の「とちあいか」平均単収は5.0t/10aとなった。

(4) トマトの新技术・新品種導入による収量・品質の向上

栽培講習会等で定植時期の前進化の推進や黄化葉巻病耐病性品種の導入推進などを行った。令和7年度の冬春トマト単収は5.4t/10aとなった。【活動実績】

(5) にら単収向上による経営安定

単収向上のための技術指導を行い、単収が1.5t/10aとなった。

(6) 輪ぎくの周年高品質安定生産

土壌診断に基づく施肥改善指導等の指導により共選率が73.3%となった。

(7) なしの改植と樹勢強化による生産性の向上

推進対象者に改植の具体的案を提示し推進したことにより、樹勢強化技術導入戸数は13戸となった。

3 今後の展開方向と課題

(1) 就農支援ネットワーク会議や、関係機関等との連携により、園芸導入志向者に対し、個々の状況に合わせた支援・指導を行う。

(2) アスパラガス選別施設を活用した新規栽培者の確保・育成と既存栽培者の作付拡大など、産地強化に向けた取組を実施する。

(3) いちご王国・栃木戦略の目標達成に向けて、「とちあいか」の導入推進を図るとともに、新規栽培者等を対象とした重点指導を行い、収量・品質の高位平準化を図る。

(4) 冬春トマトの収量・品質向上のため、新品種や新技术の導入等による経営改善の支援を行う。

(5) にらの収量向上を目指し、暑熱対策や多収性品種の導入を推進する。

(6) 輪ぎくの品質安定・収量の安定確保を目指し、暑熱対策と病虫害防除対策を支援する。

(7) なしの改植や気候変動対策等により収益性を向上させ、後継者や新規参加者が安定的に確保しやすい稼げる樹園地作りを支援するとともに、第三者を含めた円滑な園地継承体制を整備する。



とちあいか品質向上のための生育調査

項目	R2	R7	R7 目標値
新規栽培者数(累計)(戸)	2	8(34)	3(25)
アスパラガス面積(ha)	53	55	60
アスパラガス単収(t/10a)	1.5	1.3	1.7
とちあいか作付面積(ha)	0.6	20.9	21.0
とちあいか単収(t/10a)	3.9*	5.0	6.6
冬春トマト単収(t/10a)	6.2	5.4	8.0
にら単収(t/10a)	1.4	1.5	2.0
輪ぎく共選率(8~9月)(%)	42.7	73.3	60
なし樹勢強化技術導入数(戸)	1	13	23

※令和2年産とちおとめ平均単収

課題5 生産技術改善及び規模拡大による畜産力の強化

1 取組の背景

畜産経営は、輸入飼料価格の高騰や、経済情勢による畜産物の需要低迷により収益が低下しており、また、那須地域の畜産農家戸数も減少傾向にある。そのため、収益性の改善や担い手確保、労働費の低減が課題となっている。一方で、畜産の生産基盤強化を図るための技術として、水田を利用した稲 WCS の生産や、スマート農業による省力化などへの関心が高まるとともに、耕畜連携による資源循環農業の推進も求められている。そこで、生産性の向上や高品質な畜産物生産を目指し、先進的な技術の普及定着による畜産力の強化に取り組んでいる。

2 普及活動の経過と成果

(1) 生産技術改善及び効率化による生産力強化

飼料用とうもろこし生産の省力化として、ドローンを用いた雑草防除を2箇所で行った。ドローンにより、農薬散布に要する時間が8時間から1時間へ短縮し、アレチウリ等の強害雑草への有効性も確認された。また、関係機関と連携し、農業者向け研修会に取り組み、ドローン散布のメリットと留意事項(ドリフト等)を周知した。

酪農分野では、黒磯牛群検定組合員と連携し乳中脂肪酸組成の飼養管理への活用方法の検討と、AIを用いた牛群検定成績表の分析に取り組んだ。各組合員毎に過去の数年分の牛群検定成績から初産牛と経産牛に分け泌乳曲線を作成し、泌乳持続性を可視可した。また、黒磯牛群検定での取組について、那須及び那珂川牛群検定組合員向けに講演を行い、技術の普及に努めた。

肉牛分野では、和牛繁殖経営の若手生産者組織(那須塩原市子牛研究会)に対して、出荷牛の発育調査及び飼養管理指導を実施し、生産技術の高位平準化を図った。また、那須和牛の産肉成績向上のため、JA、家畜保健衛生所及び畜産酪農研究センターと連携し、共励会前の選畜巡回や、血液分析や超音波肉質診断による肥育農家の定期巡回指導を行い、肥育技術向上を図った。



ドローンによる雑草防除の研修会



家畜市場での出荷牛の体尺測定

(2) 規模拡大や新規就農・新規参入者の確保・育成による生産力の強化

規模拡大志向農家に対し自給飼料作付拡大計画の作成支援を行い、自給飼料基盤の強化を図った。また、酪農新規参入希望者1名に対し、空き牛舎活用検討等の支援を行った。

【活動実績】

項目	現状 R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7 目標値
スマート農業技術導入農家戸数(戸)	75	80	85	105	110	115	111
枝肉格付け AB45率(%)	89.6	94.0	97.5	97.0	99.2	96.9	95.0
検定乳量(kg)	10,429	10,604	10,620	10,563	10,520	10,630	10,629
規模拡大及び新規就農(参入) 農家戸数(戸)	5	8	9	14	17	20	20

3 今後の展開方向と課題

(1) 飼養管理技術の普及や畜産環境対策、スマート農業技術活用による「人・家畜・環境」に優しい畜産経営の充実強化に向けた支援を行う。

(2) 関係機関と連携し、次世代を担う畜産農家の確保育成に向けた支援を行う。

課題6 水田等を活用した自給飼料の生産と利用の拡大推進

1 取組の背景

那須地域は栃木県全体の畜産農家戸数の約5割を有する畜産地帯であるが、近年の飼料価格高騰などから、持続可能で安定した畜産経営を行うために飼料自給率の向上が求められている。特に那須地域は広大な水田を有するため、これを活用した耕畜連携による飼料作物の栽培及び利用の拡大が期待できる。しかし、飼料増産には収穫・調製の担い手確保が課題であり、コントラクター等の作業受託組織を育成し、作付面積拡大のための取り組みを推進する必要がある。

一方、単収向上技術は気候変動やほ場の大規模・広域化に対応するものが求められており、夏季の高温利用による飼料用とうもろこしの二期作栽培や、作業の効率化につながる農業用ドローン等の新技術の実証により推進を図る必要がある。

2 普及活動の経過と成果

(1) 耕畜連携による持続可能な畜産経営の推進

耕畜連携による那須地域の耕種・畜産双方の持続的な経営発展を目指すため、「水田をモ〜っと活かす！飼料生産拡大セミナー in 那須」を開催した。

宇都宮大学農学部の小川助教による講演、(農)鶴生ライスグローウイングの高木代表理事による事例紹介を行い、耕種・畜産農家が水田活用を改めて考える機会となった。

また、稲WCS生産農家と利用畜産農家で構成された生産組織に対し、稲WCSの品質向上や低コスト生産の技術指導を行った。

(2) コントラクター組織等の取り組み支援

コントラクター組織の現状を把握し、各組織の課題に対し作付品種や栽培管理・収穫調製の指導を行うとともに、播種機等の導入による、請負面積の拡大を支援した。

(3) 単収向上に向けた取組

飼料用とうもろこしの二期作栽培を行っている農家に対して、二毛作との生育比較や作業計画の作成支援を行い、単収向上や作期分散が期待される技術であることが実証された。

「WCS用稲専用極晩生品種「つきことか」現地検討会」を開催した。近年の温暖化により、那須地域においても栽培が可能であることを参加者へ紹介した。



飼料生産拡大セミナー



WCS用稲専用極晩生品種「つきことか」
現地検討会

【活動実績】

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値
水田における飼料作物栽培面積 (ha)	4,587	5,230	6,135	6,080	5,458	4,040	6,250
WCS用稲作付面積における専用品種の割合 (%)	25	29	25	24	20	32	31

3 今後の展開方向と課題

- (1) 飼料作物の生産・利用拡大に向け、畜産農家に対して極短穂品種である稲WCSの有用的特徴を周知するとともに、耕種農家に対して畜産農家が求める稲WCSの栽培調整を支援する。
- (2) 耕畜連携による飼料作物の栽培利用と堆肥活用の拡大に向け、コントラクター組織等に対して、作業計画、機械体系や品種の検討による、効率的な作業を支援する。
- (3) 飼料用とうもろこしの二期作栽培や農業用ドローン等の新技術の活用実証を行い、気候変動に対応した飼料作物栽培方法の推進や、飼料生産のコスト低減・省力化を進める。

課題 7 安全・安心な那須の農畜産物生産の推進

1 取組の背景

管内農業の持続的な発展や産地の信頼性を確保するためには、農薬の適正使用による「農産物の安全」確保に加え、「環境の保全」、「作業者の安全」につなげるGAPの取組を進める必要がある。

また、管内は放射性物質による農畜産物への影響が解消されておらず、吸収抑制対策や牧草等の給与前検査に基づく飼養管理指導を継続する必要がある。

2 普及活動の経過と成果

(1) とちぎグリーン農業（みどりの食料システム戦略）の推進

とちぎグリーン農業推進方針への理解促進のために認定農業者や環境保全型農業直接支払事業取組組織向けグリーン農業研修会や有機農業セミナーを実施した。また、みどり認定や認定者への支援を目的とした那須地域グリーン農業サポートチームを設置し、大田原カントリー受益者、JA生産部会に対しみどり認定を推進した結果590名（3月末見込）がみどり認定を受けた。

環境保全型農業直接支払交付金を活用し、化学肥料施用量及び化学合成農薬成分回数の5割低減の取組を推進した。その結果、同交付金に68組織が取り組み、取組面積は142,776aとなった。

【活動実績】

環境保全型農業直接支払交付金の取組実績（面積：a）

市町名	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
	組織数	面積	組織数	面積	組織数	面積	組織数	面積	組織数	面積
大田原市	14	12,816	13	16,017	14	17,928	15	17,882	13	15,782
那須塩原市	40	110,965	38	94,795	38	100,861	35	108,408	22	78,481
那須町	34	42,236	33	42,637	34	45,188	34	47,617	33	48,513
計	88	166,017	84	153,449	86	163,449	84	173,907	68	142,776

(2) GAPの取組推進

いちごの個別出荷者に対して農場点検や巡回指導を行い、農薬の適正使用等を中心に生産工程管理の徹底について指導を行った。また、GAP水準の厳格化に伴い、第三者認証制度も経営発展支援事業活用者のみと限定的になったことから、旧とちぎGAP第三者認証取得生産者に対し、国際水準GAP認証取得を推進した。さらに、JGAP認証取得生産者に対する継続支援を行った。

(3) 放射性物質対策の推進

大豆、そばへの放射性物質吸収抑制対策の推進を行った。また、628点（R8.3.3時点）の牧草等の給与前検査を実施し、検査結果に基づく飼養管理指導を行った。

3 今後の方向・課題

(1) みどり認定の申請や環境保全型農業直接支払交付金の取組により、環境負荷の低減と収益性の向上を両立した取組の拡大を目指す。

(2) 農業者及び生産者組織（JA部会等）に対し、技術課と連携して生産者への“するGAP”の浸透・定着のため、農場点検や巡回指導を行う。また、JGAP等の国際水準GAPの新規認証取得及び更新について支援する。

(3) 放射性物質吸収抑制対策の推進及び牧草等の給与前検査に基づく飼養管理指導を継続して実施する。また、安全な畜産物の生産のため、飼養管理状況の確認及び出荷指導を継続して実施する。



グリーン農業研修会

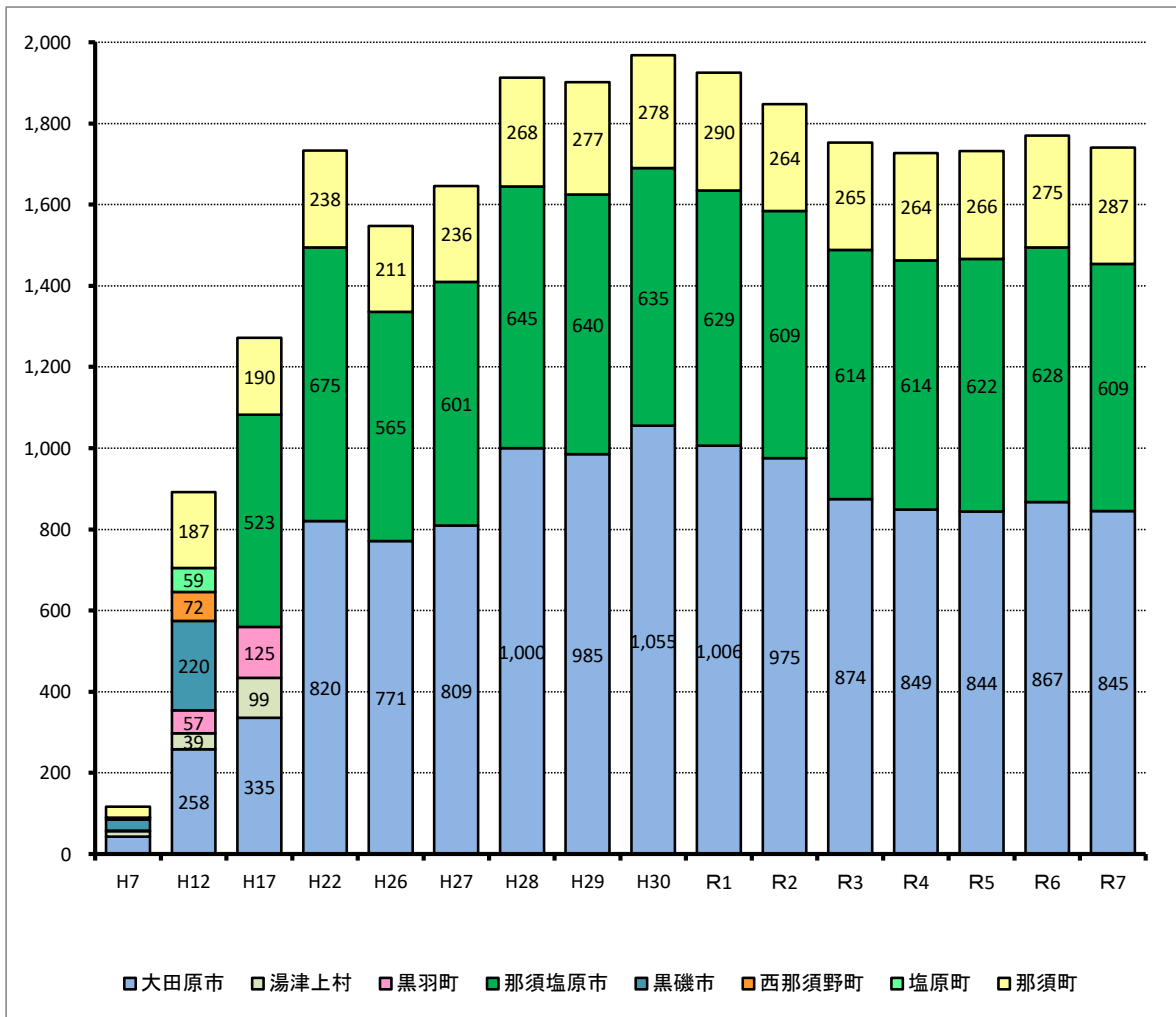


有機農業セミナー

3 管内認定農業者の動き

	H7	H12	H17	H22	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
大田原市	43	258	335	820	771	809	1,000	985	1,055	1,006	975	874	849	844	867	845	
湯津上村	13	39	99	大田原市へ													
黒羽町	1	57	125														
那須塩原市	那須塩原市へ			523	675	565	601	645	640	635	629	609	614	614	622	628	609
黒磯市				28	220												
西那須野町	4	72	那須塩原市へ														
塩原町	1	59															
那須町	26	187	190	238	211	236	268	277	278	290	264	265	264	266	275	287	
管内計	116	892	1,272	1,733	1,547	1,646	1,913	1,902	1,968	1,925	1,848	1,753	1,727	1,732	1,770	1,741	
県合計	419	4,374	5,487	7,523	6,783	6,654	7,295	8,045	8,192	8,148	7,925	7,669	7,638	7,655	7,727	7,450	
県に占める割合	27.7%	20.4%	23.2%	23.0%	22.8%	24.7%	26.2%	23.6%	24.0%	23.6%	23.3%	22.9%	22.6%	22.6%	22.9%	23.4%	

※いずれも3月末時点(広域認定を含む)



4 那須地方農業者組織の概要

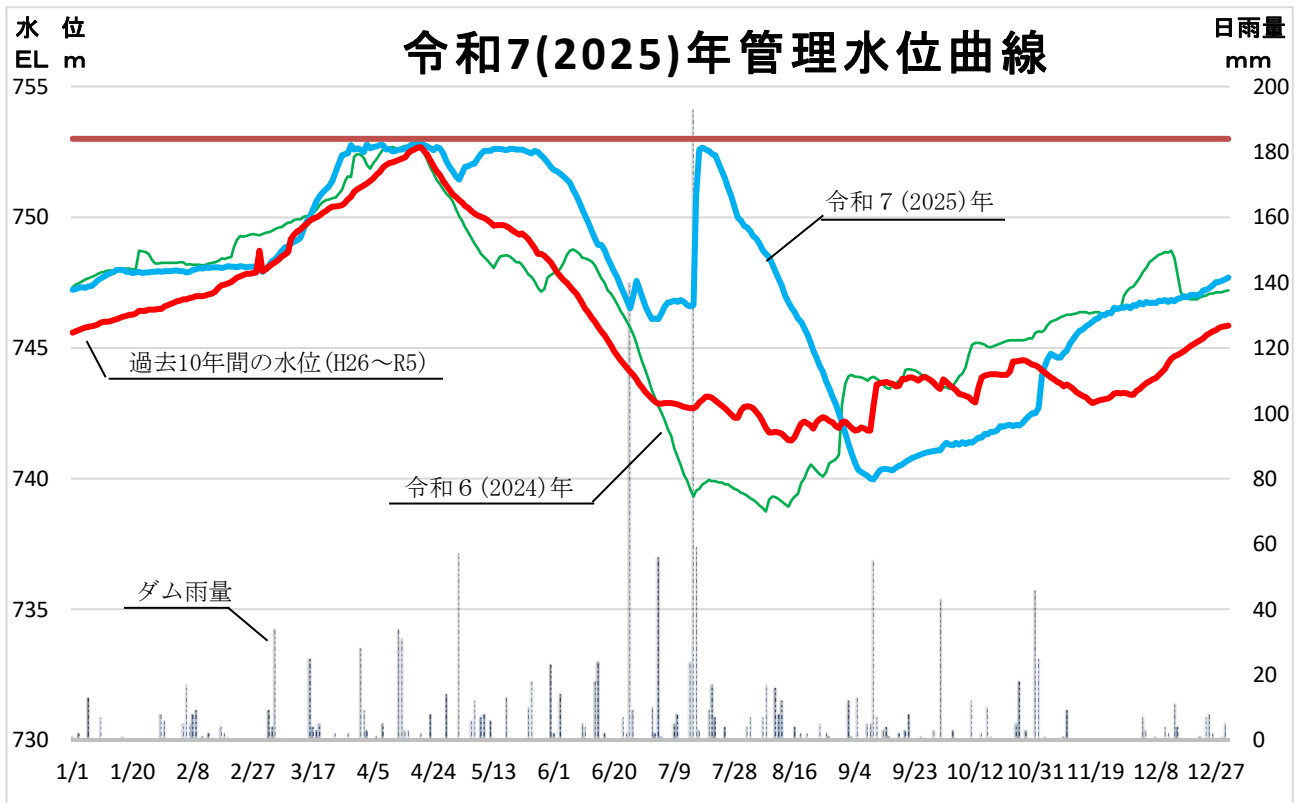
(令和7年)

組織の概要	役員及び主な事業内容
<p>那須地方農業者懇談会 [設立 H13.2.7]</p> <p>[目的]管内農業者団体の相互の連絡協調を図り、各団体会員の連携強化により農業経営と生活の合理化、農村文化の向上及び農村地域の振興に寄与する。</p> <p>[構成組織]地方RFC、地方農業士会、地区農村生活研究グループ協議会、地方青少年クラブ協議会、地区認定農業者協議会、地方国際農友会</p> <p>[構成組織数] 6組織</p>	<p>会長 磯 浩美 [大田原市]</p> <p>副会長 菊池 宏 [那須塩原市]</p> <p>○那須地方の農業の夢を語る会</p> <p>○各組織との連携活動</p> <p>(2026.4)改選予定</p>
<p>那須地方RFC [設立 H13.10.11]</p> <p>[目的]協調、友愛、奉仕の精神を常に高揚し、農業に生き甲斐を求めて精進する農業後継者、青年農業者、女性組織等の活動を激励、援助するとともに、会員の加入推進及び地区活動の充実を図り、豊かな農村社会を実現することを目的とする。</p> <p>[会員数] 45名+賛助会員1組織(那須地方名誉農業士会)</p>	<p>会長 磯浩美 [大田原市]</p> <p>副会長 菊池 宏 [那須塩原市]</p> <p>○農業士会事業との共催</p> <p>○生活研究グループ、青少年クラブ活動支援</p> <p>(2026.4)改選予定</p>
<p>那須地方農業士会 [設立 H12.2.22]</p> <p>[目的]近代化農業を担い上げる優れた青年農業者等の育成指導並びに地域農業の振興を図るため、農業士相互及び女性農業士との連携の下、組織活動を促進し、もって地域農業振興に寄与することを目的とする。</p> <p>[会員数] 42名</p>	<p>会長 菊池 宏 [那須塩原市]</p> <p>副会長 熊田 正和 [大田原市]</p> <p>副会長 中山千代子 [大田原市]</p> <p>○夏期夫妻研修会</p> <p>○冬期夫妻研修会</p> <p>○生活研究グループ、青少年クラブへの活動支援</p> <p>(2026.2)改選</p>
<p>那須地区農村生活研究グループ協議会 [設立 H12.4.14]</p> <p>[目的]会員相互の連絡協調を密にし、その活動を促進することにより、グループ員の資質向上と豊かでゆとりある新しい農村型ライフスタイルの実現をめざすとともに、農村女性の地位向上を図ることを目的とする。</p> <p>[会員数] 46名</p>	<p>会長 朝野 直子 [大田原市]</p> <p>副会長 竹内 ヒロ [那須塩原市]</p> <p>○那須の米をいっぱい食べる会</p> <p>○視察研修会</p> <p>(2026.3)改選</p>
<p>那須野が原青少年クラブ協議会 [設立 H12.4.12]</p> <p>[目的]クラブ員相互の親睦と協調を図り、クラブ活動の健全な発展によるクラブ員の資質向上に資することを目的とする。</p> <p>[会員数] 27名</p>	<p>会長 阿久津 清尚 [大田原市]</p> <p>副会長 小室 光 [大田原市]</p> <p>○専門部活動(耕種、施設野菜、露地野菜、果樹、花き、畜産)</p> <p>○各種交流会</p> <p>○実績意見発表大会</p> <p>○経営技術改善セミナー</p> <p>○各種県事業参加等</p> <p>(2026.3)改選</p>
<p>那須地方国際農友会 [設立 H12.12.13]</p> <p>[目的]海外に派遣された農村青壮年が各国において習得した農業の諸体験を生かして、会員相互の親睦と資質の向上を図り本県農業の近代化と合理化を推進して農民との相互理解と連携を深めつつ国際親善に寄与することを目的とする。</p> <p>[会員数] 34名</p>	<p>会長 高橋 雄幸 [那須町]</p> <p>副会長 井上 智之 [那須塩原市]</p> <p>○研修生壮行会</p> <p>○情報交歓会</p> <p>○海外研修生派遣、受入れ支援等</p>
<p>那須地区認定農業者協議会 [設立 H12.10.31]</p> <p>[目的]経営感覚に優れた効率的で安定的な経営体を目指す農業経営者としての能力向上と、地域農業リーダーとしての資質の向上を図るとともに、地域農業の振興に寄与することを目的とする。</p> <p>[構成組織] 大田原市、那須塩原市、那須町各認定農業者組織</p> <p>[会員数] 1,679 経営体(大田原市 806、那須塩原市 591、那須町 273)</p>	<p>会長 平山 文修 [那須町]</p> <p>副会長 渡邊 政博 [那須塩原市]</p> <p>副会長 田代 保 [大田原市]</p> <p>○研修会</p> <p>○各種事業参加 等</p> <p>(2024.3)改選</p>
<p>那須地方農村女性会議 [設立 H13.3.22]</p> <p>[目的]男女共同参画ビジョンの実現を通して、組織間の連携を深めながら女性の地位向上と、男女共同参画社会の形成を図ることを目的とする。</p> <p>[構成組織数] 6組織</p>	<p>会長 菊地みどり</p> <p>[栃木県酪農業協同組合県北支所女性会]</p> <p>副会長 朝野直子</p> <p>[那須地区農村生活研究グループ]</p> <p>○男女共同参画研修会</p> <p>○農村女性の社会参画の推進</p> <p>○組織間情報交換連携活動</p> <p>(2026.5)改選予定</p>

第4 深山・板室ダムの管理状況

1 深山ダムの水位の動き

1月～4月中旬にかけて、過去10年間平均(以下「平年」と呼ぶ)以上の貯水位で推移し、4月20日の取水開始以降も降雨に恵まれたため、平年以上の貯水位となりました。また、7月上旬頃の大雨や利水関係者による節水の努力により、満水位付近まで回復できました。一方、7月中旬以降は降雨が少ない状況が続いたため、貯水位が急降下しました。現在は来春4月20日の取水開始に向け、平年以上の水位で貯め上げを行っております。



2 整備補修の実績 (主要なもの)



深山ダム：諸量演算装置更新工事

管理棟の建替にあわせて、ダム操作に必要な諸量演算装置を更新しました。



深山ダム：既設通信鉄塔解体工事

前年度に新しい通信鉄塔を組立したため、既設通信鉄塔を解体しました。



板室ダム：遠方監視制御装置PLC更新工事

板室ダムの制御を行う遠方監視制御装置のPLCが耐用年数を迎えたため、更新しました。

3 各種活動の実績



森と湖に親しむ旬間(7月)

深山ダムで、「森と湖に親しむ旬間」の取組として、現地見学会を開催しました。



ダムカードの配布

深山・板室ダムの役割について、広く理解を図るため、ダムカードを配布しました。



詳細はHPを参照願います。

那須広域ダム

検索

第5 農産物モニタリング検査状況

1 農産物の検査

県では、国から示された検査ガイドラインを踏まえて、計画的にモニタリング検査を実施し、農産物の安全性を確認している。

令和7年度においては、下表の日程で大田原市、那須塩原市、那須町の4品目についてモニタリング検査を実施した。今年度から生産額が多い穀物類については、県内で作付面積が1位の市町のみ対象となったことから、大田原市の米のみが対象となり、全ての検体で放射性セシウムの基準値を下回った（全て検出せず）。

グループ	品目	大田原市	那須塩原市	那須町
山菜「栽培もの」 (野生で出荷制限となっている品目)	こしあぶら	-	-	-
	たらの芽	4/17	4/17	4/17
生産額が多い穀物類	米	8/28	-	-

第6 那須地方の農業の動き

1 農業

(1)市町村別農業産出額(令和5年)

市町村別の農業産出額は、大田原市が289.9億円で県内2位(全国40位)、那須塩原市が504.0億円で県内1位(全国10位)、那須町が224.2億円で県内3位(全国75位)となっている。

耕種は大田原市が県内1位(全国23位)、那須塩原市が県内4位(全国66位)、園芸は大田原市が県内3位(全国110位)、畜産は大田原市が県内3位(全国56位)、那須塩原市が県内1位(全国3位)、那須町が県内2位(全国28位)となっている。

農業産出額の合計

	農業産出額 (単位:億円)	県内順位 /25市町	全国順位 /1719市区町村
大田原市	289.9	2	40
那須塩原市	504.0	1	10
那須町	224.2	3	75
那須地方計	1018.1	—	—
栃木県計	2929.0	—	—
那須地方/県	34.8%	—	—

(内訳)

① 耕種(米、麦類、雑穀、豆類、工芸農作物、その他作物の合計)

	農業産出額 (単位:億円)	県内順位 /25市町	全国順位 /1719市区町村
大田原市	75.3	1	23
那須塩原市	46.3	4	66
那須町	21.8	12	239
那須地方計	143.4	—	—
栃木県計	653.3	—	—
那須地方/県	22.0%	—	—

② 園芸(野菜、果実、花き、いも類の合計)

	農業産出額 (単位:億円)	県内順位 /25市町	全国順位 /1719市区町村
大田原市	76.9	3	110
那須塩原市	39.3	8	260
那須町	10.1	21	757
那須地方計	126.3	—	—
栃木県計	869.4	—	—
那須地方/県	14.5%	—	—

③ 畜産(肉用牛、乳用牛、豚、鶏、その他畜産物の合計)

	農業産出額 (単位:億円)	県内順位 /25市町	全国順位 /1719市区町村
大田原市	129.7	3	56
那須塩原市	409.2	1	3
那須町	190.2	2	28
那須地方計	729.1	—	—
栃木県計	1276.8	—	—
那須地方/県	57.1%	—	—

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

(資料) 令和5年市町村別農業産出額(推計)(農林業センサ結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果)

(2)市町別主要農産物の面積、収穫量(令和6年産)

(単位：ha、t)

市町	品目	作付面積	収穫量	出荷量
大田原市	水稻	5,820	33,700	—
	麦類	872	3,088	—
	大豆	287	399	—
	そば	174	88	—
	秋冬ねぎ	82	2,400	2,280
	夏秋なす	20	998	940
	冬春トマト	7	538	513
那須塩原市	水稻	3,860	21,800	—
	麦類	282	913	—
	大豆	135	174	—
	そば	141	61	—
	ほうれんそう	110	1,300	1,290
	秋冬ねぎ	26	629	567
	夏だいこん	23	495	470
	夏秋なす	13	711	668
	冬春トマト	2	173	170
那須町	水稻	1,760	9,650	—
	麦類	28	107	—
	大豆	3	2	—
	そば	59	27	—
	ほうれんそう	28	300	290
	秋冬ねぎ	5	130	124
	夏秋なす	7	363	330

(出典) 作物統計調査 市町村別データ

(3)農漁業災害発生の状況

農作物、施設被害状況

(単位：ha、千円)

年度	発生日	災害名	地域 (市町)	災害状況			備考
				作物名等	被害面積	被害金額	
R7	—	—	—	—	—	—	
R6	—	—	—	—	—	—	
R5	—	—	—	—	—	—	
R4	1/24	強風	大田原市	パイプハウス(11棟)	0.17	984	
				木造畜舎(2棟)	0.05	464	
			那須塩原市	カーネーション	0.03	388	
				パイプハウス(55棟)	1.11	8,482	
R3	4/18	強風	大田原市	パイプハウス(2棟)	0.03	430	
				木造畜舎(2棟)	0.05	464	
			那須塩原市	パイプハウス(21棟)	0.54	3,239	
				木造畜舎(1棟)	0.05	454	
	4/27	降霜	大田原市	キウイフルーツ	2.36	7,741	
	5/2	降雹	大田原市	なし幸水	2.15	12,232	
なし豊水				2.25	18,096		
なしにっこり				0.75	6,596		
なし新高				0.35	3,361		
なしあきづき				0.15	983		
なしその他				0.15	1,029		
ブロッコリー				1.14	2,002		
ブルーベリー				0.40	1,920		
アスパラガス				0.20	1,004		
キャベツ春もの				0.70	679		
(資料) 令和4年市町村別農業	ねぎ	34.20	41,137				
	トウガラシ	2.30	1,870				
	うど養成株	23.00	4,320				
	那須塩原市	キウイフルーツ	2.38	1,608			
かぶ	2.22	1,523					
だいこん夏もの	2.60	398					
ねぎ	1.05	1,275					

農作物、施設被害状況

(単位：ha、千円)

年度	発生日	災害名	地域 (市町)	災害状況			備考
				作物名等	被害面積	被害金額	
R3	8/30	突風	大田原市	パイプハウス(10棟)	0.20	2,760	
				しいたけ出荷作業所	0.01	1,600	
	3/16	地震	大田原市	菌床しいたけ(施設)	0.001	89	
			那須塩原市	菌床しいたけ(施設) 菌床施設ボイラー 配管の破損	0.02 0.002	4,010 800	

暑熱による畜産関係被害状況(7/1~9/30の死亡畜数)

(単位:頭羽数)

年度	乳用牛	肉用牛	採卵鶏	ブロイラー	備考
R7	42	4	0	0	
R6	0	0	2471	0	
R5	35	7	4,808	12	
R4	21	3	0	0	
R3	34	9	2	0	

※県北家畜保健衛生所調べ

(4)農家戸数の動き

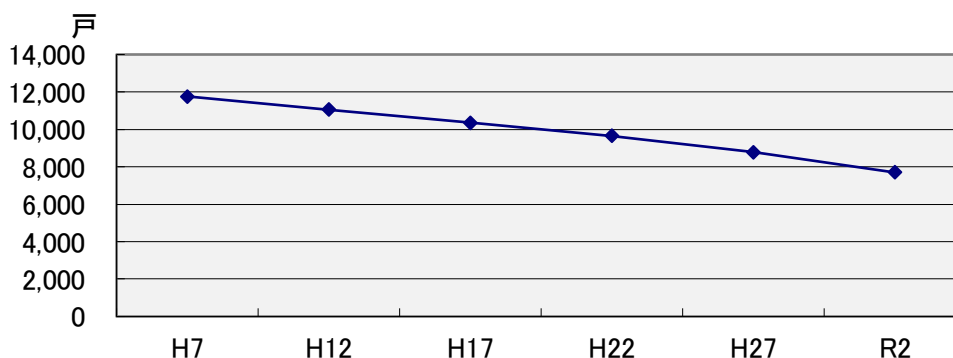
那須地方の農家戸数は減少傾向にあり、令和2年には7,697戸となった。増減を平成27年と比較してみると88%の増減率となり、県全体よりもやや緩やかな減少具合となった。

総農家戸数の推移

(単位：戸)

	H12	H17	H22	H27	R2	増減 (R2-H27)	増減率 (R2/H27)
那須地方	11,058	10,361	9,648	8,773	7,697	△1,076	88%
栃木県	77,532	71,510	64,337	55,446	46,202	△9,244	83%

*平成12年からは販売農家数と自給的農家数の合計 (出典) 農林業センサス



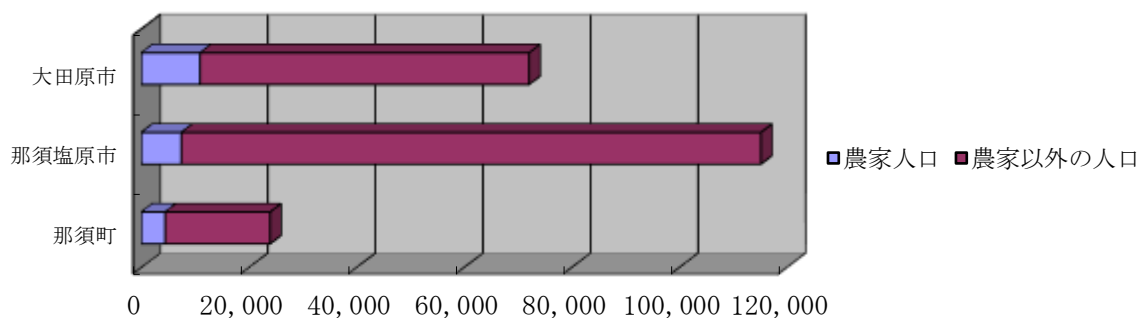
那須地方年次別農家戸数の推移

市町別農家人口率 (令和2年)

(単位：人・%)

	農家人口率		
	総人口	農家人口	農家人口率
大田原市	72,087	10,936	15.2%
那須塩原市	115,210	7,456	6.5%
那須町	23,956	4,442	18.5%
那須地方計	211,253	22,834	10.8%
栃木県計	1,931,254	114,210	5.9%
那須/県	10.9%	20.0%	

※農家人口は農業経営体の世帯員数
(出典) 国勢調査・農林業センサス



市町別農家人口 (令和2年)

(5)専兼業別農家戸数の動き

専兼業別農家戸数の推移

(単位：戸)

		H12		H17		H22		H27		R2	
		那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県
実数	販売農家数	9,871	65,042	8,963	56,016	8,053	47,833	7,176	39,810	6,107	31,993
	専業	1,280	8,551	1,398	9,084	1,588	10,127	1,761	10,380	-	-
	総数	8,591	56,491	7,565	46,932	6,465	37,706	5,415	29,430	-	-
	第1種	2,237	10,602	1,993	10,283	1,718	7,062	1,227	5,435	-	-
	第2種	6,354	45,889	5,572	36,649	4,747	30,644	4,188	23,995	-	-
割合	販売農家数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-
	専業	13.0%	13.1%	15.6%	16.2%	19.7%	21.2%	24.5%	26.1%	-	-
	総数	87.0%	86.9%	84.4%	83.8%	80.3%	78.8%	75.5%	73.9%	-	-
	第1種	22.7%	16.3%	22.2%	18.4%	21.3%	14.8%	17.1%	13.7%	-	-
	第2種	64.4%	70.6%	62.2%	65.4%	58.9%	64.1%	58.4%	60.3%	-	-

(出典)農林業センサス

市町別専業兼業別農家戸数の推移

		大田原市	那須塩原市	那須町	那須地方計	栃木県計	地方/県	
販売農家数	H12	4,584	3,265	2,022	9,871	65,042	15%	
	H17	4,257	2,942	1,764	8,963	56,016	16%	
	H22	3,841	2,620	1,592	8,053	47,833	17%	
	H27	3,454	2,327	1,395	7,176	39,810	18%	
	R2	2,991	1,959	1,157	6,107	31,993	19%	
専業兼業別農家数	専業	H12	559	481	240	1,280	8,551	15%
		H17	649	511	238	1,398	9,084	15%
		H22	752	559	277	1,588	10,127	16%
		H27	835	645	281	1,761	10,380	17%
		R2	-	-	-	-	-	-
	第1種兼業	H12	1,016	805	416	2,237	10,602	21%
		H17	1,003	736	254	1,993	10,283	19%
		H22	875	577	266	1,718	7,062	24%
		H27	581	437	209	1,227	5,435	23%
		R2	-	-	-	-	-	-
	第2種兼業	H12	3,009	1,979	1,366	6,354	45,889	14%
		H17	2,605	1,695	1,272	5,572	36,649	15%
		H22	2,214	1,484	1,049	4,747	60,644	8%
		H27	2,038	1,245	905	4,188	23,995	17%
R2		-	-	-	-	-	-	

(出典)農林業センサス

(6) 経営耕地面積規模別経営体数の動き

那須地方の経営耕地規模別経営体数をみると、総農家数の減少とともにほとんどの階層で減少しているが、10.0ha以上の経営体数は増加している。これは県全体でも同様の傾向が見られる。

また、5.0～10.0haの経営体が県全体の32.5%、10.0ha以上の経営体が県全体の27.1%を占めるなど、規模の大きい経営体の割合が多い。

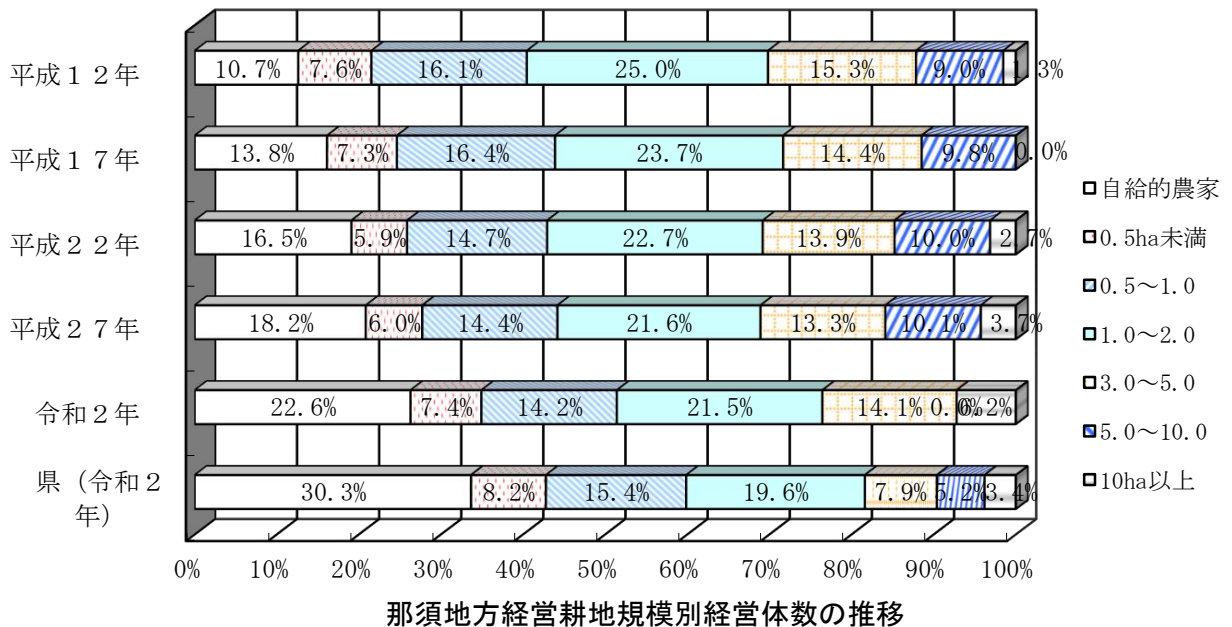
那須地方経営耕地面積規模別経営体数の推移

(単位：経営体 ※自給的農家数は戸)

	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年		那須地方 増減率 (R2/H27)	
	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県		
実 数	0.5ha未満	838	8,767	738	6,870	565	5,184	527	4,289	521	3,849	99%
	0.5～1.0	1,781	16,942	1,669	14,295	1,421	11,911	1,262	9,560	998	7,207	79%
	1.0～2.0	2,761	20,372	2,406	17,401	2,186	14,950	1,893	11,983	1,512	9,179	80%
	2.0～3.0	1,655	9,785	1,485	8,605	1,315	7,178	1,113	5,900	978	4,740	88%
	3.0～5.0	1,694	6,413	1,462	5,733	1,337	5,102	1,165	4,391	988	3,699	85%
	5.0～10.0	999	2,382	993	2,487	969	2,618	890	2,582		2,447	0%
	10ha以上	143	381		625	260	890	326	1,105	435	1,605	133%
	自給的農家	1,187	12,490	1,398	15,494	1,591	16,445	1,597	15,636	1,590	14,209	100%
	計	11,058	77,532	10,151	71,510	9,644	64,278	8,773	55,446	7,022	46,935	80%
割	0.5ha未満	7.6%	11.3%	7.3%	9.6%	5.9%	8.1%	6.0%	7.7%	7.4%	8.2%	
	0.5～1.0	16.1%	21.9%	16.4%	20.0%	14.7%	18.5%	14.4%	17.2%	14.2%	15.4%	
	1.0～2.0	25.0%	26.3%	23.7%	24.3%	22.7%	23.3%	21.6%	21.6%	21.5%	19.6%	
	2.0～3.0	15.0%	12.6%	14.6%	12.0%	13.6%	11.2%	12.7%	10.6%	13.9%	10.1%	
	3.0～5.0	15.3%	8.3%	14.4%	8.0%	13.9%	7.9%	13.3%	7.9%	14.1%	7.9%	
	5.0～10.0	9.0%	3.1%	9.8%	3.5%	10.0%	4.1%	10.1%	4.7%	-	5.2%	
	10ha以上	1.3%	0.5%	-	0.9%	2.7%	1.4%	3.7%	2.0%	6.2%	3.4%	
	自給的農家	10.7%	16.1%	13.8%	21.7%	16.5%	25.6%	18.2%	28.2%	22.6%	30.3%	
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

*0.5ha未満には経営耕地なしを含む

(出典) 農林業センサス



(資料) 令和4 (注)平成27年までは販売農家、令和2年は農業経営体における数値を記載

市町別経営耕地面積規模別経営体数(令和2年)

(単位：経営体 ※自給的農家数は戸)

	合計	0.5ha未満	0.5～ 1.0	1.0～ 2.0	2.0～ 3.0	3.0～ 5.0	5.0～ 10.0	10.0ha 以上	自給的 農家
大田原市	3,716	257	476	753	519	509	369	159	674
那須塩原市	2,527	138	302	474	264	324	289	205	531
那須町	1,574	126	220	285	195	155	137	71	385
那須地方計	7,817	521	998	1,512	978	988	795	435	1,590
	100.0%	6.7%	12.8%	19.3%	12.5%	12.6%	10.2%	5.6%	20.3%
栃木県計	46,935	3,849	7,207	9,179	4,740	3,699	2,447	1,605	14,209
那須/県	16.7%	13.5%	13.8%	16.5%	20.6%	26.7%	32.5%	27.1%	11.2%

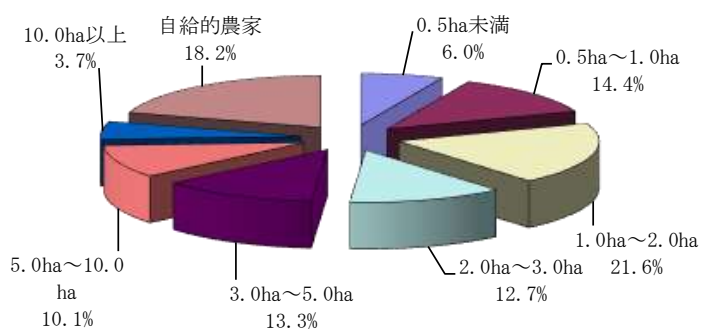
*0.5ha未満には経営耕地なしを含む

10ha以上規模別経営体数(令和2年)

(単位：経営体)

	10.0～ 20.0	20.0～ 30.0	30.0～
大田原市	126	21	12
那須塩原市	157	34	14
那須町	55	10	6
那須地方計	338	65	32
	4.3%	0.8%	0.4%
栃木県計	1,077	279	249
那須/県	31.4%	23.3%	12.9%

(出典) 農林業センサス



那須地方経営規模別経営体数割合(令和2年)

(7) 農産物販売金額別経営体数(農業経営体)

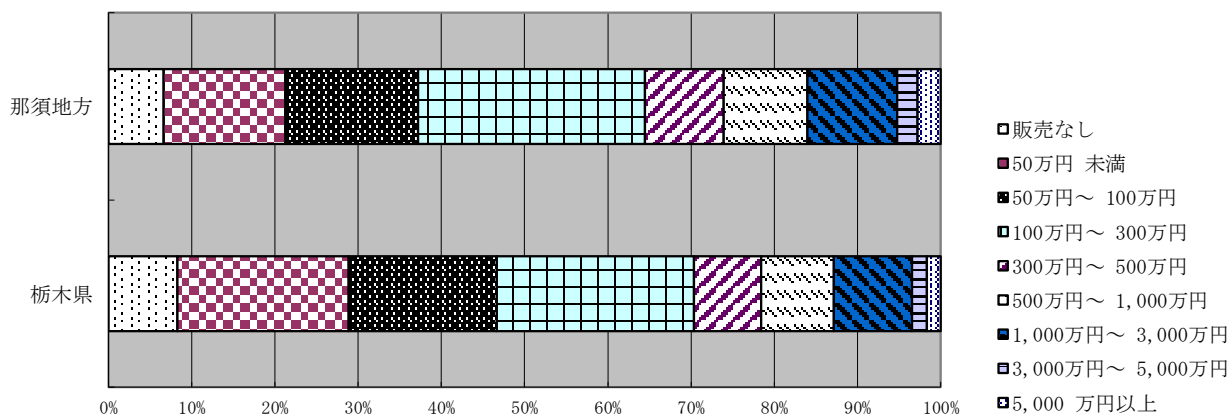
那須地方の農業経営体に占める農産物販売金額1,000万円以上の経営体は、令和2年で13.9% (995経営体) であり、県の10.5% (4,191経営体) に比べ、その割合は高い。

農産物販売金額規模別経営体数(令和2年)

(単位：経営体)

	農業 経営体数	販売なし	50万円 未満	50万円～ 100万円	100万円～ 300万円	300万円～ 500万円	500万円～ 1,000万円	1,000万円～ 3,000万円	3,000万円～ 5,000万円	5,000 万円以上
実 那須地方	7,176	414	908	994	1,698	591	627	669	155	171
数 栃木県	39,810	2,705	6,750	5,819	7,741	2,650	2,870	3,074	587	530
割 那須地方	86.8%	5.8%	12.7%	13.9%	23.7%	8.2%	8.7%	9.3%	2.2%	2.4%
合 栃木県	82.2%	6.8%	17.0%	14.6%	19.4%	6.7%	7.2%	7.7%	1.5%	1.3%

(出典) 農林業センサス



農産物販売金額規模別経営体数(令和2年)

2 農業労働力

(1) 年齢階層別の経営体数の動き

那須地方の年齢階層別の経営体数をみると、70歳以上の経営体数は増加している。これは県全体でも同様の傾向が見られる。

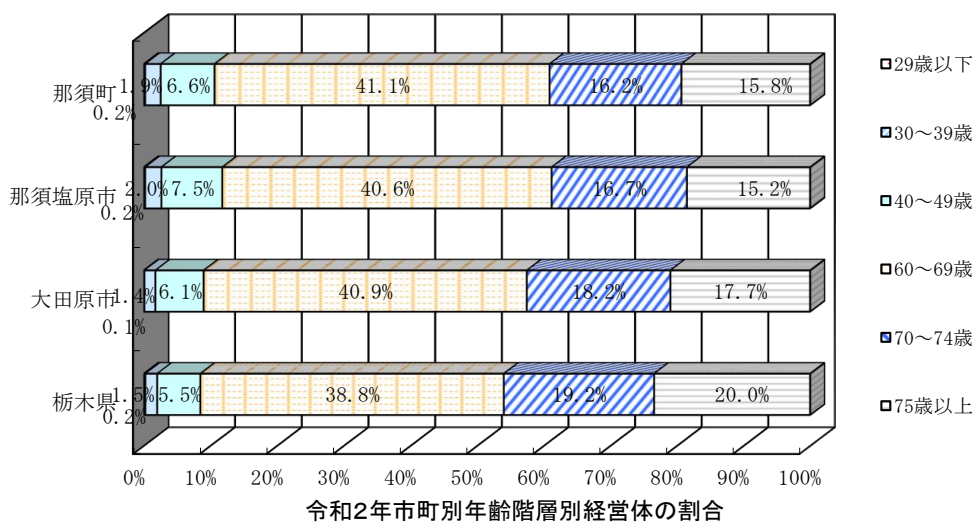
また、75歳以上の経営体の割合は、令和2年で16.5%であり、県の20.0%に比べ低い。

那須地方年齢階層別経営体数の推移

(単位：経営体)

	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年		
	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	
実数	29歳以下	28	121	25	105	4	55	11	59	8	73
	30～39歳	521	2,473	260	1,305	153	729	104	533	105	498
	40～49歳	2,902	15,200	1,706	8,614	875	4,498	466	2,284	413	1,803
	50～59歳	2,835	17,666	3,234	18,326	2,856	14,874	1,810	8,737	1,049	4,833
	60～69歳	2,415	18,259	1,876	12,967	2,398	14,467	3,002	16,119		12,691
	70～74歳	650	7,025		5,834	804	5,742	725	4,661	1,080	6,296
	75歳以上	432	4,298	630	5,596	963	7,468	1,058	7,417	1,029	6,532
計	9,783	65,042	7,731	52,747	8,053	47,833	7,176	39,810	3,684	32,726	
割合	29歳以下	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%
	30～39歳	5.3%	3.8%	3.4%	2.5%	1.9%	1.5%	1.4%	1.3%	2.9%	1.5%
	40～49歳	29.7%	23.4%	22.1%	16.3%	10.9%	9.4%	6.5%	5.7%	11.2%	5.5%
	50～59歳	29.0%	27.2%	41.8%	34.7%	35.5%	31.1%	25.2%	21.9%	28.5%	14.8%
	60～69歳	24.7%	28.1%	24.3%	24.6%	29.8%	30.2%	41.8%	40.5%	-	38.8%
	70～74歳	6.6%	10.8%	-	11.1%	10.0%	12.0%	10.1%	11.7%	29.3%	19.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(出典) 農林業センサス



(資料) 令和4年市町村別農業産出額(推計)

(農業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果)

(注)平成27年までは販売農家、令和2年は農業経営体における数値を記載

(2)基幹的農業従事者の推移

那須地方の令和2年の基幹的農業従事者（自営農業に主として従事した世帯員のうち仕事
が主の世帯員数）は、8,604人となった。また、男女別では男が5,039人、女が3,565人と
なった。

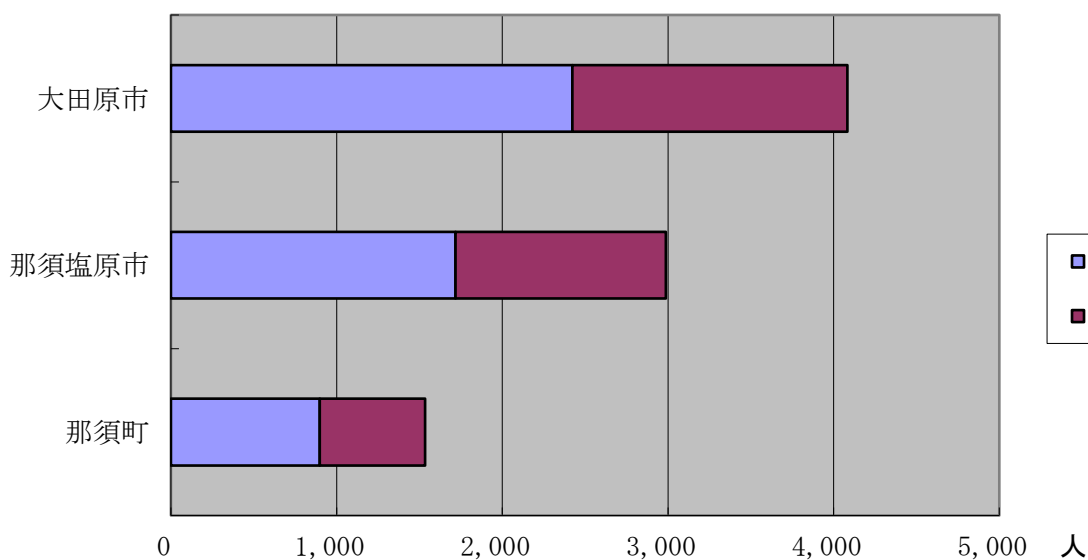
基幹的農業従事者の推移

(単位：人)

		数				
		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
大田原市	男	2,575	2,670	2,833	2,653	2,423
	女	2,586	2,536	2,531	2,191	1,660
	計	5,161	5,206	5,364	4,844	4,083
那須塩原市	男	2,063	2,142	2,146	1,953	1,718
	女	2,151	2,184	2,049	1,677	1,269
	計	4,214	4,326	4,195	3,630	2,987
那須町	男	1,149	875	1,171	941	898
	女	1,218	741	1,083	725	636
	計	2,367	1,616	2,254	1,666	1,534
那須地方計	男A	5,787	5,687	6,150	5,547	5,039
	女	5,955	5,461	5,663	4,593	3,565
	計B	11,742	11,148	11,813	10,140	8,604
	A/B	49.3%	51.0%	52.1%	54.7%	58.6%
栃木県計	男a	34,880	34,605	34,605	29,693	25,613
	女	33,133	30,969	30,969	23,221	17,301
	計b	68,013	65,574	65,574	52,914	42,914
	a/b	51.3%	52.8%	52.8%	56.1%	59.7%
那須 / 県	男	16.6%	16.4%	17.8%	18.7%	19.7%
	女	18.0%	17.6%	18.3%	19.8%	20.6%
	計	17.3%	17.0%	18.0%	19.2%	20.0%

(注)平成27年までは販売農家、令和2年は農業経営体

(資料)農林業センサス



市町別基幹的農業従事者(令和2年)

3 農地

(1) 年次別耕地面積の推移

(単位：h a ・%)

		田	畑	計	水田率
那 須 地 方	平成 2年	22,700	6,160	28,860	78.7
	平成 3年	22,700	6,100	28,800	78.8
	平成 4年	22,600	6,060	28,660	78.9
	平成 5年	22,400	5,930	28,330	79.1
	平成 6年	22,400	5,880	28,280	79.2
	平成 7年	22,300	5,820	28,120	79.3
	平成 8年	22,200	5,770	27,970	79.4
	平成 9年	22,100	5,730	27,830	79.4
	平成10年	22,100	5,610	27,710	79.8
	平成11年	21,700	5,570	27,270	79.6
	平成12年	21,800	5,560	27,360	79.7
	平成13年	21,800	5,530	27,330	79.8
	平成14年	21,700	5,500	27,200	
	平成15年	21,700	5,500	27,200	79.8
	平成16年	21,600	5,650	27,250	79.3
	平成17年	21,600	5,610	27,210	79.4
	平成18年	21,500	5,580	27,080	79.4
	平成19年	21,300	5,690	26,990	78.9
	平成20年	21,100	5,750	26,850	78.6
	平成21年	21,030	5,810	26,840	78.4
	平成22年	20,850	5,890	26,740	78.0
	平成23年	20,680	5,940	26,620	77.7
	平成24年	20,550	6,020	26,570	77.3
	平成25年	20,470	6,040	26,510	77.2
	平成26年	20,430	6,000	26,430	77.3
	平成27年	20,400	5,980	26,380	77.3
	平成28年	20,390	5,950	26,340	77.4
	平成29年	20,360	5,940	26,300	77.4
	平成30年	20,290	5,900	26,190	77.5
	平成31・令和元年	20,220	5,850	26,070	77.6
令和2年	19,850	6,150	26,000	76.3	
令和3年	19,620	6,310	25,930	75.7	
令和4年	19,570	6,360	25,930	75.5	
令和5年	19,430	6,380	25,810	75.3	
令和6年	19,390	6,390	25,780	75.2	
令和7年	19,390	6,360	25,750	75.3	
栃 木 県	平成 2年	109,300	32,200	141,500	77.2
	平成 3年	108,800	31,700	140,500	77.4
	平成 4年	108,400	31,300	139,700	77.6
	平成 5年	107,900	30,700	138,600	77.8
	平成 6年	107,400	30,200	137,600	78.1
	平成 7年	106,900	29,700	136,600	78.3
	平成 8年	106,400	29,400	135,800	78.4
	平成 9年	105,900	29,000	134,900	78.5
	平成10年	105,600	28,700	134,300	78.6
	平成11年	105,000	28,500	133,500	78.7
	平成12年	104,600	28,100	132,700	78.8
	平成13年	104,300	27,900	132,200	78.9
	平成14年	103,700	27,900	131,600	78.8
	平成15年	103,000	28,100	131,100	78.6
	平成16年	102,800	27,900	130,700	78.7
	平成17年	102,200	27,900	130,100	78.6
	平成18年	101,300	28,000	129,300	78.3
	平成19年	100,700	28,300	129,000	78.1
	平成20年	99,900	28,400	128,300	77.9
	平成21年	99,388	28,402	127,790	77.8
	平成22年	98,912	28,312	127,224	77.7
	平成23年	98,300	28,100	126,400	77.8
	平成24年	97,800	28,200	126,000	77.6
	平成25年	97,500	28,000	125,500	77.7
	平成26年	97,300	27,700	125,000	77.8
	平成27年	97,100	27,400	124,500	78.0
	平成28年	96,900	27,200	124,100	78.1
	平成29年	96,800	27,100	123,900	78.1
	平成30年	96,400	26,800	123,200	78.2
	平成31・令和元年	96,100	26,400	122,500	78.4
令和2年	95,500	26,600	122,100	78.2	
令和3年	94,800	26,900	121,700	77.9	
令和4年	94,300	27,100	121,400	77.7	
令和5年	93,900	26,800	120,700	77.8	
令和6年	93,600	26,800	120,400	77.7	
令和7年	93,600	26,600	120,200	77.9	

(資料) 「耕地及び作付面積統計」

(2)市町別耕地面積の状況（令和7年）

(単位:ha)

項目 市町村	耕地面積	田			畑
		計	本地	畦畔	耕地
大田原市	10,800	9,700	9,310	390	1,130
那須塩原市	9,490	6,260	5,930	330	3,230
那須町	5,430	3,430	3,240	190	2,000
那須地方計	25,720	19,390	18,480	910	6,360
栃木県計	120,200	93,500	90,500	3,000	26,600
那須/県	21.4%	20.7%	20.4%	30.3%	23.9%

(資料)「耕地及び作付面積統計」

※数値は四捨五入しており、田面積の値と畑面積の値の合計が、耕地面積の値と一致しないことがある。

(3)市町別農業振興地域(農振農用地)の現況地目別面積（令和6年）

(単位:ha)

項目 市町村	地目別面積					混牧林地	農業用 施設用地
	田	畑	樹園地	採草放牧地	計		
大田原市	8,824.6	600.1	136.8	73.6	9,635.1	0.0	65.3
那須塩原市	5,623.7	2,695.2	26.7	86.0	8,431.6	0.0	120.3
那須町	2,846.3	1,217.4	0.0	299.9	4,363.6	15.5	43.2
那須地方計	17,294.6	4,512.7	163.5	459.5	22,430.3	15.5	228.8
栃木県計	81,074.4	18,045.2	1,502.7	1,740.6	102,362.9	15.5	663.3
那須/県	21.3%	25.0%	10.9%	26.4%	21.9%	100.0%	34.5%

※端数処理の関係で、計が一致しない場合あり。

資料「令和6年確保すべき農用地等の面積の目標の達成状況調査」

(4)市町別農用地利用集積及び利用権設定の状況

		平成30年 3月末現在	平成31年 3月末現在	令和2年 3月末現在	令和3年 3月末現在	令和4年 3月末現在	令和5年 3月末現在	令和6年 3月末現在	令和7年 3月末現在
大田原市	農振農用地面積(ha)	9,642	9,640	9,636	9,634	-	-	-	-
	耕地面積(ha)	11,100	11,000	11,000	11,000	10,900	10,900	10,900	10,800
	農業者数 [※] (人)	1,146	1,146	1,163	1,121	1,114	1,105	1,117	1,091
	農地利用集積面積(ha)	7,497	7,746	7,693	7,061	6,854	6,593	6,628	6,679
	うち水田	7035	7,265	7,178	6,584	6,364	6,164	6,192	-
	農地利用集積率(%)	68	70	70	64	63	60	61	62
	利用権設定面積(ha)	2,276	2,353	2,376	2,542	2,219	2,374	1,813	1,813
利用権設定率(%)	23.6	24.4	24.7	26.4	-	-	16.0	16.0	
那須塩原市	農振農用地面積(ha)	8,455	8,433	8,427	8,427	-	-	-	-
	耕地面積(ha)	9,640	9,610	9,560	9,540	9,530	9,530	9,500	9,490
	農業者数 [※] (人)	720	719	721	724	733	742	727	737
	農地利用集積面積(ha)	5,681	6,127	5,723	5,570	5,595	5,758	6,164	6,182
	うち水田	3,106	3,439	4,107	3,920	3,940	4,073	4,474	-
	農地利用集積率(%)	59	64	60	58	59	60	65	65
	利用権設定面積(ha)	1,841	1,912	2,460	-	2,038	1,722	2,125	2,125
利用権設定率(%)	21.8	22.7	29.2	0.0	-	-	22.4	22.4	
那須町	農振農用地面積(ha)	4,383	4,375	4,375	4,381	-	-	-	-
	耕地面積(ha)	5,600	5,560	5,520	5,500	5,480	5,490	5,450	5,450
	農業者数 [※] (人)	354	364	347	344	312	385	385	395
	農地利用集積面積(ha)	2,160	2,202	2,177	2,196	2,121	2,422	2,436	2,459
	うち水田	1,387	1,423	1,395	1,402	1,357	1,552	1,556	-
	農地利用集積率(%)	39	40	39	40	39	44	45	45
	利用権設定面積(ha)	533	581	597	607	594	457	643	643
利用権設定率(%)	12.2	13.3	13.6	13.9	-	-	10.3	10.3	
那須管内計	農振農用地面積(ha)	22,480	22,448	22,438	22,442	-	-	-	-
	耕地面積(ha)	26,340	26,170	26,080	26,040	25,910	25,920	25,850	25,740
	農業者数 [※] (人)	2,220	2,229	2,231	2,189	2,159	2,232	2,229	2,223
	農地利用集積面積(ha)	15,338	16,075	15,593	14,827	14,570	14,773	15,228	15,320
	うち水田	11,528	12,127	12,680	11,906	11,661	11,789	12,222	-
	農地利用集積率(%)	58	61	60	57	56	57	59	60
	利用権設定面積(ha)	4,650	4,846	5,432	3,149	4,851	4,553	4,581	4,581
利用権設定率(%)	20.7	21.6	24.2	14.0	-	-	-	-	
栃木県計	農振農用地面積(ha)	102,862	102,471	102,433	102,486	-	-	-	-
	耕地面積(ha)	123,910	123,120	122,600	122,000	121,700	121,400	120,700	120,400
	農業者数 [※] (人)	9,566	9,721	9,809	9,813	9,971	10,220	10,342	10,480
	農地利用集積面積(ha)	62,857	64,434	64,669	63,515	64,123	64,506	65,755	68,350
	うち水田	53,103	52,618	55,929	53,868	54,236	54,675	55,697	-
	農地利用集積率(%)	51	52	53	52	53	53	54	57
	利用権設定面積(ha)	31,277	32,289	34,920	33,767	36,390	36,487	36,169	36,169
利用権設定率(%)	30.4	31.5	34.1	32.9	-	-	-	-	

※農業者数：認定農業者、基本構想水準到達者及び集落営農組織等の合計

(資料) 担い手の農地利用集積状況調査

(5) 農地移転・転用の動き

年次別3条(貸借・売買等)許可件数及び面積

(単位:件・ha)

	28年	29年	30年	R元	2年	3年	4年	5年	6年
件数	189	173	185	159	187	166	158	157	177
面積	142.6	127.9	152.5	132.0	161.5	142.3	112.2	91.9	79.0

年次別4・5条(転用)許可件数

(単位:件)

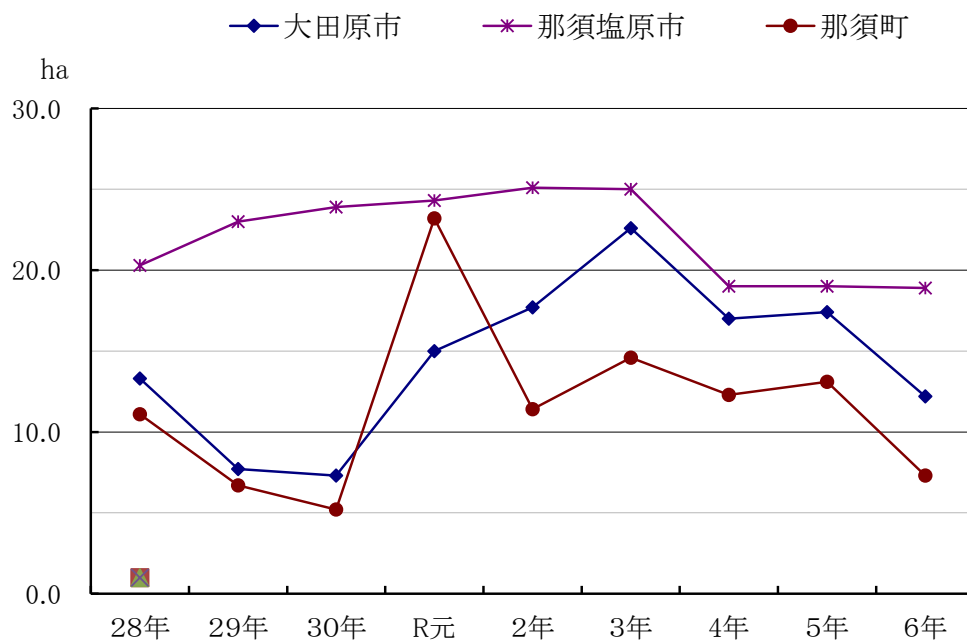
	28年	29年	30年	R元	2年	3年	4年	5年	6年
4条	43	51	25	31	28	30	29	32	33
5条	241	210	198	219	213	215	199	194	160
計	284	261	223	250	241	245	228	226	193

市町別年次別転用面積

(単位:ha)

	28年	29年	30年	R元	2年	3年	4年	5年	6年
大田原市	13.3	7.7	7.3	15.0	17.7	22.6	17.0	17.4	12.2
那須塩原市	20.3	23.0	23.9	24.3	25.1	25.0	19.0	19.0	18.9
那須町	11.1	6.7	5.2	23.2	11.4	14.6	12.3	13.1	7.3
那須地方計	44.7	37.4	36.4	62.5	54.2	62.2	48.3	49.5	38.4

(資料)「農地の権利移動・借賃等調査」



市町村別年次別転用面積の推移

4 市町別5年以内の後継者の確保状況

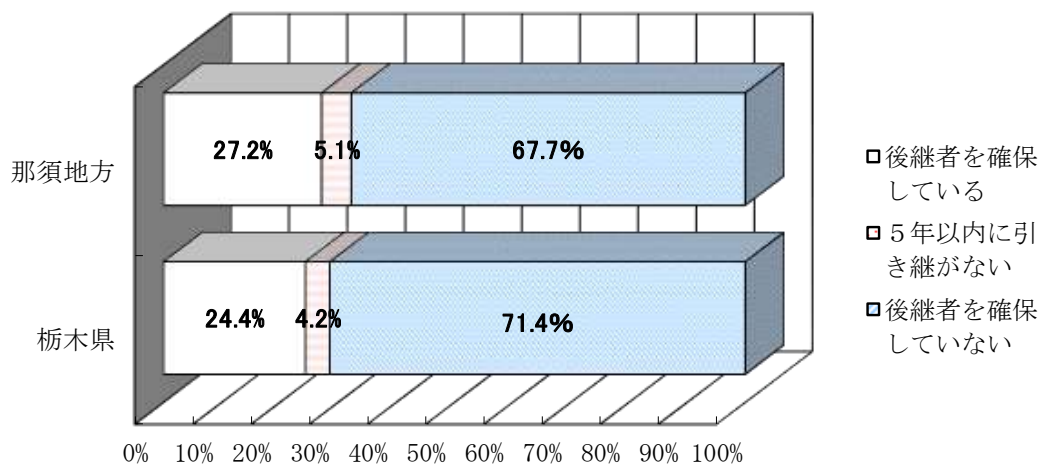
令和2年の那須地方の5年以内の後継者の確保状況別経営体割合は、後継者を確保している経営体が27.2%、5年以内に引き継ぎがない経営体が5.1%、後継者を確保していない経営体が67.7%となっている。

5年以内の後継者の確保状況（令和2年）

（単位：経営体）

	5年以内に農業を引き継ぐ後継者を確保している			5年以内に農業経営を引き継がない	確保していない	
	計	親族	親族以外の経営内部の人材			経営外部の人材
大田原市	3,042	693	5	6	130	2,208
那須塩原市	1,996	604	8	5	114	1,265
那須町	1,189	362	8	3	71	745
那須地方計	6,227	1,659	21	14	315	4,218
	100%	26.6%	0.3%	0.2%	5.1%	67.7%
栃木県計	32,726	7,743	147	91	1,383	23,362
那須／県	19%	21%	14%	15%	23%	18%

（出典）農林業センサス



5年以内の後継者の確保状況別経営体数割合

5 ほ場整備実施状況(令和7年5月現在)

(単位：h a)

市町村名	要整備面積	整備済面積	整備率
大田原市	8,824.4	5,371.2	60.9%
那須塩原市	5,638.1	3,861.0	68.5%
那須町	2,852.2	991.0	34.7%
那須地方計	17,314.7	10,223.2	59.0%
栃木県計	81,057.7	56,384.6	69.6%
那須/県	21.4%	18.1%	-

※整備済面積：区画30a以上 (資料) 「農地整備課」

6 農業協同組合等の概要

(1) 農業協同組合

令和7年5月28日現在

組 合 名	組合員数(人)	うち正組合員数(人)	役員数(人)			職員数(人)
			計	理事	監事	
那須野農業協同組合	20,910	12,120	33	27	6	445

(2) 酪農業協同組合

令和7年4月18日現在

組 合 名	組合員数(人)	うち正組合員数(人)	役員数(人)			職員数(人)
			計	理事	監事	
那須箒根酪農業協同組合	30	27	7	5	2	7

(3) 開拓農業協同組合

令和7年3月23日現在

組 合 名	組合員数(人)	うち正組合員数(人)	役員数(人)			職員数(人)
			計	理事	監事	
千振開拓農業協同組合	64	62	9	7	2	3
栃木県開拓農業協同組合	754	291	8	6	2	20

7 とちぎの地産地消推進店(那須地域)

「とちぎの地産地消推進店」とは、年間を通じて県産農産物を利用した料理を提供する店舗又は県産農産物コーナー等を設置する小売店等で、「地産地消」の推進に取り組んでいる店舗です。

(1)料理店

令和8年3月1日現在

店舗名	〒	所在地	Tel
中華料理 華園	324-0242	大田原市大豆田210-1	0287-54-0578
まつ坂	324-0047	大田原市美原1-6-6	0287-23-6275
道の駅那須与一の郷 農村レストラン扇亭	324-0012	大田原市南金丸1584-6	0287-23-8641
黒羽ふるさと物産センターお食事処	324-0241	大田原市黒羽向町1422-1	0287-54-3152
とちぎ和牛 渡邊ファーム	329-2763	那須塩原市井口1168-2	0287-37-5066
人・季・想をつむぐ宿 彩つむぎ	329-2921	那須塩原市塩原265	0287-31-1150
アグリパル塩原 農村レストラン 関の里	329-2801	那須塩原市関谷442	0287-35-2266
ハンターマウンテン塩原 ビッグアップル	329-2922	那須塩原市湯本塩原字前黒	0287-32-4580
オールヴォワール レストラン&カフェ	329-3156	那須塩原市方京1-1-10 那須ミッドシティホテル1F	0287-67-3332
Chus(チャウス)	325-0045	那須塩原市高砂町6-3	0287-74-5156
UNOYA KITCHEN ウノヤキッチン	329-2726	那須塩原市扇町1-3サンマートプラザビル1F	0287-53-7188
御弁当のあきない	329-3436	那須町伊王野1644	0287-75-6062
炭火割烹 与一	325-0302	那須町高久丙1338	0287-76-3486
那須高原友愛の森 なすとらん	325-0303	那須町高久乙593-8	0287-78-1219
滝のある釣り堀 那須高原 清流の里	325-0303	那須町高久乙2714-2	0287-78-0337
ゲストイン 悠香里(ユウカリ)	325-0303	那須町高久乙3374-644	0287-74-3978
DOG SPA RESORT アルト ピアーノ	325-0302	那須町高久丙4373-20	0287-74-3870
dog's pension しゃのんち	329-3223	那須町大島756-86	0287-73-5636
メリメランジュ	325-0302	那須町高久丙1 ホテルエピナール那須 メインタワー13F	0287-78-6000
エルバージュ	325-0302	那須町高久丙1 ホテルエピナール那須 メインタワー1F	0287-78-6000
和匠ダイニング菜す乃	325-0302	那須町高久丙1 ホテルエピナール那須 アネックスタワー2F	0287-78-6000
コモレビテーブル	325-0302	那須町高久丙1 ホテルエピナール那須 メインタワー1F	0287-78-6000
ステーキハウス寿楽本店	325-0301	那須町湯本379	0287-76-3844
アウトバースト&ポンタ	325-0303	那須町高久乙3450-8	0287-78-3381
ホテル森の風那須	325-0302	那須町高久丙1179-2	0287-73-5572
ホテル四季の館那須	325-0302	那須町高久丙1179-2	0287-73-5576

(2)小売店・菓子店・直売所

店舗名	〒	所在地	TEL
ベイシア大田原店	324-0057	大田原市住吉町1-14-12	0287-23-5100
ヨークベニマル大田原住吉店	324-0057	大田原市住吉町2-6-5	0287-20-5800
ヨークベニマル大田原店	324-0047	大田原市美原1-3168-1	0287-20-1494
(株)オータニ 西那須野店	329-2751	那須塩原市東三島5-89-1	0287-39-1511
フードオアシス オータニ 永田店	329-2712	那須塩原市下永田5-1342-3	0287-39-7688
(株)ベイシア那須塩原店	329-2713	那須塩原市緑2-1155-11	0287-21-2200
ヨークベニマル西那須野店	329-2735	那須塩原市太夫塚6-232-6	0287-37-9421
ヨークベニマル那須塩原店	325-0013	那須塩原市鍋掛1087-27	0287-60-7350
ヨークベニマル黒磯店	325-0057	那須塩原市黒磯幸町2-14	0287-62-2411
ヨークベニマル上厚崎店	325-0026	那須塩原市上厚崎字小林373-1	0287-60-7570
ヨークベニマル西富山店	329-2762	那須塩原市西富山46-1	0287-39-3111
大田原チーズステーション	324-0062	大田原市中田原1901	0287-53-7941
(株)パン・アキモト 石窯パン工房きらむぎ	329-3147	那須塩原市東小屋字砂場368	0287-74-2900
アグリパル塩原 あぐりのかふえ	329-2801	那須塩原市関谷442	0287-35-4401
農産物直売所 四季彩畑	329-2801	那須塩原市関谷442	0287-35-3789
なすのマルシェ	325-0025	那須塩原市下厚崎200-4-3	0287-74-3715
道の駅 那須与一の郷 農産物直売館	324-0012	大田原市南金丸1584-6	0287-23-8641
那須高原こたろうファーム	325-0303	那須町高久乙3379-59	0287-64-3994

8 農業の6次産業化総合化事業計画認定一覧

農業の6次産業化とは、農業者が農産物を生産するだけでなく、それを加工し販売するところまで視野に入れた事業展開をすることにより、農業者が多くの利益に関わる仕組みを作ろうという考え方です。六次産業化法に基づく計画認定を受けた農業者の取組を紹介します。

認定時期	認定事業者	所在地	認定計画の概要	主な販売店
H23.5.31	有限会社那須高原今牧場	那須町高久甲5898	チーズ工房を新設し、自家産牛及び山羊の生乳を使ったフレッシュチーズ、セミハードチーズの製造	自社チーズ工房、インターネット通信販売、道の駅(那須高原友愛の森、東山道伊王野)
H24.5.31	農業生産法人株式会社前田牧場	大田原市奥沢111	既存直営店「ファーマーズカフェ」の改築、焼き肉やローストビーフ、熟成肉、餅加工品、ドッグフードの製造	直営店「ファーマーズカフェ」・「ミートショップ」、インターネット通信販売
H24.5.31	ふかさわ梨園	大田原市湯津上1336	「ふかさわ梨園」商品のブランド化を図り、自家産梨を使った「万能たれ」の製造	ふかさわ梨園直売店、そすいの郷直売センター、県内スーパー
H24.10.31	小白井農園	大田原市川田134	高精度トマトを活かした「小白井農園」をブランド化を図り、自家産トマトの小玉果等を使用した「ビューレ」の製造	自宅直売所、地元スーパー、レストランでの提供
H25.5.31	発田 亮	大田原市南金丸1499-7	自ら生産したブルーベリーを活用したブルーベリージャムや加工用冷凍ブルーベリーの製造販売及びブルーベリーの摘み取り販売を行い所得の向上を図る。	道の駅与一の郷、ゴルフ場、自宅直売所、JA出荷
H26.5.30	有限会社ハーレイ牧場	那須塩原市百村489-3	自社生産のこだわりの生乳を活用し、「スティックチーズ」の製造・販売により、収益の向上を図る。	JR那須塩原駅構内売店、ハーレー牧場直売所、道の駅(与一の郷、明治の森)、高速道路那須高原SA
H26.10.31	有限会社那須岡田牧場	那須町豊原乙653-6	自社の牛ふんを活用した「牛のさらさら堆肥」の製造に取り組み、専業農家への直接販売や地元の農業資材商社と提携し、一般消費者向けに小売り販売を行い、経営の改善と雇用の拡大を図り、付加価値の高い農業経営を目指す。	カクヤス
H28.6.30	浅野鶏卵 浅野晃子	那須町高久甲6423-1	希少な純国産鶏「もみじ」の有精卵を生かした「那須の子宝たまごの贅沢プリン」の開発・販売事業	TOKOTOKOおおたわら
H29.3.31	青葉屋 平山輝貴	那須町高久甲1994	那須高原で育てた青じそを使った新商品開発・販売事業	道の駅那須高原友愛の森、ろまんちっく村
H30.3.30	人見浩農園 人見浩	那須町高久乙1398	自家産米ゆうだい21を用いた玄米趣味噌の開発・販売事業	インターネット通販、マルシェ
H31.2.28	有限会社ロイヤルベリーズファーム	那須町高久丙4515-5	那須町産ぶどうと耕作放棄地から再生した桑(マルベリー)を活用した新商品開発と自社ワイナリー事業	自社ワイナリー、関連会社
R1.9.30	森林ノ牧場株式会社	那須町豊原乙627-114	放牧で育てたジャージー牛の生乳を使用した発酵バター製造販売事業	自社カフェ、インターネット販売、卸販売

9 那須地方の主要園芸作物(令和7年度)

	品目名	作付面積 (ha)	ブランド化状況
1	ねぎ	112.5	JAなすのブランド園芸作物「那須の白美人ねぎ」
2	なし	70.1	JAなすのブランド園芸作物「なすの梨」
3	うど	48.2	JAなすのブランド園芸作物「那須の春香うど」
4	アスパラガス	55.4	JAなすのブランド園芸作物「那須の高原アスパラ」
5	にら	23.5	JAなすのブランド園芸作物「那須のにら」
6	なす	21.0	JAなすのブランド園芸作物「那須の美なす」
7	いちご	19.2	
8	ブロッコリー	9.2	
9	トマト	11.3	JAなすのブランド園芸作物「那須のトマト」
10	菊	7.1	JAなすのブランド園芸作物「那須の菊」

※那須地方で作付されている園芸作物で作付面積が多い順（JAなすの実績）

※JAなすのブランド園芸作物は、他に春菊「那須の春菊」を含めビューティフルブランド野菜9品目として推進

10 那須地方の直売所等

(1) 農産物直売所

令和8年4月

市町名	直売所名	店舗所在地	店舗電話	運営団体名	定休日・開店期間	自慢の品名
大田原市	道の駅那須与一の郷農産物直売館	南金丸1584-6	0287-23-8641	株式会社八百屋蔵人	無休 (12～3月第2週は月曜定)	野菜、米、花、みそ、まんじゅう
	羽田沼農産物直売所	羽田785	—	羽田沼農産物直売所	月～金定休	米、野菜、花
	あさか直売所	浅香2-3389-53	0287-22-4621	(有)21那須北園芸	無休	野菜、漬物、みそ、米、花、果物
	直売所くろつぶす侍塚	湯津上154-1	0287-98-3030	直売所くろつぶす侍塚利用組合	水曜定休	野菜、漬物、まんじゅう、みそ
	大田原市水遊園直売所(水遊マート)	佐良土2686 なかかわ水遊園内	0287-98-6003	株式会社 R-technology	月・第4木定休 水遊園休園日は休業	野菜、果物、米、みそ
	鉢木農産物直売所	堀之内271	—	鉢木農産物直売所	月曜定休(7月～8月無休)	野菜、果物、米、みそ、漬物
	大田原市ポッポ農園直売所	片田1200先	0287-54-4368	NPO法人 キャリアコーチ	火曜定休 (8月・10月無休)	野菜、さつまいも
	大田原市黒羽温泉センター内展示直売所	堀之内674	0287-59-0505 農科レストラン「ラージュセル」	旬魚鶴	月曜・第4火曜定休	野菜、みそ、漬物
	きらり佐久山農産物直売所	佐久山2554-1	0287-28-1290	株式会社きらり佐久山	無休	野菜、果物、花卉、まんじゅう、漬物
	黒羽ふるさと物産センター直売所	黒羽向町1422-1	0287-54-3152	黒羽ふるさと物産センター組合	無休	野菜、みそ、まんじゅう、アイスクリーム、漬物
	地産野菜直売所愛菜園	加治屋83	0287-23-9090 080-8842-4611	地産野菜直売所愛菜園	無休	野菜、果物、米、漬物、みそ、花
	TOKO-TOKOマルシェ	中央1-3-15 トコトコ大田原1階	0287-47-4750	(株)大田原まちづくりカンパニー	無休	野菜、米、弁当、惣菜
	那須塩原市	那須の駅直売所	鍋掛1475-357	0287-62-0034	那須の駅直売所	無休
鳥野目産直所		鳥野目391-1 鳥野目河川公園オートキャンプ場内	—	鳥野目産直会	月～金定休 (11月下旬～4月上旬休業)	野菜、米
那珂川産直所		黒磯362	0287-64-2581	那珂川産直会	月～金定休(祝日は営業) ※冬季休業有	野菜
なすのマルシェ		下厚崎200-4-3	0287-74-3715	なすのマルシェ	火曜定休	野菜、みそ、まんじゅう
道の駅明治の森・黒磯マーケット		青木27	0287-63-0399	(株)明治の森市場	第3火曜定休(3～11月) 毎週火曜定休(12月～2月)	野菜、乳製品(チーズ、ソフトクリーム等)
高林産直会		木綿畑452-1	0287-68-1092	高林産直会	水・木曜定休(1～3月) 木曜定休(4～12月)	野菜、米、りんご、きのこ
ロコスタイルマート		塩野崎184-7 那須ガーデンアウトレット内	0287-74-2267	ロコの会	無休(年1回休業日有)	米・野菜・花卉・漬物
ふるさとにしなす産直会そすいの郷直売センター		三区町657-26	0287-37-7768	ふるさとにしなす産直会	無休	野菜、米、漬物
東遅沢ふれあい即売所		東遅沢65	—	東遅沢むらおこし推進協議会	月～土曜定休	野菜
アグリバル塩原農産物直売四季彩畑		関谷442	0287-35-3789	(株)アグリバル塩原	無休 (6・12月臨時休業有)	高原大根、ほうれんそう、キウイ、野菜、ウコン
たかはら森林組合森林の駅直売所		関谷1425-60	0287-34-1037	森林の駅直売所運営振興会	無休	野菜、果物、きのこ、農産加工品、林産物
塩原もの語り館農産物直売所		塩原747 塩原もの語り館	0287-32-4000	塩原温泉観光協会	無休 (12月～4月中旬休業)	野菜
みどりの森直売所		東原4-12	0287-63-4713	大森 進	月・水・金・土定休 (12月中旬～4月中旬休)	野菜、漬物、菓子、総菜
おやさい市場のんのん屋		島方534-3	090-7068-0917	株式会社Neit	水・第一木曜日定休	米、野菜、果物
那 須 町		遊行庵農産物直売所	芦野2584-3	0287-74-1061	遊行庵農産物直売所	火曜定休(3月中旬～12月) (1月～3月中頃平日定休)
	那須高原友愛の森那須ロイヤル高原マルシェ	高久乙593-8	0287-78-7166	那須未来株式会社	無休 (12月～2月水曜定休)	高原野菜、切り花米、みそ、まんじゅう、餅
	道の駅東山道伊王野ふるさと物産センター	伊王野459	0287-75-0577	株式会社道の駅東山道伊王野	無休	野菜、米、工芸品、まんじゅう、みそ、切り花、そば粉
	黒田原駅前みんなの店	寺子丙4-56	0287-74-3631	那須未来株式会社	日曜定休	野菜、惣菜、弁当

※年末年始・冬季・臨時休業の場合あり。

那須農業振興事務所調べ

(2)農村レストラン

市町名	農村レストラン名	店舗所在地	店舗電話	運営団体名	定休日・開店期間	自慢の品名
大田原市	道の駅那須与一の郷 農村レストラン扇亭	南金丸1584-6	0287-23-8641	株式会社八百屋蔵人	無休 (12~3月第2週は月曜定休)	天盛りそば
	味処ゆづかみ	佐良土2686 なかがわ水遊園内	0287-98-3055	(公財)栃木県農業振興公社(栃木県なかがわ水遊園)	無休 (12~3月第2週は月曜定休)	手打ちそば、うどん
	農村レストラン ラージヒル	堀之内674	0287-59-0505	旬魚鶴	月曜・第4火曜定休	米、野菜、花
	大田原市黒羽ふるさと 物産センター お食事処	黒羽向町1422-1	0287-54-3152	黒羽ふるさと物産センター組合	無休	そば、うどん、手作りコロッケ
	立岩屋	佐久山2554-1	090-3220-1860	立岩屋	火曜定休	ラーメン、からあげ 他
那須塩原市	農村レストラン ファーム高林坊	木綿畑451-1	0287-68-7775	(株)ファーム高林坊	木曜定休 (GW、祝日、年末、お盆は臨時営業)	高林そば、うどん
	道の駅明治の森・黒磯 明治の森ダイニング	青木27	0287-63-0399	(株)明治の森市場	第3火曜定休(3~11月) 毎週火曜定休(12~2月)	経産牛を使用したハンバーグ、カレーライス
	農村レストラン 「そすい庵」	三区町656-2	0287-37-8201	ふるさとにしません産直会	無休	手打ちそば、うどん、野菜のてんぷら
	アグリバル塩原 農村レストラン「関の里」	関谷442 アグリバル塩原内	0287-35-2266	(株)アグリバル塩原	無休 (6・12月臨時休業有)	関の里セット、きのこめし、手打ちそば・うどん
	アグリバル塩原 あぐりのかふえ	関谷442 アグリバル塩原内	0287-35-3779	(株)アグリバル塩原	無休 (6・12月臨時休業有)	ジェラート、菓子
	関谷もみじの郷	関谷448-1	080-3699-4016	関谷もみじの郷運営協議会	火曜定休	そば、天ぷら
那須町	あしの食堂	芦野2584-3	0287-74-1061	遊行庵農産物直売所	火曜定休	定食、ラーメン
	道の駅東山道伊王野 お食事処「水車館」	伊王野459	0287-75-0654	株式会社道の駅東山道伊王野	金曜定休	伊王野水車そば、天ざるそば
	道の駅東山道伊王野 和食処「あんず館」	伊王野459	0287-75-3030	株式会社道の駅東山道伊王野	火曜定休	後藤牛ローストビーフ丼、プレミアムヤシオマス丼
	那須高原友愛の森 那須の食のレストランなすとらん	高久乙593-8	0287-78-1219	那須未来株式会社	火曜定休(12~3月)	なすばん、和牛ステーキ丼・季節のカレーセット

那須農業振興事務所調べ

(3)農産物加工所

市町名	加工所名	所在地	電話番号	利用団体名	加工品目
大田原市	倉骨野菜直売所のぞみ 会農産物加工施設	倉骨246	—	倉骨野菜直売所のぞみ会	味噌、米花、まんじゅう
	ふれあいの丘農産物加工施設	福原1411-22	—	ふれあい漬物加工所	漬物
	道の駅那須与一の郷 加工・物産館	南金丸1584-6	0287-23-8641	株式会社八百屋蔵人	ジェラート
	直売所くろっぶす侍塚	湯津上154-1	0287-98-3030	直売所くろっぶす侍塚利用組合	まんじゅう、もち、赤飯、漬物
	ひまわり農産加工組合	片府田1083-3	0287-98-3744	ひまわり農産加工組合	みそ、三五八、米花
	黒羽ふるさと物産センター くろばね農産加工所	大輪266-3	0287-59-0848	黒羽ふるさと物産センター組合	味噌、まんじゅう、アイスクリーム、漬物、餅等
那須塩原市	高林坊農産加工施設	木綿畑451-1	0287-68-7775	(株)ファーム高林坊	自家製粉(そば)、うどん、そばの麺加工
	そすいの郷農産物加工所	三区町656-2	0287-37-7768	ふるさとにしません産直会	弁当、菓子、麺類、味噌
	アグリバル塩原 夢工房もみじ村	関谷442	0287-35-3687	(株)アグリバル塩原	まんじゅう、焼き菓子、だんご
那須町	那須高原友愛の森那須 ロイヤル高原マルシェ (加工部門)	高久乙593-8	0287-78-7166	那須未来株式会社	すいとん、カレー、うどん、コロッケ、焼きそば、シュウマイ、ソフトクリーム

※年末年始・冬季・臨時休業の場合あり。

那須農業振興事務所調べ

11 カントリーエレベーター・ライスセンター設置状況

(1)カントリーエレベーター(農協)設置状況

施設名	所在地	事業主体名 (旧農協名)	設置年度 (増設年度)	施設概要					処理能力				事業名	
				DS	貯蔵能力	貯蔵施設形式	ばら出荷施設	指定倉庫	施工業者名	面積(ha)		処理量(t)		
									米	麦	乾籾	麦		
大田原CE	大田原市 浅香	那須野農協 (大田原市農協)	S44 (H4)		2,000	コンクリートサイロ	○	○	佐竹製作所	240	360	1,512	1,301	米生産総合改善パイロット事業 (先進的農業生産総合推進対策事業)
大田原金丸CE	大田原市 北金丸	那須野農協 (大田原市農協)	S45 (S54,56)		2,000	コンクリートサイロ	○	○	佐竹製作所	195	122	1,171	440	米生産総合改善パイロット事業 (先進的農業生産総合推進対策事業)
塩那CE	那須塩原市 四区町	那須野農協 (塩那農協)	H5 H4繰越	50t×14基	3,000	二重鉄板製サイロ	○	○	ヤンマー農機㈱	500	150	2,370	514	先進的農業生産総合推進対策事業

(2)ライスセンター等(農協)設置状況

施設名	所在地	事業主体名 (旧農協名)	設置年度 (増設年度)	施設概要			処理能力				事業名	
				乾燥機形式	DS	ばら出荷施設	面積(ha)		処理量(t)			
							米	麦	乾籾	麦		
川西RC	大田原市 蜂巢	那須野農協 (那須川西農協)	S63 (H10)	循環式 20t×3基	50t×8基	○	145	155	870	580	大豆 556	水田農業確立対策推進事業
鉢木種子センター	大田原市 前田	那須野農協 (黒羽農協)	H2	循環式 3.3t×12基		○	250	70	1,000	210		主要農作物種子生産改善事業 (H17年に交換のため無し)
			H3	循環式 3.3t×4基		○	30	8	178	40		県単水田農業確立対策特別事業
			H7	循環式 4.3t×10基		○	20		70			農業生産体制強化総合推進対策事業 北滝RC 6基 寺宿RC 4基
			H17	循環式 4.0t×10基 スタアデポ 100t×2基		○	250	70	1,000	210		強い農業づくり(競争力強化総合対策事業)
那須RC	那須町 富岡	那須野農協 (那須町農協)	H4 (H21)	常温定湿型 DAG式1基 循環式 20t×2基	50t×36基	○	300		1,723	300		先進的農業生産総合推進対策事業 強い農業づくり(産地競争力の強化)
調製品質管理センター(粳摺調製施設)	大田原市 富池	那須野農協	H25			○			8,031	3,800		東日本大震災農業生産対策事業
富池乾燥施設	大田原市 富池	那須野農協	H25	累積混合 300t×6基 循環式 20t×3基	50t×5基	○	262	89	1,800	300		東日本大震災農業生産対策事業
湯津上乾燥施設	大田原市 湯津上	那須野農協	H25	累積混合 300t×3基、150t×1基		○	130		900			東日本大震災農業生産対策事業
黒磯RC	那須塩原市 黒磯	那須野農協	H30	累積混合 250t×6基 循環式 25t×2基		○		飼料用米 210 主食用米 134		飼料用米 1,500 主食用米 900		強い農業づくり(産地競争力の強化)

(3)ライスセンター等設置状況

施設名	所在地	事業主体名 (旧農協名)	設置年度 (増設年度)	施設概要			処理能力				事業名	
				乾燥機形式	DS	ばら出荷施設	面積(ha)		処理量(t)			
							米	麦	乾籾	麦		
吉際ライスセンター	大田原市 富池	吉際生産組合	S51 (S63)	循環式 3.2t×6基		○	35	12	171	44	(137)	高能率集団営農推進対策事業
荒井町島ライスセンター	大田原市 中田原	荒井町島 営農集団組合	S52 (S58)	循環式 2.6t×3基 (2.4t×2基)		×	30	10	200	30	(160)	高能率集団営農改善事業
乾燥調製施設	大田原市 蛭田	富士山荒井 水稲機械組合	S54	循環式 3.8t×2基		×	45		218		(174)	第二次農業構造改善事業
乾燥調製施設	大田原市 蛭田	上蛭田水稲機械組合	S54	循環式 3.8t×1基		×	26		125		(100)	第二次農業構造改善事業

施設名	所在地	事業主体名 (旧農協名)	設置年度 (増設年度)	施設概要			処理能力				事業名
				乾燥機形式	DS	ばら出荷施設	面積(ha)		処理量(t)		
							米	麦	乾粃	麦	
長倉営農集団乾燥施設	大田原市北金丸	長倉営農集団	S57	循環式 3.7t×4基		×	12	18	50	15	新農業構造改善事業
一区乾燥調製施設	那須塩原市西那須野	一区麦作生産集団	S58 (H3)	循環式 4t×4基 (4t×1基)	20t×1基	○	55	25	320	100	米麦低コスト
南区堆厩肥利用組合乾燥施設	大田原市親園	南区堆厩肥利用組合	S58 (H1)	循環式 4t×5基		○	50	12	270	56 (216)	主要穀物等生産総合振興対策事業
稲荷原近代化生産組合乾燥調製施設	大田原市奥沢	稲荷原近代化生産組合	S59	循環式 4t×6基		○	28	27	148	122 (118)	水田作総合改善モデル地区設置運営事業
羽田近代化営農組合共同乾燥調製施設	大田原市羽田	羽田近代化営農組合	S60	循環式 4t×4基		○	40	20	200	91	水田利用再編対策推進事業
沼坪近代化営農集団共同乾燥調製施設	大田原市花園	沼坪営農集団	S60	流環式 4t×7基		○	65	40	332	163 (256)	米麦等大規模乾燥施設整備事業
共同乾燥調製施設	大田原市湯津上	石田営農集団	S61	循環式 4t×3基		○	30	5	147	520 (118)	水田作総合改善モデル地区設置運営事業
穀類共同乾燥調製施設	大田原市小滝	小滝営農集団	S62	循環式 5t×3基		○	43	27	208	114 (166)	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	大田原市新宿	新宿ライスセンター	S63	循環式 4t×4基		○	38	16	246	74 (197)	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	那須塩原市大貫	上大貫生産集団	S63	流環式 4t×5基		○	38	20	257	105	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	大田原市練貴	練貴営農組合	H1	循環式 4t×6基		○	35	23	189	149 (151)	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	大田原市大神	大神営農集団	H1	循環式 5t×3基		○	30	25	201	109 (160)	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	那須塩原市北和田	北和田営農組合	H1	循環式 5t×4基		○	35	16	268	70 (214)	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	大田原市実取	実取近代化営農集団	H2	循環式 4t×7基		○	32	24	192	101 (154)	水田農業確立対策推進事業
共同乾燥調製施設	那須塩原市野間	野間麦作生産集団	H2	循環式 5t×3基		○	30	15	162	61 (130)	高生産性地域営農機関施設整備事業
中野内ライスセンター	大田原市中野内	那須野農協(黒羽町農協)	H3	循環式 3.3t×4基		○	30	8	180	25	県単米麦低コスト生産流通モデル事業
共同乾燥調製施設	那須町黒田原	成沢営農集団	H7				30		158		地域農業基盤確立農業構造改善事業
共同乾燥調製施設	大田原市須佐木	須賀川地区営農組合	H14				30		144		新山村振興等農林漁業特別対策事業
共同乾燥調製施設	大田原市上奥沢	上奥沢営農組合	H15	循環式 5t×6基		○	60	20	390	85	経営構造対策事業
共同乾燥調製施設	大田原市上薄葉	農事組合法人グリーンリーフのぎき	H19	循環式 5t×4基		○	30	5	207	18	経営構造対策事業

12 令和7年度経営所得安定対策等交付金の対象作物の地域別作付面積
(R8. 3. 12現在)

単位:件、㎡

		大田原市	那須塩原市	那須町	管内計		
営農計画書の提出件数(交付申請者数)		1,312	826	440	2,578		
畑作物の直接支払交付金の生産面積	小麦	8,340	60,950	0	69,290		
	二条大麦	6,734,060	1,986,437	188,944	8,909,441		
	六条大麦	33,380	261,420	0	294,800		
	はだか麦	1,420	0	0	1,420		
	大豆	2,206,850	910,781	500	3,118,131		
	てん菜	0	0	0	0		
	でん粉原料用ばれいしょ	0	0	0	0		
	そば	1,397,330	674,060	386,990	2,458,380		
	なたね	7,330	0	0	7,330		
水田活用の直接支払交付金の作付面積	戦略作物助成	麦	5,092,190	1,672,181	134,967	6,899,338	
		大豆	154,320	195,250	500	350,070	
		飼料作物(除くWCS用稲)	3,562,800	8,111,619	3,378,835	15,053,254	
		うち子実用とうもろこし	0	0	0	0	
		うち青刈りとうもろこし	544,270	1,123,720	336,603	2,004,593	
		WCS用稲	4,831,580	2,933,646	1,238,225	9,003,451	
		米粉用米	0	11,560	0	11,560	
		飼料用米	2,939,270	1,187,807	116,524	4,243,601	
		うち生もみを直接利用する取組を除く	2,939,270	1,187,807	115,324	4,242,401	
		うち生もみを直接利用する取組	0	0	1,200	1,200	
	加工用米	2,358,291	672,930	2,700	3,033,921		
	産地交付金の追加配分等	そば(基幹作)	544,520	322,800	243,110	1,110,430	
		なたね(基幹作)	7,330	0	0	7,330	
		新市場開拓用米(複数年契約)	0	0	0	0	
		新市場開拓用米(基幹作)	147,815	2,800	35,040	185,655	
		地力増進作物(基幹作)	3,000	27,700	0	30,700	
	産地交付金におけるその他作物の助成	野菜	3,323,402	1,262,551	152,599	4,738,552	
		花き・花木	113,520	478,097	32,401	624,018	
		果樹	0	0	0	0	
		その他	19,610	0	10,500	30,110	
	【参考】主食用米等及び二毛作面積	二毛作	主食用米	60,314,005	41,052,718	17,949,453	119,316,176
			麦	2,295,310	386,310	0	2,681,620
			大豆	2,084,510	691,831	0	2,776,341
			飼料作物(除くWCS用稲)	3,713,440	6,369,311	1,074,145	11,156,896
			WCS用稲	0	0	0	0
			米粉用米	0	0	0	0
			飼料用米	10,630	0	0	10,630
加工用米			0	0	0	0	
新市場開拓用米			0	0	0	0	
そば			695,180	309,490	21,800	1,026,470	
なたね	0	0	0	0			
備蓄米		0	0	0	0		
米及び水田活用の直接支払交付金の交付対象農地		97,210,738	62,396,222	30,926,101	190,533,061		
うち加入者の面積		69,447,364	44,355,524	30,159,873	143,962,761		
主食用米の作付参考値	面積(ha)	5,086	3,650	1,887			
	作付参考値数量換算値(トン)	29,549	20,769	10,398			

13 令和7年度多面的機能支払交付金実施状況

		単位	大田原市	那須塩原市	那須町	計	
農振農用地面積(R7.12.31) ①		ha	9,846	8,565	4,476	22,887	
農 支 地 払 維 持	取組地区数	組織	52	39	15	106	
	交付金	千円	160,838	69,078	11,603	241,519	
	面積計 ②	ha	5,454	2,506	390	8,350	
	率 ②/①	%	55.4%	29.3%	8.7%	36.5%	
資 源 向 上 支 払	共 同 活 動	取組地区数	組織	42	30	7	79
		交付金	千円	78,259	33,135	3,939	115,333
		面積計 ③	ha	4,372	2,034	221	6,627
		率 ③/①	%	44.4%	23.7%	4.9%	29.0%
	長 寿 命 化	取組地区数	組織	0	0	2	2
		交付金	千円	0	0	607	607
		面積計 ④	ha	0	0	67	67
		率 ④/①	%	0.0%	0.0%	1.5%	0.3%
	計	交付金計	千円	239,097	102,213	16,149	357,459

14 令和7年度農業制度金融承認実績(令和7年12月末現在)

(単位:千円)

種 別	市町名 件数・金額	大田原市		那須塩原市		那須町		地方計		県計	地方/県	前年実績			
		件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額			件数	金 額	件数	金 額
農 業 近 代 化 資 金		52	389,340	47	400,910	12	84,270	111	874,520	2,098,910	41.7%	344	2,307,810		
就 農 支 援 資 金															
日 本 政 策 金 融 公 庫 資 金	農 業 改 良 資 金														
	農 業 経 営 基 盤 強 化 資 金											141	7,864,080		
	経 営 体 育 成 強 化 資 金											9	61,432		
	農 林 漁 業 セーフティネット資金											13	107,000		
	青 年 等 就 農 資 金											103	886,202		
	そ の 他 の 公 庫 資 金											85	751,153		
	合 計												351	9,669,867	
農 業 経 営 負 担 軽 減 支 援 資 金															
農 業 経 営 改 善 促 進 資 金										2,400		1	2,400		
災 害 条 例 資 金															
畜 産 特 別 資 金															
畜 産 経 営 体 質 強 化 支 援 資 金															
合 計		52	389,340	47	400,910	12	84,270	111	874,520	2,101,310		696	11,980,077		

(県経済流通課調べ)

15 令和7年度主要事業実施状況

令和8年3月現在 (千円)

事業名	細事業名	地区名等	市町名	事業実施主体	事業の内容	事業費	備考
管理部							
農業委員会交付金			大田原市	大田原市農業委員会	職員設置費	26,925	
			那須塩原市	那須塩原市農業委員会	職員設置費	21,357	
			那須町	那須町農業委員会	職員設置費	13,375	
機構集積支援事業			大田原市	大田原市農業委員会	農地法に基づく事務の適性実施のための支援事業、農地の有効利用を図るための支援事業	810	
			那須塩原市	那須塩原市農業委員会	農地法に基づく事務の適性実施のための支援事業、農地の有効利用を図るための支援事業	4,470	
農地利用最適化交付金			大田原市	大田原市農業委員会	農業委員会の農地利用最適化に係る活動実績、成果実績に応じた交付金	13,213	
			那須塩原市	那須塩原市農業委員会	農業委員会の農地利用最適化に係る活動実績、成果実績に応じた交付金	10,445	
			那須町	那須町農業委員会	農業委員会の農地利用最適化に係る活動実績、成果実績に応じた交付金	8,336	
企画振興部							
農業団体等需給調整推進事業	地域協議会需給調整推進事業		大田原市	大田原市農業再生協議会	主食用米の作付参考値の提示に係る事務等	320	
			那須塩原市	那須塩原市農業再生協議会	主食用米の作付参考値の提示に係る事務等	224	
			那須町	那須町農業再生協議会	主食用米の作付参考値の提示に係る事務等	200	
経営所得安定対策直接支払事業推進事業			大田原市	大田原市農業再生協議会	経営所得安定対策の普及推進活動等	16,200	
			那須塩原市	那須塩原市農業再生協議会	経営所得安定対策の普及推進活動等	11,000	
			那須町	那須町農業再生協議会	経営所得安定対策の普及推進活動等	7,171	
水田農業構造改革推進事業	水田所得確保支援事業		大田原市	大田原市農業再生協議会	輸出用米、麦、大豆の作付拡大に対する助成金及びそれに係る事務費等	699	
			那須町	那須町農業再生協議会	輸出用米、麦、大豆の作付拡大に対する助成金及びそれに係る事務費等	120	
農業人材強化総合支援事業			大田原市	大田原市	農業次世代人材投資資金(経営開始型)、事業実施に係る事務費等	5,100	
新規就農者育成総合対策事業			大田原市	大田原市	新規就農者育成総合対策(経営開始資金)	6,093	
			那須塩原市	那須塩原市	新規就農者育成総合対策(経営開始資金)	12,050	
			那須町	那須町	新規就農者育成総合対策(経営開始資金)	2,281	
農畜産物放射性物質影響緩和対策支援事業	産地競争力の強化(推進事業:放射性物質吸収抑制対策)		那須塩原市	那須野農業協同組合農産物受検組合他2団体	放射性物質の吸収抑制のための大豆の加里肥料施用	2,729	
麦・大豆生産技術向上事業	県産小麦・大豆供給力強化事業		那須塩原市	那須塩原市農業再生協議会	農業機械の導入(1件)	7,117	
産地生産基盤パワーアップ事業	基金事業		那須塩原市	農業者4名	パイプハウス資材、農業機械の導入	12,909	
農地集積・集約化対策事業	機構集積協力金交付事業		大田原市	大田原市	地域集積協力金 5,434a	15,215	
畜産担い手育成総合整備事業		栃木那須地区	那須塩原市	(公財)栃木県農業振興公社	草地整備 6.0ha 施設用地整備 0.9ha 家畜排せつ物処理設備整備 1棟	102,850	
農地利用効率化等支援交付金	融資主体支援タイプ		大田原市	大田原市	農業機械・施設の導入(1件)	5,571	
			那須塩原市	那須塩原市	農業機械の導入(3件)	34,228	
			那須町	那須町	農業機械の導入(1件)	11,847	
担い手確保・経営強化支援事業補助金	担い手確保・経営強化支援対策		那須塩原市	那須塩原市	農業機械の導入(2件)	64,053	
遊休農地対策事業	農地いきいき再生支援事業		大田原市	大田原市担い手育成総合支援協議会	遊休農地の解消に係る経費	539	
中山間地域等直接支払	中山間地域等直接支払交付金	塩原、高林	那須塩原市	那須塩原市	急傾斜農地等の維持管理等	955	
		両郷、須賀川、黒羽	大田原市	大田原市	急傾斜農地等の維持管理等	27,550	
		芦野、伊王野、那須	那須町	那須町	急傾斜農地等の維持管理等	42,915	

事業名	細事業名	地区名等	市町名	事業実施主体	事業の内容	事業費	備考
制度	中山間地域等直接支払推進交付金		那須塩原市	那須塩原市	事業の推進・確認・交付事務等	20	
			大田原市	大田原市	事業の推進・確認・交付事務等	10	
			那須町	那須町	事業の推進・確認・交付事務等	60	
中山間地農業ルネッサンス推進事業			那須町	那須町	道の駅那須高原友愛の森における農村レストランの消費者評価等の情報収集・分析、商品のブラッシュアップ	410	
とちぎの農村稼ぐ力強化事業	インバウンドに対応したとちぎの農村ビジネス創出事業		大田原市、那須町	大田原グリーン・ツーリズム推進協議会連携委員会	農家民宿の改修工事、体験メニュー開発講習会、視察研修、HP改修等	12,046	
とちぎの農村稼ぐ力強化事業	食と農DE周遊促進プロモーション事業		那須塩原市	那須塩原市	観光部局と連携し、市内生産の牛乳をPRによる周遊	149	
			那須塩原市	那須塩原市畜産振興会	市内や東京で開催したイベントでの市内畜産産物の周知	50	
			那須塩原市	那須高原ミルク街道推進協議会	牛乳を中心とした地域等のPRと、チーズを味わうイベント等でのPR	121	
			那須塩原市	那珂川あゆ街道推進協議会	那珂川の自然、文化、食等のPRと、それらを生かしたイベント等の開催	217	
都市農村交流施設活性化支援事業	直売所運営改善リニューアル事業		那須塩原市	(株)アグリバル塩原	食品乾燥機の導入による、切り干し大根まんじゅうの増産及び新商品開発	2,027	
			那須町	那須未来(株)	冷蔵ショーケースの導入による、地域農産物の販売促進と加工品への活用拡大	1,512	
ユニバーサル農業発展支援事業			大田原市	須賀川地区ユニバーサル農業推進協議会	簡易トイレの導入による、農業体験参加時の環境改善。	402	
経営普及部							
園芸大国とちぎフル加速総合対策事業	「いちご王国・栃木」生産拡大等支援事業		大田原市 那須塩原市	JAなすのいちご部会	連棟パイプハウス(5連棟1,020m ²)、循環扇3台、液肥混入機	13,308	
果樹経営支援対策整備事業	優良品目、品種への転換等		大田原市	那須地方なし産地構造改革協議会	省力樹形への新植	432	
果樹未収益期間支援事業			大田原市	那須地方なし産地構造改革協議会	改植に伴う未収益期間に要する経費の補助	95	
環境保全型農業直接支払事業費(環境直接支払推進交付金)			大田原市	大田原市	本対策の推進及び取り組んでいる農業者、関係者等に対する確認・交付事務等	66	
			那須塩原市	那須塩原市	本対策の推進及び取り組んでいる農業者、関係者等に対する確認・交付事務等	691	端数切り上げ
環境保全型農業直接支払事業費(環境直接支払交付金)			那須町	那須町	本対策の推進及び取り組んでいる農業者、関係者等に対する確認・交付事務等	92	端数切り上げ
			大田原市	大田原市	取組農業団体に対する交付金	11,499	端数切り上げ
			那須塩原市	那須塩原市	取組農業団体に対する交付金	40,201	端数切り上げ
鳥獣被害防止総合対策推進事業(総合支援事業)			那須町	那須町	取組農業団体に対する交付金	24,392	端数切り上げ
			大田原市	大田原市野生鳥獣被害対策連絡協議会	実施隊の行う捕獲活動や調査活動に係る経費	549	端数四捨五入
			那須塩原市	那須塩原市野生鳥獣対策協議会	実施隊の行う捕獲活動や調査活動に係る経費	4,010	端数四捨五入
意欲ある新規就農者の確保育成事業費	経営資源有効活用リフォーム支援事業費		大田原市 1名	認定新規就農者1名	新規就農にあたり中古施設等の修繕に係る経費	3,234	端数四捨五入
	産地人材育成確保事業費		那須町	那須町	とちぎ農業マイスター設置に係る経費(マイスター1名、研修生1名)	480	
飼料生産対策事業費	持続的畜産経営推進事業		那須町	千振開拓農業協同組合	耕畜連携推進機械導入支援	7,480	
肉用牛生産基盤強化拡大事業費	とちぎの和牛繁殖基盤強化事業費		那須塩原市	那須野農業協同組合	優良繁殖雌牛の導入支援に要する経費の助成	700	
水田農業構造改革推進事業費	栃木のお米超低コスト生産対策事業		那須塩原市	法人経営体等(佐藤農園)	低コスト生産に向け、土壌分析による適切な肥培管理を可能にする可変施肥田植機の導入支援	0	
農村整備部							
		荒井町島	大田原市	県	水路工 L=115m 換地業務1式	10,000	R7一般 10,000
		下深田	大田原市	県	換地業務一式	3,366	R7一般 3,366

事業名	細事業名	地区名等	市町名	事業実施主体	事業の内容	事業費	備考
農業競争力強化 基盤整備事業		中田原	大田原市	県	区画整理 L=207m 測量試験費1式 補償費1式 換地業務1式	50,000	R7一般 30,000 R6補正 20,000
		練貫	大田原市	県	水路工 1式 確定測量(地区界)1式	88,400	R7一般 10,400 R7耕作 78,000
		倉骨	大田原市	県	水路工 1式 測量試験費1式 換地業務1式	75,000	R6補正 40,000 R7一般 35,000
		親園鴨内川	大田原市	県	測量試験費1式 換地業務1式 確定測量(地区界)1式	60,000	R7一般 60,000
水利施設等保全高度化 事業	基幹水利施設保 全型	矢の目ダム	那須町	県	実施設計業務 1式	13,596	R7一般: 13,596
農業農村整備計画調査 費		赤瀬台・鹿畑	大田原市	県	計画設計業務	14,780	
基幹水利施設管理事業		那須野原	大田原市 那須塩原市	県	管理業務	7,293	
		塩那台地	大田原市	県	管理業務	77,979	
換地関係指導事務費		大田原市	大田原市	県	換地関係指導(荒井町島、下深田、中田原、 練貫地区、倉骨、親園鴨内川)	540	
基幹水利施設管理事業	農業水利施設省 エネルギー化推進 事業	塩那台地	大田原市	県	交付金	328	
水利施設管理強化事業	農業水利施設省 エネルギー化推進 事業	大田原市土地改良区 湯津上土地改良区	大田原市	大田原市	交付金	4,061	
水利施設等保全高度化 事業	低炭素農業水利 システム構築型	百村	大田原市 那須塩原市	那須野々原土地改良区連合	実施設計業務 1式 用地測量業務 1式	25,300	R6補正: 25,300
	実施計画作成事 業	藤山堰	大田原市	大田原市土地改良区	機能診断業務 1式	6,000	R7現年: 6,000
水利施設管理強化事業		那須野原	大田原市 那須塩原市	大田原市 那須塩原市	管理業務	34,093	
		塩那台地	大田原市	大田原市	管理業務	327	
経営体育成促進換地等 調整事業		赤瀬台・鹿畑	大田原市	大田原市	換地等調整事業 1式	5,700	
県単換地等調整事業	県単換地等調整 事業	高野・上ノ原	大田原市	大田原市	換地等調整事業 1式	968	
農村地域防災減災事業	防災重点農業用 ため池緊急整備 事業	熊久保望田水利組合 ため池	那須塩原市	那須塩原市	対策工事 1式	48,411	R6補正: 38,000 R7一般: 10,411
	農業水路等長寿 命化・防災減災事 業	柳町ため池	那須塩原市	那須塩原市	ハザードマップ作成業務 1式	3,740	R7一般: 3,740 R8～繰越 うち 1,903
	防災重点農業用 ため池緊急整備 事業	左内溜	那須町	那須町	対策工事 1式	29,200	R6補正: 21,000 R7一般: 8,000
農地耕作条件改善事業	農業用排水施設	二輪2	大田原市	大田原市	農道舗装L=570m	38,000	
	農業用排水施設	巻川9	大田原市	湯津上土地改良区	排水路工L=87m	5,990	
地籍調査		大田原市	大田原市	大田原市	A=0.75k㎡	12,542	
		那須塩原市	那須塩原市	那須塩原市	A=0.08k㎡	12,000	
		那須町	那須町	那須町	A=2.50k㎡	13,426	
農地集積促進事業 (調査・調整事業)		荒井町島	大田原市	大田原市土地改良区	調査調整事業	500	
		下深田	大田原市	大田原市土地改良区	調査調整事業	200	
		中田原	大田原市	大田原市土地改良区	調査調整事業	200	
		練貫	大田原市	大田原市土地改良区	調査調整事業	500	
		倉骨	大田原市	大田原市土地改良区	調査調整事業	500	

事業名	細事業名	地区名等	市町名	事業実施主体	事業の内容	事業費	備考
		親園鴨内川	大田原市	大田原市土地改良区	調査調整事業	500	
県単農業農村整備事業		金丸	大田原市	大田原市土地改良区	水路工L=415m	7,200	
		野崎	大田原市	大田原市土地改良区	水路工L=27m	5,800	
		巻川	大田原市	湯津上土地改良区	さく井・揚水機1基	5,600	
		親園西部	大田原市	大田原市土地改良区	揚水機1基	3,200	
県単農業農村整備事業		片府田	大田原市	湯津上土地改良区	揚水機2基	2,000	
		三本木佐野6	那須塩原市	那須塩原市	水路工L=410	31,400	
		井口・槻沢	那須塩原市	西那須野東部土地改良区	揚水機3機	11,400	
		上川	那須町	那須町土地改良区	水路工L=294	19,300	
		大田原市	大田原市	大田原市	農地維持支払52地区等 A=5,454ha	239,097	
多面的機能支払(交付金)		那須塩原市	那須塩原市	那須塩原市	農地維持支払39地区等 A=2,506ha	102,213	
		那須町	那須町	那須町	農地維持支払15地区等 A=390ha	16,149	
		大田原市	大田原市	大田原市		567	
多面的機能支払(推進費)		那須塩原市	那須塩原市	那須塩原市		300	
		那須町	那須町	那須町		95	
	那須広域ダム管理所						
深山・板室ダム管理事業		那須野原	大田原市 那須塩原市	県	深山・板室ダム管理業務	94,752	
水利施設整備事業		那須野原	大田原市 那須塩原市	県	管理棟新築工事他一式	197,777	R6繰越: 20,000 R7一般: 177,777 R8繰越: 74,805

17 地域計画策定状況

令和8年3月末現在

No.	地域名	地域内農業集落名	策定年月日
大田原市			
1	大田原地区	大田原東	R7.7.16
2		大田原北	R7.9.19
3		大田原西	R7.9.19
4	金田地区	中田原	R7.11.20
5		町島・荒井・岡・今泉・戸野内	R7.11.20
6		富池・市野沢・練貫	R7.11.20
7		羽田・乙連沢・小滝	R8.1.22
8		北金丸	R7.8.20
9		南金丸	R8.1.22
10		上奥沢・奥沢	R7.3.31
11		鹿畑・倉骨・赤瀬・北大和久	R8.1.22
12	親園地区	親園北区・実取	R8.1.22
13		親園南区・滝沢	R8.1.22
14		滝岡・花園	R7.3.31
15		宇田川・萩野目	R7.3.31
16	野崎地区	下石上・上石上・野崎	R8.1.22
17		薄葉・平沢	R8.1.22
18	佐久山地区	佐久山	R8.1.22
19		藤沢・琵琶池・大神南部	R7.3.31
20		大神本田・福原	R7.11.20
21	湯津上地区	狭原・小船渡	R8.1.22
22		湯津上	R7.9.19
23		佐良土	R8.1.22
24		蛭畑	R8.1.22
25		蛭田	R7.3.31
26		新宿・片府田・品川	R8.1.22
27	黒羽地区	黒羽田町・八塩	R7.3.31
28		前田・北野上南区	R7.3.31
29		堀之内・北野上北区	R7.6.19
30		北滝・片田・亀久・矢倉	R7.3.31
31	川西地区	黒羽向町・大豆田・余瀬	R7.3.31
32		蜂巢・桧木沢	R8.1.22
33		寒井	R7.3.31
34	両郷地区	中野内	R7.3.31
35		河原・両郷	R7.3.31
36		寺宿・木佐美	R7.3.31
37		大久保・久野又	R7.3.31
38		大輪・川田	R7.3.31
39	須賀川地区	須佐木	R7.3.31
40		須賀川	R8.1.22
41		雲岩寺・川上・南方	R7.3.31
	計	41	

No.	地域名	地域内農業集落名	策定年月日
那須塩原市			
1	黒磯地区	鳥野目、小結、東原	R8.1.23
2		埼玉	R8.3.24
3		共懇社1丁目、東栄1～2丁目、豊浦、共懇社、下厚崎、渡辺、安藤町、原町、東豊浦	R8.1.23
4		本郷町、新朝日、宮町、本町、黒磯幸町、錦町、住吉町、豊町、中央町、高砂町、弥生町、橋本町、桜町、材木町、大黒町、若葉町、東大和町、黒磯、上厚崎、豊浦中町、豊浦町、末広町、清住町、新緑町、松浦町、阿波町、新町、西新町、豊住町、並木町、若草町、豊浦北町、美原町、北栄町、豊浦南町、春日町	R8.1.23
5	鍋掛地区	寺子	R8.1.23
6		越堀	R8.1.23
7		鍋掛、野間	R8.1.23
8	東那須野地区	大原間、島方、上中野、大原間西1～2丁目、方京1～3丁目	R8.3.24
9		東小屋、山中新田、上大塚新田、佐野、三本木	R8.2.24
10		木曾畑中	R8.1.23
11		沼野田和	R8.1.23
12		下中野	R8.1.23
13		中内、鹿野崎、上郷屋、塩野崎、塩野崎新田、無栗屋	R8.1.23
14		唐杉、北弥六、前弥六、沓掛、前弥六南町、沓掛1～3丁目	R8.1.23
15		笹沼、北和田、波立	R8.1.23
16	高林地区	箕輪、洞島	R8.1.23
17		青木	R8.1.23
18		高林、箭坪	R8.1.23
19		油井、亀山、細竹、西岩崎、板室	R8.1.23
20		戸田	R8.1.23
21		百村	R8.1.23
22		木綿畑	R8.1.23
23		湯宮、鳴内	R8.1.23
24	西那須野地区	四区町、千本松	R8.3.24
25		三区町	R8.3.24
26		二区町	R8.1.23
27		一区町	R8.1.23
28		永田町、扇町、あたご町、西大和、西原町、五軒町、西栄町、東町、西朝日町、南町、西幸町、下永田1～8丁目、太夫塚1～6丁目	R8.3.24
29		緑1～2丁目、二つ室、北二つ室	R8.3.24
30	狩野地区	上赤田、北赤田、南赤田、西赤田、東赤田	R8.1.23
31		三島1～5丁目、東三島1～6丁目、西三島1～7丁目	R8.1.23
32		井口、西遅沢、東遅沢	R8.2.24
33		高柳、西富山、関根、東関根、槻沢	R8.1.23
34		南郷屋1～5丁目、睦、新南、石林	R8.1.23
35	塩原地区	塩原、中塩原、上塩原、湯本塩原	R8.1.23
36	箒根地区	折戸、上横林、横林、接骨木	R8.1.23
37		関谷、遅野沢、藁沼	R8.1.23
38		金沢、下田野	R8.1.23
39		宇都野	R8.1.23
40		下大貫、上大貫、高阿津	R8.1.23
計		40	

No.	地域名	地域内農業集落名	策定年月日
那須町			
1	那須村	①那須高原、守子、伊藤台、広谷地、喰木原、上半俵、下半俵、蕪中、本町、大町、見晴町、旭町、東町、占勝園、西町、元湯、奥那須、湯本仲町、川向町、遅山町、室野井、宇田島、六斗地、横沢、池田、小深堀、一ツ樅	R7.3.31
2		②大同、大日向、松子1・2、松田、田代、茗ヶ沢	R7.3.31
3		③北条、長南寺、大島1・2、藤塩、中原、戸能、小島1・2、喜和田、漆塚上・下、新田、羽原、大石、穂積、山梨子	R7.3.31
4		④茅沼、薄室、菱喰内、橋本町、下瀬縫、芦の又、本郷1・2、丸山、岡室、筒地、新高久、桜久保、後藤橋、弓落、廻り谷、渡久保、上瀬縫	R7.3.31
5		⑤時庭、落合、田中、前久保、秋山沢、狸久保、東狸久保、柏、高久、上川、小羽入、立岩、新小羽入、下川、よささ集落	R7.3.31
6		⑥綱子、常民夕狩、新夕狩、慈生会、夕狩、黒木、七曲、五十里、東観、柏沼、二枚橋、木戸、水原、成沢、矢の目1・2、追田原、弥次郎	R7.3.31
7		⑦大谷、大沢、大深堀、北沢、荻久保、田島、豊津、高津、柏台、千振、千景園集落	R7.3.31
8		⑧逃室1～3、新逃室、針生、松沼、吉田上・下、上の原、法師畑、西大久保、塩阿久津上、西田、旗鉾、松の倉、音羽町1～4、新黒田、旧黒田、前原、茶臼、幸町1～3、相生町1～3、本町1～3	R7.3.31
9	伊王野村	⑨下町、上町、上郷、東岩崎、大和須、梓、藁沢、大畑	R7.3.31
10		⑩睦家、梁瀬、沼野井、稲沢	R7.3.31
11	芦野町	⑪下芦野、唐木田、西坂、黒川、中の川、上野町、川原町、仲町上・中・下、横町上・下、新道、新町上・下、大ヶ谷、峯岸、板屋、高瀬、三ヶ村	R7.3.31
12		⑫塩阿久津下、石住、水塩大久保、白井、吉の目、上下田、大平、寄居本郷、豆沢、寄居大久保、中重、山中、明神	R7.3.31
計		12	

16 市町村の地域指定等について

	大田原市	那須塩原市	那須町	備考
旧市町村名	大田原市(大田原町、親園村、金田村、野崎村、佐久山町) 湯津上村 黒羽町(黒羽町、川西町、須賀川村、両郷村)	黒磯市(黒磯町、鍋掛村、東那須野村、高林村) 西那須野町(西那須野町、狩野村) 塩原町(塩原町、箒根村)	那須村 芦野村 伊王野村	
特定農山村法の指定地域	旧黒羽町(旧須賀川村)	旧黒磯市(旧高林村) 旧塩原町(全域)	旧伊王野村	特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律(H5)
山村振興法の指定地域	旧黒羽町 (旧須賀川村(S43)・旧両郷村(S46))	旧黒磯市(旧高林村)(S41) 旧塩原町(全域)(S46)	旧伊王野村(S42) 旧芦野村(S42)	山村振興法(S40) (H37.3.31までの時限立法)
豪雪地帯		旧黒磯市(S38.11.1) 旧塩原町(S38.11.1)	那須町(S38.11.1)	豪雪地帯対策特別措置法(S37)
未線引き都市計画区域	一部(35,436ha内13,380ha) (S50.7.1)	旧黒磯市一部(34,312ha内15,760ha)(S50.7.1) 旧西那須野町全部(5,963ha)(S31.4.27) 旧塩原町一部(19,007ha内17,928ha)(S57.12.24)	一部(37,231ha内26,044ha) (S50.7.1)	都市計画法(S43)
風致地区	城山公園(約5.2ha)(S45.7.24) 大田原公園(約19.3ha)(S45.7.24)	-	-	都市計画法(S43)
首都圏整備法に基づく都市開発区域	一部指定	旧西那須野町指定 旧塩原町一部指定		首都圏整備法(S31)
低開発地域工業開発地区	塩那地区 (大田原市)	- (解除)	塩那地区 (那須町)	低開発地域工業開発促進法(S36)
工業再配置促進法に基づく誘導地域	大田原市 旧湯津上村 旧黒羽町	旧黒磯市 旧西那須野町 旧塩原町	那須町	工業再配置促進法(S47)
農村地域への産業の導入の促進等に関する法律に基づく農村地域 ※	-	-	那須町	農村地域への産業の導入の促進等に関する法律(H28)(旧農工法)
地域拠点法に基づく地域拠点都市地域	大田原市	旧黒磯市 旧西那須野町	-	地域拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法(H4)
野菜指定産地	那須(冬春トマト) H14.3.22 那須(夏秋なす) H10.5.20 那須(秋冬ねぎ) H7.5.30	栃木県北高冷地 (夏だいこん) S41.8.18 那須(冬春トマト) H14.3.22 那須(夏秋なす) H10.5.20 那須(秋冬ねぎ) H7.5.30 日塩(ほうれんそう) S48.12.20	那須(夏秋なす) H10.5.20 那須(秋冬ねぎ) H7.5.30 日塩(ほうれんそう) S48.12.20	野菜生産出荷安定法(S41)
農村休暇法(第5条)による市町村計画作成年月日	H10.12.1(旧湯津上村) H8.10.1(旧黒羽町)	H8.10.1(旧黒磯市)	-	農山漁村滞在型余暇活動のための基盤整備の促進に関する法(H6)
農業振興振興地域の地域指定年月日	H17.10.31	H17.1.28	S47.11.10	農業振興地域の整備に関する法(S44)
農振整備計画策定年月日	H16.2.3	旧黒磯市(H13.9.20) 旧西那須野町(H12.4.19) 旧塩原町(H9.8.11)	H9.10.21	農業振興地域の整備に関する法(S44)
中山間地域等直接支払対象地域	法指定地域(旧須賀川村、旧両郷村、旧黒羽町、旧川西村、旧湯津上村) 知事特認地域(旧金田村、旧親園村、旧佐久山村、旧野崎村2-1)	法指定地域(旧高林村、旧箒根村、旧塩原町) 知事特認地域(旧黒磯町、旧鍋掛村2-1、旧東那須野村、旧狩野村、旧西那須野村)	法指定地域(旧芦野村、旧伊王野村) 知事特認地域(旧那須村)	食料・農業・農村基本法(H11) 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律(H26)
市町村振興計画の名称		第2次那須塩原市総合計画(H29～H38年度)	第7次那須町振興計画(H28～H37年度)	
市町村木	いちよう(S49.11.1)	まつ(H18.3.15)	ごようまつ(S54.11.3)	
市町村花	キク(S49.11.1)	やしおつつじ(H18.3.15)	りんどう(S54.11.3)	
市町村鳥	ウグイス、ヒバリ(R元.10.26)	-	かっこう(S54.11.3)	
市町村魚	ミヤコタナゴ(S49.11.1)	-	-	
農業地域類型	平地農業地域 水田型	中間農業地域 水田型	中間農業地域 田畑型	農林統計

※農村地域工業等導入促進法(旧農工法)に基づく地域指定は、首都圏整備法との関係で市町村合併時点で大田原市、那須塩原市で解除(ただし既存立地への影響はなし)

18 令和7年度主な農業関係表彰受賞者一覧

(1) 全国段階

(順不同)

コンクール名	受賞名	受賞者名
第16回全日本ホルスタイン共進会	2等賞8席(第1部) 2等賞6席(第4部) 2等賞4席(第6部) 優等賞3席(第7部) 1等賞2席(第9部) 2等賞5席(第14部) 2等賞2席(第15部) 2等賞1席(第19部)	那須拓陽高等学校 皆川 健介 小針 勤 小針 勤 大関 悠太 永森 啓太 和田 泰 眞嶋 大輔
最高を超える山田錦プロジェクト2025 (株式会社瀬祭主催)	入賞	大田原市 五月女 文哉

(2) 県段階

コンクール名	受賞名	受賞者名
令和7年度栃木県農業青年研究大会 プロジェクト発表の部	最優秀賞	大田原市 渡邊 正樹
第7回栃木県農業大賞 【農業経営の部】 【農村活性化の部】 【芽吹き力賞】	栃木県知事賞 大賞(関東農政局長賞・栃木県知事賞) 特別賞(中央会長賞)	大田原市 五月女 文哉(水稲) 那須町 株式会社道の駅東山道伊王野(代表取締役社長 橋本光生) 那須塩原市 本澤 盛男 (アスパラガス、水稲)
令和7年度優良担い手表彰事業 優良認定農業者の部(組織経営体)	最優秀賞(知事賞)	那須町 株式会社 FARM1739
第52回とちぎ和牛枝肉共励会	優秀賞2席 優秀賞3席 優良賞 優良賞	那須町 (株)和牛牧場かくた 那須塩原市 人見 達夫 那須塩原市 田野 良一 大田原市 木下 智昭
第53回とちぎ和牛枝肉共励会	最優秀賞(主催者賞、県知事賞、東京食肉市場(株)社長賞) 優良賞	大田原市 木下 智昭 大田原市 (株)山吉ファーム
第42回 栃木県肉用牛総合共進会 種牛の部	名誉賞(農林水産大臣賞、県知事賞、全国和牛登録協会会長賞)、最優秀賞(4区) 最優秀賞(2区) 最優秀賞(3区) 優秀賞1席(2区) 優秀賞1席(3区) 優秀賞1席(4区) 優秀賞2席(2区) 優秀賞2席(3区) 優良賞1席(4区) 優良賞2席(2区)	那須町 高久 淳平 大田原市 川嶋 隆夫 大田原市 佐藤 和徳 那須塩原市 磯 昌道 那須塩原市 川井 鉄男 那須塩原市 豊田 勝保 大田原市 清水 芳夫 大田原市 川又 豊蔵 大田原市 石黒 功 那須塩原市 山田 晴美

19 栃木県農業士等名簿（那須地方）

栃木県農業士

No	氏名	市町名	経営類型	認定年度
1	高久一次	那須町	和牛繁殖+水稲	平成21年
2	秋本則夫	大田原市	水稲+麦+作業受託	平成22年
3	植竹英夫	大田原市	土地利用型+アスパラガス+作業受託	平成22年
4	石塚政隆	那須塩原市	酪農	平成22年
5	遅澤喜則	那須塩原市	水稲+露地野菜(ねぎ・なす)	平成22年
6	高村広行	那須塩原市	土地利用型+アスパラガス	平成22年
7	菊池宏	那須塩原市	水稲+いちご	平成22年
8	熊田正和	大田原市	水稲+和牛一貫	平成23年
9	磯浩美	大田原市	水稲+雨除けトマト+しゅんぎく	平成24年
10	渡邊光栄	那須塩原市	酪農+和牛繁殖	平成24年
11	相馬岩利	那須塩原市	水稲+麦+作業受託	平成25年
12	郡司裕一	大田原市	水稲+麦+ほうれんそう	平成26年
13	川又豊藏	大田原市	水稲+麦+和牛繁殖	平成26年
14	君島章	那須塩原市	酪農	平成26年
15	菅生賢治	大田原市	いちご+水稲+農産加工	平成27年
16	平山和彦	那須町	花き+水稲	平成27年
17	村田光喜	大田原市	耕種+園芸(山うど)	平成28年
18	佐藤友幸	那須塩原市	水稲+和牛繁殖	平成28年
19	佐藤和徳	大田原市	和牛一貫+にら+水稲	平成29年
20	渡邊博典	那須塩原市	和牛繁殖+耕種+露地野菜	平成29年
21	高瀬隆至	大田原市	水稲+麦+作業受託	平成30年
22	松本良則	那須塩原市	水稲+作業受託	平成30年
23	平山貴典	那須町	水稲+麦+ねぎ	平成30年
24	高久淳平	那須町	和牛繁殖	平成30年
25	大関一男	那須塩原市	酪農	令和元年
26	平山輝貴	那須町	水稲+露地野菜+農産物加工	令和2年
27	渡邊一浩	大田原市	ねぎ(露地及びハウス)+水稲	令和4年
28	郡司勝典	那須塩原市	アスパラガス+水稲	令和4年
29	高松英樹	那須塩原市	トマト+水稲	令和6年
30	廣木一央	那須町	いちご+水稲+麦+そば	令和6年
31	江崎哲治	大田原市	梨	令和7年

栃木県女性農業士

No	氏名	市町名	経営類型	認定年度
1	屋代ゆき子	大田原市	牧草+梅・林業	平成16年
2	小沼伸枝	大田原市	いちご+水稲	平成17年
3	島田晴子	那須塩原市	酪農	平成19年
4	中山知代子	大田原市	いちご+水稲	平成21年
5	磯由起子	那須町	酪農+水稲+和牛繁殖	平成23年
6	田中和江	那須町	水稲+農産物加工+露地野菜	平成23年
7	齋藤まゆみ	大田原市	水稲+いちご	平成24年
8	磯尾安代	大田原市	アスパラガス+水稲	平成28年
9	大島章子	那須塩原市	酪農+水稲	平成30年
10	岡本利江	那須塩原市	アスパラガス+水稲+ねぎ	令和元年
11	西岡智子	大田原市	水稲+ビール大麦	令和3年

20 那須地方の土地改良区名簿

令和8年4月1日現在

土地改良区名	理事長名	住 所	電話番号 FAX	設 立 年月日	面積 (ha)	組合 員数	関係市町	備 考
親 園	たきた みのる 滝田 稔	〒324-0044 大田原市親園2939	0287-28-1064 0287-28-1064	S46.5.10	397	310	大田原市	県圃完了(親園地区)
塩那台地	しがい やすお 渋井 康男	〒324-0024 大田原市福原232-2	0287-28-2274 0287-28-2274	S50.3.17	1,491	1,239	大田原市 さくら市 那須烏山市 那珂川町	国農完了(塩那台地地区)
大田原市	そうとめ まさみ 五子女 昌巳	〒324-0041 大田原市本町1-3-1	0287-22-3226 0287-22-3077	H11.12.24	3,279	2,291	大田原市 矢板市 那須塩原市 さくら市	県圃完了(大沢、藤沢、金丸、石上、宇田川、相の川、親園西部、親園北部、乙連沢、羽田、琵琶池、上奥沢、金田北部、金田北部2期、金田北部3期地区) 県圃中(荒井町島、下深田、中田原、練貫、倉骨地区、親園鴨内川) 団圃完了(上の原、大神、佐久山、藤山堰、野崎、北金丸、赤瀬、平沢地区)
湯津上	こばやし ひでお 小林 英夫	〒324-0403 大田原市湯津上5-776 湯津上農村環境改善センター内	0287-98-2221 0287-98-2621	H18.1.11	1,505	1,010	大田原市 那珂川町	国農完了(那須野原地区) 県圃完了(湯津上、蛭畑、片府田、巻川、二輪地区) 県土地総完了(巻川、巻川2期地区)
黒 羽	ちかお よしひこ 高尾 嘉彦	〒324-0233 大田原市黒羽田町222 旧黒羽中学校A棟1階	0287-54-2671 0287-48-7313	H19.1.10	860	949	大田原市	県土地総完了(大川地区) 県総パ完了(那須地区) 県圃完了(片田、両郷地区) 農構完了(両郷、北滝、両郷河原地区) 県土地総完了(両郷河原地区) 団圃完了(鉢木地区) 団土地総完了(両郷中央、大豆田、篠原、磯上地区)
那須疏水	わたなべ みちたろう 渡辺 美知太郎	〒329-2807 那須塩原市接骨木447-8	0287-36-0455 0287-36-0354	S27.3.10	995	917	那須塩原市 大田原市	国農完了(那須野原地区) 農構完了(四区地区)
西那須野東部	かぶらぎ ゆきお 楠木 征男	〒329-2725 那須塩原市あご町2-3 那須塩原市役所西那須野支所内	0287-37-6259 0287-37-5116	S43.12.4	243	208	那須塩原市	国農完了(那須野原地区) 県圃完了(井口槻沢地区) 団圃完了(高柳地区)
黒 磯	つぎみ みよし 月井 美好	〒325-0116 那須塩原市木綿畑637-1	0287-73-8431 0287-73-8432	H16.2.10	2,083	1,187	那須塩原市 大田原市	国農完了(那須野原地区) 農構(鍋掛地区) 県基幹排水完了(鍋掛地区)
塩 原	さいとう かずた 斉藤 一太	〒329-2801 那須塩原市関谷1264-5	0287-35-3017 0287-35-3057	H17.1.12	934	624	那須塩原市	国農完了(那須野原地区) 県圃完了(帯川沿岸地区) 県農開完了(奥塩原地区)
江戸川用水	ひらやま たかのり 平山 貴典	事務所までお問い合わせください		S29.12.25	145	90	那須町	県ため池(江戸川地区) 団圃完了(桜久保地区) 農構完了(江戸川地区)
那須町	おおひら こういち 大平 康市	〒329-3215 那須町大字寺子乙1240-1 りぼーる・たなか内2階	0287-71-1261 0287-72-7530	H20.4.1	900	878	那須町 那須塩原市	県圃完了(芦野、小島、漆塚地区) 県農振総完了(那須北(松子)) 農構完了(迹室針生、一つ樅地区) 団圃完了(千振、狸久保、上川、山中中重地区) 団土地総完了(那須田中、那須田中II地区)

那須地方の土地改良区連合名簿

土地改良区連合名	理事長名	住 所	電話番号 FAX	設 立 年月日	面積 (ha)	組合 員数	関係市町	備 考
那須野ヶ原	わたなべ みちたろう 渡辺 美知太郎	〒329-2807 那須塩原市接骨木447-8	0287-36-0632 0287-37-5334	S45.2.17	4,234	3,199	大田原市 那須塩原市	国農完了(那須野原地区)
藤沢用水	たまむら のりゆき 玉村 德行	事務所までお問い合わせください		S39.2.29	332	287	大田原市 那珂川町	団かん排完了(藤沢1・2・3・4地区)

21 関係機関一覧

名 称	郵便番号	住 所	TEL	FAX
大田原市	324-8641	大田原市本町1-4-1	0287-23-8708	0287-23-1507
那須塩原市	325-8501	那須塩原市共墾社108-2	0287-62-7147	0287-62-7223
(西那須野支所)	329-2792	那須塩原市あたご町2-3	0287-37-5108	0287-37-5116
(塩原支所)	329-2924	那須塩原市中塩原1-2	0287-32-2913	0287-32-3886
那須町	329-3292	那須町寺子丙3-13	0287-72-6911	0287-72-1009
大田原市農業委員会	324-8641	大田原市本町1-4-1	0287-23-8716	0287-23-8287
那須塩原市農業委員会	325-8501	那須塩原市共墾社108-2	0287-62-7186	0287-62-7184
那須町農業委員会	329-3292	那須町寺子丙3-13	0287-72-6925	0287-72-1009
(公財)大田原市農業公社	324-0041	大田原市本町1-3-1	0287-23-4834	0287-23-4857
(公財)那須塩原市農業公社	325-8501	那須塩原市共墾社108-2	0287-60-1283	0287-60-1284
(一財)那須町農業公社	329-3222	那須町大字寺子丙4-5	0287-73-5545	0287-73-5546
大田原市農業再生協議会	324-0043	大田原市本町1-3-1	0287-23-4921	0287-23-4925
那須塩原市農業再生協議会	325-0062	那須塩原市上厚崎664	0287-73-5015	0287-63-2700
那須町農業再生協議会	329-3222	那須町大字寺子丙4-236	0287-71-2002	0287-72-6680
那須野農業協同組合	325-0017	那須塩原市黒磯6番地1	0287-62-5550	0287-62-6616
栃木県農業共済組合 那須中央支所	324-0063	大田原市町島666-1	0287-23-1633	0287-23-1634
栃木県農業共済組合 那須北支所	325-0001	那須町高久甲5083-2	0287-64-3663	0287-64-3687
酪農とちぎ農業協同組合 那須高原支所	325-0025	那須塩原市下厚崎5-89	0287-62-1540	0287-62-1546
那須箒根酪農業協同組合 本所	329-2801	那須塩原市関谷1590-3	0287-35-3231	0287-35-3315
那須箒根酪農業協同組合 北那須支所	325-0033	那須塩原市埼玉6-772	0287-62-0237	0287-62-0739
栃木県酪農業協同組合 県北支所	325-0027	那須塩原市共墾社96-7	0287-62-0186	0287-62-0564
栃木県開拓農業協同組合	325-0057	那須塩原市黒磯幸町3-9	0287-62-0274	0287-64-2253
関東農政局栃木県拠点	320-0806	宇都宮市中央2-1-16	028-633-3311	028-634-0042
農政課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2277	028-623-2340
農村振興課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2333	028-623-2337
経済流通課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2297	028-623-2301
経営技術課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2319	028-623-2315
生産振興課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2327	028-623-2335
畜産振興課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2344	028-623-2353
農地整備課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2367	028-623-2378
農業総合研究センター	320-0002	宇都宮市瓦谷町1080	028-665-1241	028-665-1759
農業総合研究センター原種農場黒磯農場	325-0033	那須塩原市埼玉9-5	0287-62-0209	0287-62-0204
農業総合研究センターいちご研究所	328-0007	栃木市大塚町2920	0282-27-2711	0282-27-8462
農業総合研究センター原種農場	329-1224	高根沢町上高根沢5904	028-675-5585	028-675-5966
農業大学校	321-3233	宇都宮町上籠谷町1145-1	028-667-0711	028-667-4943
水産試験場	324-0404	大田原市佐良土2599	0287-98-2888	0287-98-2885
県央家畜保健衛生所	321-0905	宇都宮市平出工業団地6-8	028-689-1200	028-689-1279
県南家畜保健衛生所	328-0002	栃木市惣社町1439-20	0282-27-3611	0282-27-4144
県北家畜保健衛生所	329-2747	那須塩原市千本松800-3	0287-36-0314	0287-37-4825
畜産酪農研究センター	329-2747	那須塩原市千本松298	0287-36-0230	0287-36-0516
とちぎ食肉センター	321-3303	芳賀町稲毛田1921-7	028-616-2783	028-616-2788
県立那須拓陽高等学校	329-2712	那須塩原市下永田4-3-52	0287-36-1225	0287-36-8027
(公財)栃木県農業振興公社	320-0047	宇都宮市一の沢2-2-13	028-648-9511	028-648-9517
なかがわ水遊園	324-0404	大田原市佐良土2686	0287-98-3055	0287-98-3115
JAなすのアプリサポート	324-0041	大田原市北金丸1563-4	0287-23-3333	0287-23-3280

那 須 地 方 の 農 業

令和8（2026）年4月 発行

編集・発行者 栃木県那須農業振興事務所

〒324-0041

大田原市本町2丁目2828-4

TEL 0287-23-3141

FAX 0287-23-7994

ホームページ <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g56/index.html>



那須農振HP